

意見招請に関する公示

次のとおり調達特定役務の仕様書案の作成が完了したので、仕様書案に対する意見を招請します。

令和7年6月20日

国立研究開発法人情報通信研究機構
契約担当理事 増山 寛

◎調達機関番号 816 ◎所在地番号 13

○第1号

1 調達内容

- (1) 品目分類番号 75
- (2) 購入等特定役務及び数量 2026～2028年度
脳情報通信融合研究センター建物等総合維持管理業務 一式

2 意見の提出方法

- (1) 意見の提出期限 令和7年7月22日17時00分
まで必着のこと。
- (2) 提出先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘
1-4 情報通信研究機構未来ICT研究所脳情
報通信融合研究センター 企画室吹田管理グル
ープ 芝原 徹 電話 070-7061-6271
E-mail shibahara-toru@nict.go.jp

3 仕様書案の交付

- (1) 交付期間 令和7年6月20日から令和7年7
月22日まで。
- (2) 交付場所 情報通信研究機構ホームページの
調達情報よりダウンロードして入手すること。

4 Summary

- (1) Classification of the services to be
procured: 75
- (2) Nature and quantity of the services to
be required: NICT Center for Information
and Neural Networks Facility Management
Operations, 1 set
- (3) Time limit for the submission of comments
: 17:00 22 July 2025
- (4) Contact point for the notice: Toru Shibahara,
Suita Management Operations Group, Suita Planning
Office, Center for Information and Neural Networks,
Advanced ICT Research Institute, National Institute
of Information and Communications Technology,
1-4 Yamadaoka Suita-shi Osaka-fu 565-0871 Japan
T E L 070-7061-6271
E-mail shibahara-toru@nict.go.jp

仕 様 書

1. 件 名：2026～2028 年度 脳情報通信融合研究センター建物等総合維持管理業務
NICT Center for Information and Neural Networks Facility Management Operations
2. 目 的：国立研究開発法人情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター（以下「当機構」という。）の建物等設備の維持管理を円滑に行うために委託する業務である。
3. 作業期間：2026年4月1日～2029年3月31日まで
4. 作業場所：
 - ・所在地：大阪府吹田市山田丘1番4号 他
 - ・名 称：国立研究開発法人情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター
 - ・施設名：当機構の構内全ての施設等及び大阪大学オープンラボ
5. 作業内容
特記仕様書による。
6. 貸与品の有無
有り。
詳細は特記仕様書による。
7. 成果提出及び検査
 - 7-1 成果提出
日報、月報等業務報告書及び定期点検、自主点検、法定点検報告書は完了後、速やかに提出すること。なお、各年度において3月実施分の報告書は3月31日までに提出すること。
 - 7-2 検査
本仕様書及び特記仕様書並びに提出書類等に基づき、当機構担当者による検査を行う。
8. 注意事項
 - （1）運送・搬入・据付実施中に、建築物、工作物等に損傷を与えた場合は、速やかに当機構指定職員に申し出るとともに受注者の責任においてこれを原形に復すること。
 - （2）仕様書に疑義を生じた場合には、当機構指定職員に申し出てその指示に従うこと。
 - （3）**個人情報の取り扱いについて**
本件における個人情報の取扱いは、当機構「作業請負契約書 附則（個人情報の取扱い）」の規定によるものとする。
受注者における管理体制及び実施体制や個人情報の管理の状況について、少なくとも契約期間中に1回以上、原則として実地検査により確認する。検査においては、下記チェックシートを使用するので、対応すること。
チェックシート https://www.nict.go.jp/tender/NICTpersonaldata_chk.xlsx
受注者が、当機構の承認を得て、業務の一部を再委託する場合は、受注者が上記のチェックシートにより再委託先の検査を行うこと。（再々委託の場合も同じ）

詳細は、当機構調達情報 Web ページ

「契約にあたって」 <http://www.nict.go.jp/tender/keiyakuniatatte.html>、

「個人情報保護対策のお願い」

保有個人情報の取り扱いに係る業務の外部委託について

<http://www.nict.go.jp/tender/4otfsk00002cmy4h-att/4otfsk00005ga170.PDF> を参照すること。

(4) 情報セキュリティについて

1) 適切な情報セキュリティ管理の実施

受注者は、適切な情報セキュリティ管理を実施していること。適切な情報セキュリティ管理を実施しているとは、組織としての情報セキュリティ方針及び情報セキュリティ管理体制が制定され、リスク対応計画立案、管理策の実施、教育、内部監査を含む情報セキュリティ管理が、文書化された手順に従って実施されていることを言う。ISO/IEC 27001 または JIS Q 27001 に準拠した管理は、適切な情報セキュリティ管理の例である

2) 業務実施体制

受注者は、本業務を履行する体制について、予め以下の事項について提出し、当機構の了承を得ること。

ア 業務実施体制

- ① 責任者（専門性・実績・国籍等に関する情報を含むこと）
- ② 担当者（専門性・実績・国籍等に関する情報を含むこと）
- ③ 連絡体制・窓口
- ④ 業務実施場所（国内・国外を問わず当機構外で業務する場合）

イ 構築すべき体制に関する留意点

受注者は、下記に留意して、体制を構築すること。なおこれらに変更があった場合は速やかに当機構に報告し、その了承を得ること。

- ① 本業務を履行するにあたり必要な経験、資格、業績等を有する者を確保して体制を構築すること。その際、必要な経験、資格、業績等を有する者は、背景となる適切な経歴、知見、語学、文化的背景を有すること。
- ② 本業務を履行するにあたり受注者の従業員もしくはその他の者による意図しない変更や業務に関して知り得た情報の窃取等が行われないことを保証する管理体制を構築すること。

3) 情報セキュリティ対策の実施

受注者は、業務に関して知り得た情報の紛失、滅失、改ざん、き損、漏えい、その他の情報セキュリティ事故を防止するために必要な情報セキュリティ対策を講じなければならない。

4) 情報セキュリティ事故発生時における報告

受注者は、契約の履行中、履行後を問わず情報セキュリティ事故、又はそのおそれのあることを知ったときは、必要な措置を講じるとともに、速やかに当機構に報告し、当機構の指示に従うものとする。

5) 情報セキュリティ対策の実施状況の報告・点検

ア 当機構は業務や情報の取扱いが適切に行われていることを確認するため、受注者に対して定期的な報告や自己点検、情報の適正な取扱いのための情報セキュリティ対策（ログの取得・監視等以下参照）を求めることができるものとする。

- ・情報セキュリティインシデント等への対処能力の確立・維持
- ・情報へアクセスする主体の識別とアクセスの制御

- ・ログの取得・監視
- ・情報を取り扱う機器等の物理的保護
- ・情報を取り扱う要員への周知と統制
- ・セキュリティ脅威に対処するための資産管理・リスク評価
- ・委託先が取り扱う情報及び当該情報を取り扱うシステムの完全性の保護
- ・セキュリティ対策の検証・評価・見直し

イ 特に重要な業務（情報の格付けに伴い重要と格付けされた業務、（例）個人情報を含むもの）を委託している場合、監査、サービス品質の保証を求めることができるものとする。また、個人情報を含む重大な情報セキュリティ事故が発生した場合、機構は受注者と協議の上、立入調査を求めることができるものとする。報告・点検の結果、改善が必要な点が見つかった場合、受注者は改善計画を立て当機構に提出するものとする。

6) 委託の制限

ア 受注者は当機構が書面で承諾した場合を除き、本件業務の全体または一部を第三者に委託してはならない。受注者は第三者に委託するときは、責任を持って情報セキュリティの適切な管理を行う能力を有する者を選定するものとする。

イ 選定した委託先に対しては、情報セキュリティに関し受注者が履行すべき義務と同等の義務を負わせるものとし、受注者及び受注者の委託先との間で締結する契約書にその旨を明記するものとする。

ウ 受注者は委託先の情報セキュリティ管理全般、業務実施体制、情報セキュリティに関する点検・調査の受け入れ可否等の状況について、あらかじめ当機構に書面で提出するものとする。受注者の委託先が再委託を行うとき以降も同様とする。

7) 情報の目的外利用及び提供の禁止

受注者は業務に関して知り得た当機構所定の書式・方法により明示した保護すべき情報（契約を履行する一環として受注者が収集、整理、作成等した情報であって、当機構が保護を要しないと確認したものを除く。）その他の非公知の情報を本仕様書の業務履行にのみ利用し、他の目的に使用しないこと。当機構の承諾なしに第三者に提供してはならず、受注者は受注者の従業員その他受注者の委託先及びその再委託先に対し、受注者と同様の秘密保持義務、情報保全義務を負担させるものとする。

8) 要機密情報の取扱い

受注者は、当機構の要機密情報を取り扱う場合、契約書の秘密保持の事項に従うこと。

9) 情報の複写又は複製の禁止

受注者は、本業務のために当機構から提供された情報や資料等を当機構の承諾なしに複写又は複製してはならない。

10) 情報の受取り

当機構が一時的に電子ファイル等を受注者に預ける場合は、預かり証に受注者（作業員等を含む）の押印あるいは署名を求める場合があるので応じること。

11) 情報のやり取り

ア 当機構と通信回線を経由して電子ファイル等のやりとりを行う場合は、万一の事故に備えてパスワード付与や暗号化などの措置をとること。

イ また最新のパターンファイルが適用されたウイルス検出ソフトで検査し、問題がないことを確認してから送付すること。

12) 資料・情報の保管

ア 受注者は、業務のために当機構から提供を受け、又は受注者自らが作成した情報が記録さ

れた資料を、適切に施錠管理された場所に保管すること。

イ 電子ファイルの場合は適切なアクセス制御が行われたフォルダーに保管すること。また当機構が特に指定した場合は暗号化などの対応をとること。

1 3) 資料の返却・情報の消去等

ア 受注者は、業務のために当機構から提供を受け、又は受注者自らが作成した情報が記録された資料は、業務完了後直ちに当機構に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、当機構が別に指示したときは当該方法によるものとする。

イ 受注者は、情報を記録した資料を当機構に返還した後、なお当該情報が複写や電磁記録等として残されていることのないよう、遅滞なく復元又は判読が不可能な方法により当該情報を消去又は廃棄しなければならない。なおその際「預かり証兼データ破棄届」を当機構に提出すること。

9. 管理責任者について

- (1) 本請負作業の実施にあたり、受注者は管理責任者をおくこと。
- (2) 日々の作業報告は管理責任者より当機構指定職員に行うこと。
- (3) 作業について疑義がある場合、管理責任者より当機構指定職員に申し入れること。
- (4) 当機構指定職員からの作業指示は管理責任者を通じて行うものとする。

2026～2028 年度

脳情報通信融合研究センター
建物等総合維持管理業務

特 記 仕 様 書

特記仕様書目次

第1章	施設概要・作業期間・作業に関する一般留意事項	P 1－P 4
第2章	設備運転保守管理業務	P 5－P 13
第3章	設備点検業務	
3－1	電気設備	P 14－P 19
3－2	空気調和設備	P 19－P 22
3－3	消防設備	P 22－P 24
3－4	エレベーター設備	P 25－P 26
3－5	自動ドア設備	P 26－P 27
3－6	中央監視装置及び空調自動制御機器	P 27－P 32
第4章	警備業務	P 33－P 35
第5章	清掃業務	
5－1	日常清掃	P 36－P 40
5－2	窓ガラス清掃	P 40－P 41
5－3	一般廃棄物処分	P 41
第6章	植栽管理業務	
6－1	植栽管理	P 42
6－2	灌水	P 43－P 44
第7章	環境衛生管理業務	
7－1	残留塩素濃度測定	P 45
7－2	貯水槽清掃、検査	P 45－P 47
7－3	汚水槽・雑排水槽清掃	P 47－P 48
7－4	害虫防除	P 48－P 51
7－5	水質測定	P 51－P 52
7－6	環境測定	P 52－P 55
7－7	雨水会所ます清掃	P 55
7－8	特殊排水槽 pH計点検	P 55－P 56
7－9	実験排水採水時の補助	P 56
第8章	特定建築物調査・建築設備検査業務	P 57

<添付資料>

「設備機器一覧表」

「点検基準表」

「日常清掃区域・面積及び作業基準表」「ガラス清掃面積表」

「pH計点検表」

「点検、測定及び試験の基準」 別紙 1、別表

「敷地全体図」

「各階平面図」

「立面図」

「雨水排水平面図」

「植栽平面図」

「参考：ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン運転時間表」

「参考：営繕作業等実績表」

第1章 施設概要・作業期間・作業に関する一般留意事項

施設概要1 脳情報通信融合研究センター

名 称：国立研究開発法人情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター

所 在 地：大阪府吹田市山田丘1番4号

竣工年月：平成25年2月

敷地面積：996,659 m²、建築面積：1,661.06 m²、延床面積：9,818.83 m²

構造規模：SRC造、地上5階地下2階

施設概要2 大阪大学オープンラボ（アネックスA・B・C棟）

名 称：国立大学法人大阪大学 大学院生命機能研究科

所 在 地：大阪府吹田市山田丘1番3号

アネックスーA棟 軽量鉄骨造、地上1階 延床面積 158 m²

アネックスーB棟 軽量鉄骨造、地上1階 延床面積 300 m²

アネックスーC棟 軽量鉄骨造、地上1階 延床面積 322 m²

作業期間

2026年4月1日から2029年3月31日まで

作業に関する一般留意事項

1-1 一般事項

- 1 本業務は、施設全般についての電気・機械・建築設備、建物等の運転操作、監視、及び保守管理、入退室監視、機械警備、清掃、環境衛生その他の業務を行うことを主目的とする。
- 2 業務の実施に際しては、各関係諸法令・諸規則等法令を遵守し、本業務が安全、円滑かつ確実に実施されるよう、受注者は、作業従事者（以下「作業員」という。）に対し必要な教育及び研修を行い、常に善良なる管理者として誠実に業務を行うこと。
- 3 作業全般を掌握する管理責任者を置き、国立研究開発法人情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター（以下「当機構」という。）が指定する職員（以下「指定職員」という。）と情報交換を密に行い、当機構の運営に支障が出ないようにすること。
- 4 業務上知り得た情報等については、全てにおいて守秘義務責任を負うこと。
また、作業員と異動、退職後にも有効な守秘義務に関する契約書又は誓約書を交わしておくこと。
- 5 緊急時及び臨時に発生する建物維持管理に関する作業等については、指定職員の指示にしたがって適切な措置を講じること。
- 6 当機構からの支給物品、貸与物品の受け渡しは、指定職員の確認のもとに行わな

ればならないものとする。また、善良なる管理者の注意義務をもって管理し、在庫状況は毎月指定職員へ報告すること。

- 7 当機構の建物管理上、受注者は当機構で従事する作業員に対して、常に清潔な制服を着用させるとともに名札等身分を明確にするものを着用・携帯させること。なお、当機構が規定する場所への立入に際して指定する外衣等の着用を指示する場合は、その指示に従うこと。

- 8 受注者は作業員に対して、教育及び指導を実施し、身元及び風紀、衛生、規律の維持に一切の責任を負うこと。

作業員に異動等がある場合は、指定職員に対して事前に通知すること。新任者には、配置前に必要な教育・訓練を実施することとし、原則として2週間程度の引き継ぎ期間を設けること。

- 9 受注者は作業員に対して、民法、労働基準法、健康保険法その他法律に規定される事業主または雇用者としての一切の責任・義務を負うこと。

- 10 指定職員は、管理責任者、作業員の業務遂行につき、不適当・不適格と認められる者がいるときには、受注者に対して当該作業員の交替を求めることが出来るものとする。

- 11 本請負業務はその一部を第三者に請け負わせることを認めるものとするが、業務全てを一括して第三者に請け負わせることは認めない。第三者に請け負わせる際には、業務開始前までに指定職員にリスト（業務名、業者名、連絡先、担当者、添付として契約書又は承諾書のコピー）を速やかに提出すること。なお、第三者が作業を行う場合、本仕様書等を遵守させること。

12 損害賠償等

- (1) 業務上の事故等については、受注者の過失または受注者の責めに帰する理由により発生した全ての賠償及び補償等については、受注者の責任において解決すること。
また、事故発生の原因及び被害の内容等について速やかに報告すること。
- (2) 受注者は損害賠償等の発生に備えて、作業期間開始前までに「請負業者賠償責任保険」、「生産物賠償責任保険」、「ビルメンテナンス業賠償責任保険」等の保険に加入し、当該保険証書の写しを指定職員に提出すること。

- 13 本仕様書は、業務の概要を示すものであるから、本書に明記されていない事項であっても、業務の性質上当然行うべきもの、法令等により必要な業務として定められているもの、施設全般の管理という目的の達成に必要な事項については、指定職員の指示により契約金額の範囲内で実施すること。（本仕様書に明記されていない事項については、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「※建築保全業務共通仕様書令和5年版」を準用する。）

https://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_hozen_shiyousho.htm

- 14 その他本仕様書に関して疑義等が生じた場合、双方協議の上で定めるものとする。

1 5 業務の引継ぎ

受注者は、契約期間終了の日までに「次期受注者」に対して本仕様書に記載する業務に関する引継ぎを行わなければならない。「次期受注者」とは本契約期間後の受注者で、本期間の受注者と異なる場合の受注者のことをいう。

1 - 2 作業実施上の注意事項

1 作業実施計画

作業の実施に当たり、事前に指定職員に作業実施計画書を提出し、作業日の原則1週間以上前に指定職員の承認を得ること。また、作業により当該施設の機能面及び安全面において機能低下が考えられる場合には事前に管理責任者から指定職員に報告し対応を協議すること。

2 作業の周知

作業中に当該施設の機能が中断される場合は、事前に指定職員に報告すること。指定職員から影響を受ける関係者に周知する。

3 作業中の標識等

作業の実施に当たっては、安全確保のため標識等の掲示を行う。また、必要に応じて、養生、バリケード等による安全確保措置を行う。

4 作業用車両等

事業所等の構内に駐車する車両はあらかじめ指定職員に許可を受け、作業用車両であることを表示する。

5 事故防止

作業に当たっては、火災・盗難・事故の防止を図る。

6 安全及び衛生

(1) 当機構及びその周辺における安全及び衛生などの管理を関係法規に基づいて行う。

(2) 作業着手前に作業手順・作業内容・注意事項等についてミーティングを行い、危険予知訓練（KYT）活動により安全を確保する。特に、転落・感電・酸欠などの事故防止に努める。活動記録は、速やかに指定職員に提出すること。

7 損害予防措置

(1) 作業の実施に当たっては、既存施設、設備及び備品等に損害を与えないように留意すること。また、居住者等の安全確保にも十分な注意を払うこと。

(2) 損害を与えたときは、直ちに適切な処置を行い指定職員に報告し指示を受ける。

(3) 作業に伴う損害等の危険性が予見される場合は、指定職員に報告し指示を受ける。

8 整理・整頓

諸機材及び予備品等は常に整理・整頓に心掛け、作業終了後は速やかに後片付け及び清掃を行う。

9 作業員の体制について

病気等により作業員に欠員が生じる場合を想定し、代替要員の研修等を行い不測の事態に備えること。また、事前に代替要員リストを提出すること。

第2章 設備運転保守管理業務

設備運転保守管理業務の作業員の中から管理責任者を選任して、設備監視装置、入退室監視装置及びI T Vによる監視・警報の対応、その他の業務管理に関して指揮命令系統を統一するものとする。

(1) 業務体制及び作業員について

ア 業務日及び業務時間は以下のとおりとする。

業務日：平日（土曜・日曜日、休日及び12月29日～1月3日を除く）

業務時間：管理責任者 8：30～17：30

ただし、特別行事等がある場合は臨機に対応するものとする。

イ 作業員については、契約の履行に足る人数を配置すること。

ウ 作業員については下記の要件を満たす者であること。

(ア) 管理責任者が保有すべき要件

- ・延べ床面積が5,000m²以上の公共施設、学校、研究所、またはビル等における保守管理業務の実務経験が5年以上あること。
- ・MS-EXCEL・MS-WORD・Powerpoint、メールソフトを十分に操作し、報告書、資料等を作成することが出来ること。

(イ) 作業員が保有すべき要件

- ・延べ床面積が5,000m²以上のビル等における保守管理業務の実務経験が5年以上あること。

(ウ) 電気主任技術者が保有すべき要件及び条件

第3種電気主任技術者以上の資格を有し、高圧以上の受変電設備を有する建物における保守管理業務の実務経験が3年以上あること。脳情報通信融合研究センターの電気主任技術者として選任届出を行い常勤すること。

(イ) 自家用電気工作物の工事、維持及び運用の保安を確保するにあたり、電気主任技術者として選任する者の意見を尊重する。

(ロ) 自家用電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者は、電気主任技術者として選任する者がその保安のためにする指示に従う。

(ハ) 電気主任技術者として選任する者は、自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実にを行うこと。

(ニ) 作業員の休暇時や作業内容等による増員が必要な場合には事前に代務員を定め置くこと。なお、代務員は作業員と同等の要件を有すること。

エ 実務経歴書、資格を証明する書類、受講修了書等を事前に提出し、了承を得た者以外は従事させないこと。

オ 管理責任者及び電気主任技術者が病気その他やむを得ない事情により不在とな

る場合にその業務の代行を行う者を予め指定職員に届出ること。

- カ 管理責任者・電気主任技術者が病気他のやむを得ない事情により長期(約 1 月以上) にわたり不在となる場合は、その代行予定者について経歴書を添えて指定職員に届出ること。

(2) 管理業務対象設備及び業務の範囲

業務対象は敷地内のすべての施設とし、対象となる設備機器の詳細は別紙の「設備機器一覧表」のとおり。なお、業務の範囲は以下の設備における範囲とする。

- ア 受変電設備
- イ 非常用発電設備
- ウ 直流電源設備
- エ 弱電設備（中央監視装置、I T V 設備、入退出管理・防犯設備、情報設備、インターホン設備、テレビ共聴設備、放送設備、会議室A V 設備、電灯設備、コンセント設備、時計設備、避雷針設備）
- オ 空気調和設備
- カ 給排水衛生設備
- キ 消防・防災用設備
- ク エレベーター設備
- ケ 自動ドア設備
- コ ゲート自動式門扉

(3) 管理業務の概要

ア 管理責任者の業務

設備の各業務の実施及び作業員、下請負業者の指導・監督、当機構指定職員との業務打合せ、取りまとめ等の統括管理を行うものとする。

イ 計画立案等

管理業務を計画的に実施するため、次の計画書を作成し、契約後 1 週間以内に指定職員あて提出するものとする（月間計画書においては次月の 1 週間前までに提出するものとする）。なお、変更・更新があった場合にはその都度速やかに提出すること。

- (ア) 日常点検業務計画（1 部）
- (イ) 年間及び月間定期点検・測定・整備業務計画(1 部)
- (ウ) 自主点検・法定点検業務計画(1 部)

ウ 名義の選任

管理業務上必要な各種名義選任は指定職員の承諾を得て受注者で行うこと。

エ 報告・連絡

業務の実施にあたっては、次の報告・連絡等を行うものとする。

(ア) 運転監視及び日常点検等により、発見した故障箇所・要修理箇所の報告及び意見具申

(イ) 指定職員との連絡及び調整

(ウ) 日報、月報及び年度報告書等の業務報告書の提出

(エ) 定期点検・測定・整備の報告

(オ) 自主点検・法定点検の報告

(カ) 事故、災害等発生時は、当センターの緊急連絡表により指定職員等へ連絡を行う。事故・災害等発生時における、消防、警察、関係行政庁及び電気、ガス、水道等インフラの供給事業者への連絡は内容等について指定職員等と協議のうえ行うこととするが、緊急に連絡の必要が認められる場合は管理責任者の判断により実施する。

オ 立会い等業務

(ア) 官公庁立入り検査等において指定職員の指示に基づき立会を行い、その結果についての報告書の作成、提出及び報告を行う。また、検査等に必要な資料作成に協力すること。

(イ) 定期検査に立会うとともに、その結果について報告書の作成、提出及び報告を行う。

(ウ) 消防計画の作成に関する助言及び補助を行う。消防訓練時の受信機等の操作、復旧、補助を行い、訓練の準備、後片付けに協力する。

(エ) 指定職員から依頼があった修理・改修・整備工事について、立会を行い、その結果について報告を行う。

カ 記録書類の作成

(ア) 台帳類（高圧受変電・弱電設備・空気調和設備・給排水衛生設備・消防用設備・エレベータ設備・自動ドア設備・中央監視及び空調自動制御機器・ゲート式自動門扉）

(イ) 計画表・報告書類

(ウ) 運転日誌、作業日誌類

(エ) 修理、整備、改修工事及び事故・災害時の調査記録等

キ 設備に関する各種図書や記録台帳等の管理

(ア) 関係図面・図書類の収集、整理、修正及び保管（図面及び図書類のファイル形式については必要に応じて指定職員の承認を得ること）

(イ) 設備機器内容の確認

(ウ) 工具、器具とその台帳の管理

(エ) 消耗品及び予備品の在庫管理

(オ) その他各種書類等の維持管理

ク 事故・災害時等における応急処置

- (ア) 設備事故、火災、落雷、停電、不審者の侵入等の場合を想定した応急処置マニュアルを作成し、契約後 1 週間以内に指定職員あて提出すること。
- (イ) 異常、警報の移報があった場合、その連絡は受注者の管理責任者またはその代務者に通報されることとする。
また、通報があった場合、下記の連絡、措置を講じることとする。
 - ① 遅滞なく作業員もしくは代務員を現場に急行させ、異常事態の内容及び異常・警報復帰の可否の確認を行うこと。
 - ② 当機構の緊急連絡表に従って、電話により緊急連絡を遅滞なく行い、指定職員等の指示に従うこと。
 - ③ 作業員は事態の拡大防止及び安全確保のため必要な処置（避難・誘導、緊急車両進入路の確保等）を取ること。

ケ その他

- (ア) 当機構で使用する水道（井水、雑用水含む）・ガス・電気の使用量を毎月度確認及び把握をし、データの集計を行うと共に、最も適切な省エネルギーの助言・提案を行うこと。
- (イ) 指定職員との定例打合会を毎月度開催すること。
- (ウ) 法令、技術基準等の改正や新たな技術等の情報収集に努め、可及的速やかに指定職員に報告するとともに、必要と認める場合は適切な助言を行うこと。

(4) 管理業務の内容

ア 運転管理

- (ア) 運転操作要領を理解し、運転基準等に従って適正な運転・操作を行うこと。
- (イ) 主要機器については、始動前に点検を行い、運転により支障をきたす所がないことを確認すること。
- (ウ) 中央監視制御盤により、運転状態を監視し、適正運転値を監視・確認すること。
- (エ) 設備機器の過熱、不平衡、異常音、異常振動、変形、異臭、変色などの異常及びその兆候に注意すること。
- (オ) 異常（警報）発生時（機器の一部及び全部が稼働しない場合）には、その原因調査と正常運転への復帰処置を可及的速やかに行うこと。ただし、当機構から専門業者等に直接業務委託している設備については、指定職員と連絡を取った後、指定職員の指示に基づき対応すること。
- (カ) 毎日、運転・管理日誌を作成し速やかに提出すること。
- (キ) 設備機器台帳を作成・更新し、特記事項、点検・整備・修理、故障などの履歴を記録・管理すること。
- (ク) 電力・水道・井水・雑用水・ガス等の使用状況の確認、使用量計測及び集計を

日々行い、異常値があれば直ちに指定職員に報告し調査及び一時対応を行うこと。

- (ケ) 火災、停電及び地震その他の災害が発生した場合は、応急処置マニュアルに基づき被害の発生・拡大を最小限に止められるように務めること。

イ 点検管理

日常点検・定期点検を行い、運転監視では発見しにくい場所や見逃しがちな故障、停止中機器の潜在故障の発見に務めること。

点検は機器の点検項目に従って行うほか、作業性、防災・保安面からも注意を払うこと。

(ア) 日常点検

五感による点検（汚損、損傷、変色、油等の漏れ、異音、異臭、過熱等）と設備に設けられている指示計器によって異常の有無を点検すること。

(イ) 定期点検・測定

専用の測定器を用いて点検（主として点検周期が1カ月以上の点検内容の項目についての点検）を行うこと。ボルトやナットの増締め、塵埃の除去についても随時行うこと。

ウ 営繕作業

※参考として最近1年間（2024年4月～2025年3月）における実績を別紙の「営繕作業等実績表」に示す。

常備している工具・器具等を使用して、次の(ア)～(エ)までの営繕作業を行うこと。難易度が高い作業及び作業範囲に疑義がある場合は指定職員と協議して指示を受けること。交換・修理にかかる部品、材料等は別途支給とするが、販売業者等からの見積徴取に協力すること。

(ア) 空調設備

- ・冷暖房における不具合の調査、調整、復旧
- ・Vベルト等の交換
- ・異音等の原因調査・除去等
- ・防虫網、フィルター等給気口の清掃
- ・スクラバーに使用する次亜塩素酸ナトリウムの残量確認及び補充

(イ) 給排水衛生設備

- ・排水の詰まり除去
- ・フラッシュバルブの分解清掃・修理、交換
- ・各種水漏れ修理等
- ・ルーフドレン清掃
- ・雨天時における雨漏り危険箇所（過去の事例による）の巡視

(ウ) 電気設備

- ・管球類の取替（ただし、組立足場等による高所の作業が必要な場所を除く。）

- ・コンセント及びスイッチ類の修理、交換等（実施にあたっては遮断機の開放等安全を確保すること）
- ・ブレーカートリップ等が起こった場合の復旧と原因究明等
- ・時計時刻合わせ（１階共用部電波時計、自火報盤、ＩＴＶ等）

(エ) その他

- ・故障修理、調整等
- ・コンプレッサードレン抜き及び安全弁動作確認
- ・ヘリウム搬入における自火報、入退出管理対応
- ・タッチアップペイント等

(5) 業務の細目

別紙「点検基準表」に基づいて行うものとする。

ア 高圧受変電設備管理

電気主任技術者の選任

電気主任技術者を選任し、電気事業法に基づき、自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安、監督の職務を行う事。

また、当該電気主任技術者の指示に従い、適切に点検業務を行い保安の確保に努めること。

日常点検業務

高圧関係の維持管理については、電気事業法並びに電力供給会社の規則に基づき、自家用電気工作物保安規程に定める「点検、測定及び試験の基準」別紙１、別表）に基づいて、巡回点検等を実施すること。

イ 電気設備管理

(ｱ)点検概要

a 中央監視制御設備

運転操作及び警報等の監視、処置対応

b 直流電源設備

日常点検

c 非常用発電設備

日常点検、無負荷試運転各種記録、燃料使用量・残量記録

d 電灯設備、コンセント設備

不点灯器具の原因調査及び部品交換等

e ＩＴＶ設備、防犯設備、避雷針設備

日常点検

(ｲ) 下記設備については、トラブル・故障等の発生時、可能な範囲での原因調査・

修繕を行うこと。

- ・電話交換設備 ・インターホン設備 ・テレビ共聴設備 ・放送設備 ・電灯設備
- ・コンセント設備 ・空調用自動制御設備等

ウ 空気調和設備管理

(ア) 点検概要

a 空冷ヒートポンプチラー

運転操作、監視、記録及び点検基準表に基づく日常点検

b ヘッダー、膨張タンク等

点検基準表に基づく日常点検

c 各ポンプ関係

点検基準表に基づく日常点検

d 空気調和機

運転、操作及び点検基準表に基づく日常点検

加湿器の点検・清掃

※使用開始時、定期的に汚れの状況を点検し、必要に応じて清掃等を行うこと。

排水受けの点検・清掃

※使用開始時、定期的に汚れ及び閉塞の状況を点検し、必要に応じて清掃等を行うこと。

e マルチエアコン、パッケージエアコン、ファンコイルユニット等

点検基準表に基づく日常点検

f 送風機、排風機、換気扇その他ファン類

点検基準表に基づく日常点検

エ 給排水衛生設備管理

(ア) 点検概要（主なものを抜粋）

a 受水槽等

点検基準表に基づく日常点検

b 各ポンプ関係

点検基準表に基づく日常点検

c 各ヘッダー

点検基準表に基づく日常点検

d 給湯器等

点検基準表に基づく日常点検

e 衛生設備

点検基準表に基づく日常点検

(イ) 交換を要するようなものについては別途報告すること。

オ 消防用設備管理

(ア) 点検概要

日常点検を行うものとする。(外観点検)

自動火災報知設備、防排煙設備、非常放送設備、連結送水管設備、屋内消火栓設備、誘導灯設備、消火器具、非常用発電機設備等

- (イ) 設備に関する事故、トラブル等が発生した場合及び警報の発報時には、状況確認後、速やかに指定職員に連絡後、適切な処置を行うこと。

カ エレベータ設備管理

(ア) 点検概要

- ・点検基準表に基づく日常点検及びランプチェック・異音振動の有無
- ・エレベーターインターホン警報等の発報時の処置対応

- (イ) 閉じ込め事故等が発生した場合には、状況確認後、速やかに指定職員と連絡を取り、適切な処置を行うものとする。

キ 自動ドア設備管理

点検基準表に基づく日常点検

ク ゲート式自動門扉管理

点検基準表に基づく日常点検

(6) 経費の分担

ア 当機構で負担するもの

- ・監視室ほか管理上必要な施設および設備
- ・机、椅子、ロッカー、書庫等の事務用什器
- ・運転監視、入退室監視装置等のプリンター用紙
- ・管理上必要な光熱水費
- ・当機構指定職員間で使用する携帯電話
- ・管理上必要な交換部品（照明管球類、表示灯、ヒューズ、油脂類等、フィルター、ベルト、補修用ペイント等）

イ 受注者で負担するもの

- ・保守管理上必要な計測器・工具類・保護具類・消耗資材
計測器・・・テスター、温湿度計、絶縁抵抗測定器、クランプテスター、接地抵抗計、残留塩素測定器、照度計、酸素・硫化水素濃度計、ハンディ pH 計等
工具類・・・ドライバー、ペンチ、ニッパー、スパナセット、レンチ、ハンマ、ヤスリセット、金属用のこぎり、半田付け工具、懐中電灯、カンツール、パイプレンチ。脚立等
保護具類・・・ヘルメット、絶縁手袋、絶縁長靴、安全靴、軍手等、安全標識等

消耗資材・・・テープ類、ウエス、日常点検で必要な油脂類、事務用消耗品等
OA 機器類・・・パソコン、プリンタ、複写機、ファクシミリ等及び用紙類

(7) その他

当機構において、設備等の工事及び作業が行われる場合、指定職員の依頼に基づき管理責任者は工事開始時、工事期間中並びに竣工時に立会いを行うこと。

第3章 設備点検業務

3-1 電気設備点検業務

対象設備は別紙「設備機器一覧表」によることとし、「点検、測定及び試験の基準」(別紙1 別表)に基づき点検を実施し、報告書を提出すること。

自家用電気工作物の保安管理について、選任された電気主任技術者は保安規程、法令その他特別に定める技術基準に適合するように、善良なる管理者の注意義務をもって下記の業務にあたること。

(1) 電気設備日常点検

(ア) 電気工作物に係る保安教育

電気工作物の工事、維持または運用に従事する者に対し電気工作物の保安に関する必要な知識及び技能の教育を行う場合の意見具申を行うこと。

(イ) 自家用電気工作物の工事

自家用電気工作物の設置、改造等の工事計画の立案の際の意見具申を行うこと。

(ウ) 自家用電気工作物の保守

自家用電気工作物の保守業務の指導監督を行うほか、法に基づく技術基準に適合しない事項の修理または改造若しくはその使用の一時停止などの意見具申を行うこと。

事故その他異常発生時の措置について意見具申を行うこと。

(エ) 自家用電気工作物の運転操作受電用高圧回路機器の操作についての指導監督を行うこと。

(オ) 自家用電気工作物の災害対策

非常災害発生時における、電気工作物に関する保安を確保するための指導監督を行うこと。

(カ) 保守業務の記録

法令に定める必要な書類、保存期間についての指導監督を行うこと。

(キ) 保守用機材及び書類の整理、保存保守用機材及び書類の整理、保存についての意見具申を行うこと。

(2) 電気設備定期点検

自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督並びに保安のための監視、点検を別紙「点検基準表」に基づいて行うこと。

(3) 受変電設備精密点検

高圧受変電設備等について、電気事業法（昭和39年法律第170号）に基づき、保安規程の「点検及び試験の基準」により精密点検を行うこと。

ア 点検回数

1 回／3 年（本仕様書の業務期間中、令和 9 年度実施）

イ 業務内容

停電状態での設備点検（碍子、その他各部の亀裂損傷、刃部の接触及び過熱状態、ボルト・ナットの増締め、塵埃の除去など）を行うほか、絶縁抵抗と接地抵抗値の測定、保護継電器の動作特性試験などを行い、その結果を記録すること。

(ア) 接地抵抗測定

各種接地極（第 A・B・C・D 種、避雷器等）の接地抵抗測定

(イ) 絶縁抵抗測定

開路状態での高圧部分 5,000V・低圧部分 500V の絶縁抵抗計による絶縁抵抗測定
・主導電部と大地間

(ウ) 母線

弛み、腐食、損傷及び過熱の有無並びに母線相互間及び母線と他設備間の離隔距離の適否の点検

ボルト等締めつけ部緩みの増締め及び錆落とし

碍子類及び支持物の汚れ、亀裂、破損、錆、腐食、異常な変色の有無の点検

(エ) 引込み設備

区分開閉器、引き込み線の弛み、腐食、損傷及び過熱の有無の点検、絶縁抵抗測定

区分開閉器、保護継電器の動作試験

保護継電器の動作特性試験

(オ) 高圧受配電盤及び低圧配電盤

汚れ、損傷、錆、変色等の有無の点検

配線、接地線及び端子部の損傷、過熱及び断線の有無の点検

締めつけ部緩みの増締め

塵埃の清掃

(カ) 負荷開閉器

本体、操作機構部の損傷、変形、汚れの有無の点検（清掃）

通電部の焼損、溶着、損傷、汚れの有無の点検（清掃）

(キ) 避雷器内蔵型断路器

本体、操作機構部の損傷、変形、汚れの有無の点検（清掃）

刃部及び刃受部との接触状態と過電流による過熱変色及び汚損などの有無の点検、外部碍管の汚れ、損傷、亀裂、変色及びコンパウンド異常の有無の点検

ボルト緩みの増締め及び汚れ等の清掃

リード線（接地線）の断線及び取り付け状態の点検

(ク) 計器用変成器

外装の損傷・汚損、過熱による変色の有無の点検

ヒューズ切れの点検

(ケ) 変圧器

目視による外観点検、過熱の有無の確認及び汚れの清掃

本体及び付属品の汚れ、緩み、塗装剥離及び錆の有無。防震装置の劣化の有無
端子部、碍管の汚れ、損傷、緩み及び過熱変色の有無

放圧装置の亀裂、破損の有無の点検

(コ) 高圧真空遮断機

本体・操作機構部の損傷、変形、破損及び汚れの有無

通電部の焼損、溶着、損傷及び汚れの有無

継電器を含む遮断機の動作確認

(サ) 電力ヒューズ

管の破損等の有無、変色、塵埃の付着、接点の接触不良の有無の点検

(シ) 進相用コンデンサ等

ブッシング及び碍管の汚れ、破損等の有無の点検

端子部緩みの増締め及び汚れ等の清掃

ケースのふくれの有無

(ス) 継電器類

端子部の締めつけ、異音、異臭、塵埃の付着、接点の接触不良の有無の点検故障
検出器を作動させ、警報及び故障表示を確認

試験は製造者の示す動作特性試験を行い、継電器単体の良否を判定し、保護連動
試験を行うこと。

(セ) 総合点検・清掃等

その他各機器及び電気室及びキュービクルを点検・清掃すること。

ウ 実施計画の提出

受変電設備精密点検の実施3ヶ月前には、次の事項についての計画書を指定職員
に提出し、その承諾を得てから実施すること。

(ア) 停電時間とその範囲

(イ) 点検作業の時間

(ウ) 点検作業中における電気事故防止措置

(エ) 仮設電源の供給範囲と時間

エ 点検中における緊急事態発生の場合

緊急を要する事態（火災、地震等）が発生したときは、安全かつ速やかに点検業
務を中止して、関係施設及び設備が使用できるように復旧措置を行うこと。

オ その他

(ア) 受変電設備精密点検終了後は点検結果報告書を速やかに提出すること。

(イ) 点検結果において補修、改修等が必要であると認めたときは、内容の報告（説明）を行うこと。

(3) 非常用発電機点検

ア 点検回数

精密点検：1回／3年（本仕様書の業務期間中、令和9年度実施）

無負荷試験：1回／月

イ 点検内容

(ア) 原動機部

周囲・外観の状況

始動・運転・停止状況の点検

主要部 冷却水・油漏れの点検

潤滑油量確認・汚れ点検

計器類指示確認

実負荷試験

タンクのドレン抜き

各ポンプ類作動状況点検等

燃料フィルター、潤滑油フィルターの交換

(イ) 発電機部

配電盤・主要収納機器、外観点検

自動制御装置の作動確認

発電機本体外観点検

軸受・ブラシまわり外観点検

始動・停止試験

電圧調整範囲確認

保護継電器の単体試験

絶縁抵抗測定

実負荷切替試験等

ウ その他

(ア) 非常用発電機点検による定期取替部品（燃料フィルター、潤滑油フィルター等）は請負者が用意すること。その他、部品等の交換が必要な場合の作業費・部品代は別途とする。

(イ) 臨時に行う場合の保守作業費及び機器または部品不良による取替えが生じた場合は別途とする。

(ウ) 非常用発電機点検終了後は、点検結果報告書を速やかに提出すること。

(エ) 点検結果において補修、改修等が必要であると認めたときは、内容の報告（説

明)を行うこと。

(4) 直流電源設備点検

ア 点検回数

精密点検：1回／3年（本仕様書の業務期間中、令和9年度実施）

簡易点検：毎日

イ 点検内容

(ア) 蓄電池

- a 電槽・ふた（全セルの亀裂・変形・汚れ・損傷の有無を確認）
- b 各種栓体・パッキン（損傷の有無の確認）
- c 封口部（はがれ・亀裂・ふくれ・へこみの有無の確認）
- d 接続部（変形・発熱・緩み・変色・発錆の有無の確認）
- e 架台・箱（汚れ損傷の有無の確認）
- f 表示（汚れ損傷の有無の確認）
- g 浮動充電中の蓄電池総電圧（蓄電池端子における電圧）

(イ) 整流器

- a 外箱、扉、換気口、計器、表示灯、スイッチ（汚れ・損傷の有無の確認）
- b 各部部品（汚れ・損傷・過熱・変色・腐食・異音・異臭の有無の確認）
- c 浮動充電電圧（電圧測定）
- d 出力電流（盤面電流計にて確認）等

ウ その他

(ア) 直流電源設備点検終了後は点検結果報告書を速やかに提出すること。

(イ) 点検結果において補修、改修等が必要であると認めたときは、内容の報告（説明）を行うこと。

(5) 絶縁監視業務

ア 高圧回路及び低圧回路には、常時（24時間連続）絶縁を監視する装置を設置すること。

イ 高圧回路に設置する絶縁監視装置は、微地絡電流を検知し、その時の波形を記録するとともにインターネット回線等により、その異常警報をすみやかに絶縁監視装置の設置契約先の集中監視モニターで受信するものとする。また、波形情報を集中監視モニターで自動受信した場合は、その原因を調査し適切な措置を行うこと。

ウ 微地絡電流発生時の受信の記録を日常点検記録表に記載すること。

エ 低圧回路に設置する絶縁監視装置は、警報動作電流（設定の上限値は50ミリアンペアとする）以上の漏えい電流が発生している旨の警報を連続して5分以上受信した場合、又は、5分未満の漏えい警報を繰り返し受信した場合は、警報発生の原因

因を調査し、適切な措置を行うこと。

オ 警報発生時の受信の記録を日常点検記録表に記載すること。

(6) 避雷針設備

ア 設置状況（ボルトの緩みの有無）

イ 避雷導帯（断線、固定状況の確認）

ウ 接地極の抵抗値測定（1年1回以上）

3-2 空気調和設備点検業務

機器及び点検内容

(1) ①冷熱源機器（空冷ヒートポンプチラー）

東芝キャリア株式会社製

RUA-TBP0303HNKV-D モジュール17台

②冷熱源機器（ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン）

ヤンマーエネルギーシステム株式会社製

YDZP450×4台

YFZP850×6台

YGZP850×1台

YFZP560×2台

YDZP560×2台

YGZP560×1台

YNZP850×1台

YNZP710×1台

(2) 点検内容は下表のとおりとする

①空冷ヒートポンプチラー

項目		点検	時期
本体	ケーシング		暖房シーズン前
	ドレンパン	汚れ、錆、漏水	
	水配管	エア溜まり	
圧縮機	高圧圧力	計測	暖房シーズン前
	低圧圧力	計測	
	電流	計測	
	絶縁抵抗	計測	
	異常加熱	計測	
	運転	異音、振動	
室内外コイル	入口温度	計測	暖房シーズン前
	出口温度	計測	

室外ファン	絶縁抵抗	計測	暖房シーズン前
	ファン	異音、振動	
冷媒回路	吐出ガス温度	計測	暖房シーズン前
	吸入ガス温度	計測	
	液管温度	計測	
	膨張弁	計測	
	サービスパルプ	漏れ	
	四方弁、逆止弁	動作	
凝縮器	冷却水入口温度	計測	暖房シーズン前
	冷却水出口温度	計測	
	本体	汚れ、錆、詰まり	
電装品	操作回路絶縁抵抗	計測	暖房シーズン前
	配線	端子緩み	
	コンタクタ・リレー	接点の荒れ、摩耗	
	プリント基板	動作	
	クランクケースヒーター	動作	
	センサー	動作	
	インバーター	動作	
安全装置	高圧圧力スイッチ	動作	暖房シーズン前
	ポンプインターロック	動作	
	可溶栓	変形	
冷温水、循環水	サンプリング	分析	暖房シーズン前

②ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン

項目		点検	時期
エンジン	起動状況	運転	暖房シーズン前
	給排気、ブロハイ、排気ホース	破損、緩み	
	ミキサー	ハンチング	
	点火プラグ	破損、緩み、ギャップ	
	エアエレメント	汚損、詰まり	
	換気ファン	動作	
電装品	ハイテンションコード、コードプラグ	亀裂、劣化	暖房シーズン前
	配線、カプラ類	緩み、ガタ、損傷	

	スターターモーター類	動作	
	ファンモーター類	ガタ、異音、損傷	
	アース端子	接続、劣化	
オイル、 燃料ガス	オイルフィルター	汚れ、詰まり	暖房シーズン前
	エンジン本体	汚れ、オイル漏れ	
	ゼロカバナとダイヤフラム本体	ガス漏れ	
	ガスホース、強化ゴムホース	亀裂、劣化、ガス漏れ	
	ガス電磁弁	動作	
冷却水	冷却水ポンプ	動作、水漏れ	暖房シーズン前
	ラジエターキャップ	水漏れ	
	冷却水ホース	亀裂、緩み、劣化	
	クーラント液	規定量、濃度	
	排ガス熱交換器	異音、漏れ	
冷媒	コンプレッサー	冷媒・オイル漏れ、異音	暖房シーズン前
	フレキパイプ、配管	オイル漏れ、接触、異音	
	冷媒配管	漏れ	
	コンプレッサーベルト類	緩み、亀裂、劣化	
総合	室外熱交換器フィン	汚れ、詰まり	暖房シーズン前
	室内機、室外機の通信	通信確認	
	室外機運転音	異音	
	室外機運転振動	異常振動	
	固定	水平、ボルト緩み	
	ドレンフィルター	亀裂、劣化、漏れ	
	電装 BOX、インバーター	吸気フィルター	

(3) 異常、故障等

異常、故障等が発生した場合、速やかに技術者等を派遣し、原因調査及び処置等が出来る体制を設けておき、速やかに復旧すること。ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコンについては、設置経過年数 13 年及び通算運転時間 30,000 時間のどちらにも到達していない機器（室外機、室内機、標準リモコン）に対する故障修理及び復旧を対象とする。ただし、オプション品、フィルター洗浄、熱交換コイル洗浄、オーバーホール、天災を原因とする故障等は除外する。

参考資料：⑪参考：ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン運転時間表

(4) 冷媒ガス漏洩定期点検

1 回／3 年（本仕様書の業務期間中、令和 8 年度実施）

圧縮機 7.5 kW 以上（チラーは 1 モジュールあたり）の機器はフロン排出抑制法に基づく定期点検を行うこと。

(5) 空調用フィルター、給気口、排気口等清掃業務

ア 作業回数

フィルター

下記の回数を基準として汚損状況により必要な間隔で実施すること

基準：OHU フィルター 清掃 月 1 回、洗浄 年 6 回

その他フィルター 清掃 年 2 回、洗浄 年 2 回

給気口、排気口 清掃 年 2 回

イ 作業内容

(ア) 再生（清掃）可能なフィルターは、定期的に清掃または洗浄すること。

(イ) 床吹出ユニットは、ごみ等の落下防止フィルターを清掃すること。

(ウ) 作業実施時にフィルターの汚損、破損の有無を点検すること。

ウ その他

(ア) 汚損または破損を見つけた場合は、フィルターの支給を受けて取替えを行うこと。

(イ) 業務完了後は、都度作業完了報告書を速やかに提出すること。また、在庫より補充数を検討し、指定職員に対し補充依頼を行うこと。

3-3 消防用設備等点検業務

対象設備は下表参照のこと。

(1) 点検回数

機器点検 2 回／年（8 月、1 月）

総合点検 1 回／年（1 月）

(2) 作業内容

ア 消防用設備等の点検については、消防法第 17 条の 3 の 3 の規定により、「消防法施行規則の規定に基づき消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を定める件（昭和 50 年 4 月 1 日消防庁告示第 3 号）」及び「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」及び「消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式の一部を改正する件」（平成 31 年 4 月 18 日消防予第 79 号）

に定められたところにより適正に行うこと。

イ 機器点検

- (ア) 消防用設備等に附置される非常電源（自家発電設備に限る）または動力消防ポンプの正常な作動の確認を行うこと。
- (イ) 消防用設備等の機器の適正な配置、損傷等の有無その他、主として外観から判別できる事項の確認を行うこと。
- (ウ) 消防用設備等の機能について、外観からまたは簡易な操作により判別できる事項の確認を行うこと。
- (エ) 連結送水管の耐圧性能点検は設置後 10 年を経過したものについて実施する。
(令和 10 年度実施)

ウ 総合点検

消防用設備等の全部もしくは一部を作動させ、または当該消防用設備等を使用することにより、当該消防用設備等の総合的な機能を消防用設備等の種類等に応じ、告示で定める基準に従い確認を行うこと。

(3) その他

- ア 消火器の放出試験は指定職員と協議の上、別途実施するものとする。
- イ 業務終了後は、消防法の規定による書式の報告書（正副 2 部）を速やかに提出すること。
- ウ 点検結果において補修、改修等が必要であると認められたときには、内容報告（説明）を行うこと。
- エ 消防用設備等点検報告書の消防法に定める消防署への報告書提出を代行すること。（令和 9 年度実施）

機 器 名	仕 様	数 量	単 位	メーカー	設置場所
複合受信機	複合 G R 型 壁掛型蓄積式	1	式	能美防災	1 階 管理事務室
〃	アドレス数：2 5 5 アドレス				
〃	中継器盤点数（回路）：8 5 L				
総合盤 （2 号消火栓組込型）	発信機・表示灯・ベル・ リミットスイッチ収容	21	台		
煙感知器	自動試験対応	339	台		
熱感知器	自動試験対応	37	台		
防火戸		3	台	文化シャッター	
防火シャッター		4	台	文化シャッター	
防煙垂れ壁		4	台		
排煙口開放装置		5	台		
排煙ファン制御盤		1	台		
排煙ファン	片吸込シロッコファン（床置）	1	台	テラル	5 階 (FSM-1)

(排煙機 居室用)	18000m ³ /h×400Pa 7.5kW				
増幅器ユニット	360W	1	式	TOA	1階 管理事務室
非常操作ユニット	20局	1	式		
非常電源ユニット		1	式		
スピーカー		272	台		
非常用発電機	3φ3W 6600V 625KVA	1	式	川崎重工 業	屋上
避難口誘導灯		35	台	東芝ライテック	
室内通路誘導灯		73	台	東芝ライテック	
誘導灯標識		2			
消火器	粉末消火器 (蓄圧式) ABC10 型	49	台	モリタ宮田	
	粉末消火器 (蓄圧式) ABC10 型	8	台	マルヤマ	B2F 非磁性
	ABC50 型	1	台	モリタ宮田	
	水消火器 (蓄圧式)	2	台	モリタ宮田	サーバー室
排煙口開放装置		5	台	協立エアテック	
湿式スプリンクラー ポンプ : FP-1	100φ×65φ×720L/min× 84m×18.5kW	1	台	川本製作 所	地下2階
	呼水槽 : 50L 圧力タンク : 50L				
スプリンクラーヘッド		298	個		地下1・2階
送水口	双口型	1	台	横井製作 所	
補給水槽	FRP 製 1m ³	1	台	ホーコス	屋上
屋内消火栓ポンプ : FP-2	50φ×40φ×300L/min×84m ×7.5kW	1	式	川本製作 所	地下2階
	呼水槽 : 50L				
屋内消火栓箱 (1号 易操作型)	2号消火栓	21	台	横井製作 所	
消火水槽	地下 RC 製 27m ³	1	台		ピット
防火水槽	地下 RC 製 40m ³	1	台		
送水口	双口型	1	台	横井製作 所	
放水口	表示灯収容	3	台		

3-4 エレベーター設備点検業務

対象設備

- (1) 人荷用：株式会社日立製作所製、機械室なしマイコン制御、ロープ式エレベーター（型式 OU-PF 7S tops）交流インバータ制御方式、速度 60m/min、定員 28 名、積載重量 1850kg、B2F～5F 1 基
付加装置：地震時管制運転装置、初期微動感知地震時管制運転装置、火災時管制運転装置、停電時自動着床装置、監視盤、音声案内装置、遮煙ドア、ドアセーフティー、液晶インジケーター
 - (2) 荷物用：株式会社日立製作所製、マイコン制御、ロープ式エレベーター（型式 DF-500SR-B23 3 Stops）インバータ制御方式、速度 22m/min、積載重量 500kg、B2F～4F（停止階、B2F、1F、4F）1 基
- 上記(1)(2)のエレベーターを国土交通省建築保全業務共通仕様書（令和 5 年度版）に準拠した定期点検及び建築基準法第 12 条第 3 項の定期検査を行うものとする。
- 技術員による人的定期点検（以下「人的点検」という。）を基本とし周期 A によるものとするが、遠隔点検装置等を利用して同等程度の点検が可能な場合には、人的点検について周期 B によるものとする。遠隔点検装置等を利用する場合における監視、点検は下記によるものとする。
- 点検作業を行う場合、事前に指定職員に連絡して承諾を得てから作業すること。作業終了後は、点検報告書または作業内容報告書を速やかに指定職員に提出すること。また、指定職員の指示により、監督官庁（または機関）に報告書の届け出を行うこと。
- (3) 上記(1)(2)は FM 契約による保守管理とする。
 - (4) 受注者は、24 時間出動体制を整え、不時の故障・事故に対し、最善の手段で対処すること。

受注者は、故障、災害等により、エレベーターに閉じ込め又は機能停止が生じた場合は、発注者等から連絡を受け、可能な限り速やかに適切な処置を講じるよう努める。

出動依頼から受注者が到着するまでの目標時間について、受注者の定めがある場合は、これによる。

遠隔監視項目	故障・異常及びかご内からの通報
--------	-----------------

	・ 閉じ込め故障 ・ 起動不能故障 ・ エレベーター用動力電源停電 エレベーター用 100V 電源停電 ・ ドア開閉故障（ドアの閉まり切らず・開き切らず） ・ かご停止時の着床不良 ・ かご内からの通報
遠隔点検項目	性能点検（周期：1 M）
	・ 起動状態 ・ 加速走行状態 ・ 定常走行状態 ・ 減速走行状態 ・ 着床状態
	各機器の点検（周期：1 M）
	・ 機械室又は制御盤の温度 ・ 制御機器の状態 ・ かご内の行先階ボタンの状態 ・ インターホンの状態 ・ ドアの開閉状態 ・ 乗場ボタンの状態 ・ ドアスイッチの状態 ・ 電磁ブレーキの異常の有無
	利用状態（周期：1 M）
	・ かごの走行距離、走行時間又は起動回数 ・ ドアの開閉回数

3-5 自動ドア設備点検業務

対象設備

(1) 1F 風除室自動ドア

ナブコドア(株)製

DSN-250D型 2箇所

(2) 点検は、下表参照

点検周期は、3か月に1回とし、4回／年とする。

点検日は、事前に指定職員と十分打ち合わせを行い、工程表、作業員名簿を提出のうえ、承諾を得てから作業すること。

作業終了後は、速やかに点検報告書を提出すること。

項目	点検
----	----

サッシ部	無目点検カバー	取り付け状態
	ガイドレール	状況
	扉	傷、作動時の異音
	振れ止め、扉ガイド	取り付け状態
	指詰め防止	30mm 以上のクリアランス確認
	全閉時の戸先、ドアと無目、方立、ガイドレール	隙間の確認
懸架部	ハンガーレール、吊車の汚れ	摩耗、汚れ、損傷
	踊り止め	隙間の確認
	ストッパー、ハンガーレール、吊車	取り付け状態
動力作業部	手動開閉	動作、異音
	エンジン	取り付け状態
	駆動部	変形、摩耗
	プーリー	変形、摩耗（駆動・従動）
	ベルト、チェーン、ワイヤー	張り、摩耗、取り付け状態
制御装置	開閉速度	速度及び時間の確認
	クッション作用	動作確認
	開き保持時間	時間確認
センサー部 (内外)	起動センサー（0A-720VN、SSP-N42）	作動検出範囲確認
	補助センサー（NP-10）	作動状況
電気回路	総合動作	通常開閉動作、反転動作点検
	配線	支持、接続状態、被覆の亀裂の有無
	電源電圧	測定
	絶縁抵抗	異常時測定
その他	警告表示ラベル	確認
	戸袋警告用ラベル	確認
	電気錠	動作確認

3－6 中央監視装置及び空調自動制御機器点検業務

対象設備

- (1) 中央監視装置及び空調自動制御機器
アズビル株式会社製 （2013/1 月設置）

中央監視装置 Savic-NetFX 一式

Savic-NetFX BMS 一式

(2) 空調自動制御機器 一式

点検内容、点検回数は下表参照

項目		点検
中央監視装置	監視用パソコン(監視用 PC)	ハードウェア構成の確認
		ソフトウェア構成の確認
		IPアドレスの確認
		本体各部のクリーンアップ
		内部冷却ファン回転確認、劣化判断
		ケーブル・コネクタ類の装着状態確認
		インジケータ確認
		HDD の異音及び動作確認
	システム機能	各基本機能の確認、調整
		各管理機能の確認、調整
		各制御機能の確認、調整
		各システム機能の確認、調整
	カラーレーザースーパープリンタ (CLP)	ハードウェア構成の確認
		IPアドレスの確認
		外観の目視確認
		本体各部のクリーンアップ
		トナーの残量確認
		印字機能の確認
	データ・ストレージ・サーバ (DSS)	システム設定の確認
	システム・マネジメント・サーバ (SMS)	IPアドレスの確認
	システム・コア・サーバ (SCS)	システム状態の確認
		メモリアップバックアップ機能の確認
		動作確認
		バックアップバッテリー放電電圧測定による劣化判断
		バックアップバッテリー外観点検
		電源断検出レベルの測定、調整、劣化判断
		電源電圧、リップル値の測定、調整、劣化判断
		HDD の異音及び動作確認

		本体各部のクリーンアップ		
		データファイルのバックアップ		
		ケーブル・コネクタ類の装着状態確認		
		内部冷却ファン回転確認、劣化判断		
		メンテナンス PC による各種確認		
		本体内部温度状態確認		
		システム各種ログ保存、確認、劣化判断		
	無停電電源装置	各部のクリーンアップ		
		バックアップ 動作の確認		
		電源断検出レベルの測定、調整、劣化判断		
UPS 出力電圧測定による劣化判断				
項目		点検		
中央監視装置	無停電電源装置	内部冷却ファン回転確認、劣化判断		
	ビル・マネジメント・サーバ (BMS)	システム設定の確認		
		IP アドレスの確認		
		システム状態の確認		
		メモリバックアップ 機能の確認		
		動作確認		
		バックアップ バッテリー放電電圧測定による劣化判断		
		バックアップ バッテリー外観点検		
		電源断検出レベルの測定、調整、劣化判断		
		電源電圧、リップル値の測定、調整、劣化判断		
		HDD の異音及び動作確認		
		本体各部のクリーンアップ		
		データファイルのバックアップ		
		ケーブル・コネクタ類の装着状態確認		
		内部冷却ファン回転確認、劣化判断		
		メンテナンス PC による各種確認		
		本体内部温度状態確認		
		システム各種ログ保存、確認、劣化判断		
		空調自動制御 機器	ポンプ 台数制御コントローラ、 空調機コントローラ	外観・取付状態点検及び清掃
				電源電圧, 制御電圧の点検
バックアップ 機能の点検				

		アラーム状態、システムエラー、の有無確認
		制御パラメータの確認及び調整
		検出器、操作器、周辺機器を通しての制御作動確認および調整
		中央監視装置との通信状態の確認
		アナログデータの指示値確認及び校正
	デジタル指示調節計	外観・取付状態点検及び清掃
		電源電圧, 制御電圧の確認
		バックアップ機能の点検
		アラーム状態システムエラーの有無確認
		制御パラメータの確認及び調整
		検出器、操作器、周辺機器を通しての制御作動確認および調整
		アナログデータの指示値確認及び校正
	FCU, VAV コントローラ	アラーム状態、システムエラー、の有無確認
		制御パラメータの確認及び調整
		制御作動確認および調整
		中央監視装置との通信状態の確認
項目		点検
空調自動制御機器	温度, 湿度, 圧力, CO2 濃度検出器	外観・取付状態点検及び清掃
		電源電圧、制御電圧の確認
		検出配管、取付部の漏れ、詰まりの確認および調整
		指示値と実測値の確認及び校正
	流量検出器	外観・取付状態点検及び清掃
		電源電圧、制御電圧の確認
		検出配管、取付部の漏れ、詰まりの確認および調整
	熱量演算計	アラーム状態、システムエラー、の有無確認
		パラメータの確認及び調整
		電源電圧、制御電圧の確認
		中央監視装置との通信状態の確認
	電動 2 方弁, バタフライ弁, ボール弁	外観・取付状態点検及び清掃
		電源電圧、制御電圧の確認

		モーターの回転動作・角度の点検及び調整
		ポテンシオメータの点検及び調整
		グラント部、フランジ部からの漏水確認及び締付け調整
		弁リンクの締付け状態確認及び調整
	ダンパ 操作器	外観・取付状態点検及び清掃
		モーターの回転動作・角度の点検及び調整
		各ダンパへの締付け状態確認及び調整
	トランス	外観・取付状態点検及び清掃
		一次・二次電圧の確認および測定
	変換器、フロートスイッチ	外観・取付状態点検及び清掃
		ダミー入力による出力の確認および調整
	補助リレー、タイマー	外観・取付状態の点検及び清掃
		動作確認
		取付けビス・端子ビスの増締め

	点検対象機器・系統	年度		
		R8	R9	R10
①中央監視装置				
1	savic-netFX (データバックアップ 作業は年度内 2 回)	1 回/年	1 回/年	1 回/年
2	savic-netFX BMS (データバックアップ 作業は年度内 2 回)	1 回/年	1 回/年	1 回/年
②空調自動制御機器				
1	熱源廻り制御	1 回/年	1 回/年	1 回/年
2	空調機制御			
	1. OHU-B2F-1 B2F 7F-MRI 系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	2. OHU-B2F-2 B2F 3F-MRI 系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	3. OHU-B1F-1 B1F 融合研究室系統	—	1 回/年	—
	4. OHU-1F-1 1F エントランスホール系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	5. OHU-2F-1 2F BFI 系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	6. OHU-4F-3 4F 実験室 A・B・C 系統	1 回/年	—	1 回/年
	7. OHU-4F-4 4F 実験室(東)系統	1 回/年	—	1 回/年
	8. OHU-3F-1 3F 実験室(西)・融合研究室系統	1 回/年	—	1 回/年
	9. OHU-3F-2 3F 実験室(東)・融合研究室系統	1 回/年	—	1 回/年
10.	OHU-4F-1 4F 実験室 F・G 系統	—	1 回/年	—

	11. OHU-4F-2 4F 手術室系統	—	1 回/年	—
	12. OHU-4F-5 4F 飼育室 A 系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	13. OHU-4F-6 4F 飼育室 B 系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	14. OHU-4F-7 4F P2 飼育室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	15. AHU-B2F-1 B2F MEG 検査室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	16. AHU-B2F-2 B2F MEG 機械室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	17. AHU-3F-1 3F HHS 実験室 J(A 室) 系統	1 回/年	—	1 回/年
	18. AHU-4F-2 4F HHS 実験室 H(窓側) 系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	19. AHU-4F-3 4F HHS 実験室 H(廊下側) 系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	20. AHU-B2F-3 B2F MEG 系統	—	1 回/年	—
	21. AHU-B2F-4-1 B2F 7T-MRI 検査室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	22. AHU-B2F-4-2 B2F 7T-MRI 検査室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	23. AHU-B2F-7-1 B2F 3T-MRI 検査室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	24. AHU-B2F-7-2 B2F 3T-MRI 検査室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	25. AHU-B2F-6 B2F 11, 7T-MRI 検査室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	26. AHU-B2F-5 B2F 7T-MRI 機械室系統	1 回/年	—	1 回/年
	27. AHU-B2F-8 B2F 3T-MRI 機械室系統	1 回/年	—	1 回/年
	28. AHU-1F-1 1F 大会議室系統	1 回/年	—	1 回/年
	29. AHU-4F-1 4F 麻酔動物実験室系統	1 回/年	1 回/年	1 回/年
③	PAC～ファン制御	—	1 回/年	—
④	水槽廻り制御(1)	—	1 回/年	—
⑤	水槽廻り制御(加湿給水)	—	1 回/年	—
⑥	水槽廻り制御(雑用水)	—	1 回/年	—
⑦	膨張タンク廻り	—	1 回/年	—
⑧	特殊排水槽制御	1 回/年	—	1 回/年
⑨	漏水警報監視	—	—	1 回/年
⑩	計測系統	1 回/年	—	1 回/年
⑪	フィルター目詰まり警報監視	—	—	1 回/年

第4章 警備業務

本業務は施設内の保安及び火災、盗難、不法行為の予防及び発見、損害拡大の防止並びに不測の事故に対する応急、臨機の処置、報告及び連絡等を行うことを目的とする。

(1) 対象及び範囲

ア 対象施設

国立研究開発法人情報通信研究機構

脳情報通信融合研究センター（大阪府吹田市山田丘1番4号）

イ 機械警備の範囲

①防犯

②防災（火災・消火系）

③設備異常

(2) 実施要領

入退室監視装置を利用して、下記で定める要領に従って業務を行うこと。

ア 入退室監視システム

a 脳情報通信融合研究センター内システム

(a) 非接触 I C カードリーダ、電気錠、及びこれらを統括管理するセンター装置により構成される。

(b) センター装置は、入退室制御、電気錠制御、防犯監視、火災監視、設備異常監視及びそれらの履歴管理及び制御を行うものである。

(c) 同システムは受注者と共用にするが、機能保持のための定期点検・メンテナンス、定期交換部品（バックアップ用電池他）の交換、修理は、発注者でおこなう。

b 受注者側で用意するシステム要件

(a) 機械警備業務は、有人の監視センターで監視すること。（所在地は不問とする。）

(b) 異常信号等の受信から25分以内に到着することの出来る範囲内に、出動対応するための拠点があること。

(c) 同システムからの防犯信号及び防災設備からの異常信号、各設備機器からの異常信号を受注者の監視センターで受信することが出来るシステムを設置すること。

イ 機械警備業務内容

a 防犯監視業務

(a) 盗難及びその他の不良行為の早期発見及び拡大防止の為の業務とする。

(b) 受注者の監視センターで、異常信号を受信した場合は以下の要領に従うこと。

- ① 遅滞なく緊急要員を現場に急行させ、異常事態の内容の確認を行うこと。
- ② 必要と認めた場合は、遅滞なく定められた順番に従って、指定職員等に連絡が取れるまで、緊急連絡先に電話連絡を取り、状況説明後に現場確認のための出動を要請すること。
- ③ 指定職員等と連絡を取り、指示を受けた場合には、警察機関に通報し、その出動を要請すること。また、自らの判断により、通報した場合は、その旨速やかに指定職員等に事後報告すること。
- ④ 緊急要員は事態の拡大防止のため必要な処置を取ること。

b 防災監視業務

(a) 自動火災報知設備によって感知された火災異常の監視業務並びに火災異常を受信したときにおける連絡・通報業務及び緊急対処の業務とする。

(b) 受注者の監視センターで、異常信号を受信した場合は以下の要領に従うこと。

- ① 遅滞なく緊急要員を現場に急行させ、異常事態の内容の確認を行うこと。
- ② 必要と認めた場合は、遅滞なく定められた順番に従って、指定職員等に連絡が取れるまで、緊急連絡先に電話連絡を取り、状況説明後に現場確認のための出動を要請すること。
- ③ 指定職員等と連絡を取り、指示を受けた場合には、消防機関に通報し、その出動を要請すること。
- ④ 現に火災の発生を確認した場合は②、③に係わらず以下の要領を優先すること。
 - ・ 消防機関への通報を行うこと。
 - ・ 初期消火が可能な場合は消火に務めること。
 - ・ 要救助者が近くにいるときは緊急要員自らの安全が確保できる場合において、人命救助を第一とすること。
- ⑤ 緊急要員は事態の拡大防止のため必要な処置（避難・誘導、緊急車両進入路の確保等）を取ること。

c 設備異常監視（エレベーターを除く）

(a) 受注者は、電気・空調・給排水衛生設備等の各設備（以下「各設備」という）の異常発生を監視するものとする。

(b) 受注者の監視センターで、異常信号を受信した場合、遅滞なく緊急要員を現場に急行させ、設備異常の有無・内容確認を行うとともに、電話にて管理責任者等に連絡を取り、必要に応じて緊急出動を要請すること。また、緊急要員に可能な限り応急処置をとるものとする。

- (c) 受注者は前項の業務遂行に際し、必要と認めたときは遅滞なく定められた順番に従って、指定職員等に連絡が取れるまで、緊急連絡先に電話連絡を取り、状況説明後に現場確認のため出動を要請すること。

ウ 報告事項

受注者は業務実施時間中に、事故等が発生したときは、遅滞なく当該事故等の状況、その他詳細について指定職員に報告書を提出するものとする。

エ その他

- a 受注者は警報機器の正常な機能を維持するため適宜点検を行うものとし、万一作動に異常を認めたときは、遅滞なく指定職員に報告するものとする。

また、それが受注者設置の機器の場合は直ちに補修交換等の処置を講ずるものとする。

- b 天変地異、第三者の責による場合（通信障害等）その他不可抗力により、客観的に考慮して監視継続が困難と判断される場合、その間に生じた一切の損害については、受注者側の責を免ずるものとする。

- c 次の場合に生じた一切の損害については、受注者側の責を免ずるものとする。

(a) 自動火災報知設備の誤作動に起因して連動システムが作動したことにより発生した損害。

(b) その他受注者の責めによらない事項による損害。

- d 受注者の業務遂行のために必要な権限は、当機構が受注者に付与し、かつ、業務に関する運営ならびに指揮の主権限は受注者が有する。

(3) 経費の分担

ア 脳情報通信融合研究センター側で負担するもの

- ・脳情報通信融合研究センター所有の入退室監視システム一式

イ 受注者で負担するもの

- ・監視・自動通報機等の機器費用、入退室管理装置・防災監視盤からの移報信号配線、その他必要な配線等の工事費、定期点検・メンテナンス費、修理・交換費及び回線契約、回線使用等に係る費用。

- ・I T V録画データ保存用のDVDメディア。

第5章 清掃業務

5-1 日常清掃業務

- (1) 業務体制及び従事者について
 - ア 業務日及び業務時間は以下のとおりとする。
業務日：平日（土曜・日曜日、休日及び12月29日～1月3日を除く）
業務実施可能時間帯：7：00～15：00
ただし、特別行事等がある場合は臨機に対応するものとする。
 - イ 作業員については、契約の履行に足る人数を配置すること。業務実施可能時間帯以前より作業を開始する際は予め申し出ること。
 - ウ 業務責任者を定め、下記の要件を満たす者であること。
ビルクリーニング技能士の資格保有者で同等規模（10,000 m²程度）の施設における業務の実務経験が3年以上ある者。また、定期的に点検を行い、作業員に対し指導等行うこと。
 - エ 作業員名簿等を事前に提出し、了承を得た者以外は作業をさせないこと。
作業員の変更があった場合には、その都度名簿を速やかに提出すること。
 - オ 業務責任者が病気その他やむを得ない事情により不在となる場合には、その業務の代行を行うものを予め届け出ておくこと。この場合、業務責任者と同程度の実務経験がある者を届け出る事。
- (2) 清掃管理対象
 - 第1章、施設概要1及び施設概要2であげた建物及び敷地内を対象とする。
詳細は別紙「日常清掃区域・面積及び作業基準表」に基づくものとする。
- (3) 作業における基本事項
 - ア 清掃作業に入るために貸与されたICカード等については必要時のみ使用し、厳重に管理すること。
 - イ 警備警戒中の部屋に入る場合は、警備の解除・セットを確実に行うこと。
 - ウ 作業中は常に火災、盗難、その他事故が発生することのないよう十分注意すること。
 - エ 作業は静粛且つ迅速に行い、来客者や当機構職員その他関係者等の妨げとならないよう、執務室への入室時間を必要最低限になるよう留意すること。
 - オ 清掃用具は使用の都度片付けて、通行人等の事故を未然に防ぎ、また、美観を損ねないように留意すること。
 - カ 来客等からの問い合わせには、親切・丁寧な対応を心がけて、相手に対し不快感を与えないように配慮すること。
 - キ 清掃用具及び材料はすべて作業内容、建築材に適したものを選択すること。
また、使用する洗剤等は環境に配慮して、可能な限り環境ダメージの少ない物を

使用すること。

ク モップ等を使用する場合には、適時交換して清潔な状態を維持できるようにし、洗濯・乾燥・滅菌を施すこと。

ケ 実施にあたっては、必要以外の場所に立ち入り、または、機械器具、書類等に手をふれる等の不必要な行為を行わないこと。

コ 建物・物品等を破損した場合、または、破損しているのを発見したり、不審者や不審な物品を発見したりした場合は、直ちに作業責任者または作業責任者に報告して指示を仰ぐこと。また、指定職員に対する報告を行うこと。

サ 作業終了時は施錠、消灯を確認し、火災及び盗難の発生を防ぐようにすること。

シ 業務が完了したときは、指定職員の検査を受け、不適切な箇所があったときは、その指示に従って手直しすること。

ス 当機構からの支給物品並びに貸与物品については、指定職員の確認のもとで受け渡しを行わなければならないものとする。

セ 清掃区域・清掃頻度等について、各室の使用状況等に変更が生じた時は、協議のうえ対応するものとする。

(4) 清掃業務の範囲等

ア 事務机、什器等（椅子等軽微な移動が可能なものを除く）は、特に指示がない限り移動させずに清掃を行うこと。

イ 次に掲げる部分の清掃は指定職員と協議の上決定する。

(ア) ロッカー、コピー機、その他什器等があり清掃ができない部分

(イ) 機械器具が設置してある部分や運転中の機器付近など清掃が危険な場所

(ウ) 倉庫などの内部

ウ 資材・機材等の保管について

資材・機材及び支給された衛生消耗品等は、指定された保管場所に整理・保管して、数量等の在庫管理を行い、毎月月末に指定職員へ数量報告をすること。

(5) 業務内容

ア 「日常清掃区域・面積及び作業基準表」の頻度に従って、次の要領で実施すること。

イ 注意事項等

(ア) 掃き拭き掃除は、ゴミやほこりが飛散しないよう入念に行うこと。

(イ) 各トイレの清掃は資機材を他の場所のものと分けて使用すること。

(ウ) トイレの清掃は床面だけでなく、洗面台、流し台、鏡を含め、手の届く範囲の高さまで清掃すること。

(エ) 水を使った清掃は床面の水分をよくふき取り、転倒事故等の防止に心掛けること。

(オ) 移動可能なものは移動して作業を行うものとするが、壊れ物等がある場合は移

動させないこと。

- (カ) 日常清掃の業務時間内において、突発的に汚損や水漏れ等が発生した場合は、請負内の業務として即時対応すること。

ウ 作業概要

(ア) 床等の清掃

a 繊維床

作業項目	作業内容
除塵	真空掃除機、粘着シート等で丁寧に吸塵する
シミ抜き	必要に応じてスポットシミ抜きを行う

b 弾性、硬質床

作業項目	作業内容
除塵	
①自在箒またはフロアダスターによる除塵	自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き集めた塵芥は所定場所へ搬出
②真空掃除機による除塵	真空掃除機で丁寧に吸塵
水拭き	汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く
①部分水拭き	
②全面水拭き	床全面をモップで丁寧に拭きあげる
拾い掃き	大きなゴミ・ビニール等を収集し、ほうき等で砂やほこりを除去

c その他

作業項目	作業内容
フロアマット	真空掃除機で吸塵 洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを除去 ※フロアマットは軽量で移動可能なもの
排水口等の清掃	排水口等付近の砂や泥、ゴミ等の堆積物を除去
外回りの清掃	排水溝の簡易な清掃は、状況により実施

(イ) 床以外の清掃

作業対象	作業項目	作業内容
備品・机等	除塵	タオル、ダストクロス等で埃を除去
	拭き	タオルで水拭き

	ガラス	部分拭き	汚れの目立つ部分をタオルで水拭きまたは空拭き
--	-----	------	------------------------

建 具 部 分		全面清掃	ガラス全面に水または専用洗剤を塗り、窓用スクイジーで汚れを除去
	金属部分	除塵	タオル、ダストクロス等で埃を除去
		磨き	専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く
	扉	部分拭き	汚れた部分を水または専用洗剤を用いて拭く
		部分洗浄	固着した部分的汚れを専用洗剤等を用いて洗浄
	窓枠等	除塵	タオル、ダストクロス等で埃を除去
		拭き	タオルで水拭きまたは洗剤拭き
	低所壁面 (手の届く範囲)	部分拭き	汚れた部分を水、専用洗剤を使って拭く
		除塵	はたきまたは静電気除塵具等で除塵する
	流し台	洗浄	中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄
	厨芥容器（三角コーナー含む）	厨芥処理	厨芥を処理し、容器を中性洗剤で洗浄
衛 生 関 係	洗面台	拭き	スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる
	扉及びトイレ仕切	部分拭き	汚れた部分を水または専用洗剤を用いて拭く
		全面洗浄	全面を専用洗剤を用いて洗浄
	鏡	拭き	空拭き仕上げ
	衛生陶器	洗浄	専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる 金属類も拭きあげる
	汚物容器	汚物処理	内容物を処理し、容器を洗浄
	衛生消耗品	補充	トイレットペーパーや石鹸等を補充
シャ ワ ー 室	シャワー室内 壁面及び床面	洗浄	デッキブラシやスポンジ等と中性洗浄剤を使用して洗浄
	鏡	拭き	空拭き
	シャワーヘッド	洗浄	適時シャワーヘッドを洗浄
	排水トラップ	清掃	適時ヘヤキャッチャーのゴミを除去

(ウ) 庭及び外構

作業項目	作業内容
拾い掃き	植栽部分については、大きなゴミ、目立つゴミ等を収集 通路部分についても大きなゴミ、目立つゴミ等を収集 落ち葉・枯れ枝等については吹き溜まりになっているところ

	は、ほうき等で収集する
--	-------------

- (エ) ゴミ容器(自動販売機等は除く)のゴミを収集し、可能な範囲で下記項目ごとに分別すること。

a 集積

作業項目	作業内容
集積所までの運搬	各場所で集めた塵芥・空き缶等を区別して運搬

b 分別

種類	保管・処理方法
生ゴミ等	一般ゴミとして専用置場に保管
ビン、カン、ダンボール、新聞紙等	資源ゴミとして専用置場に保管
廃金属、プラスチック、ガラス等	産業廃棄物として専用置場に保管

(6) その他

ア 業務を完了したときは、作業日報等の完了報告書1部を作業完了後に指定職員に提出すること。

イ 指定職員との連絡・調整等を十分に行ったうえで業務を円滑に実施すること。

ウ 経費の分担

(ア) 当機構で支給するもの

- ・ 作業上必要な電気・水道費
- ・ トイレ手洗い洗剤
- ・ トイレトペーパー及びゴミ袋
- ・ 清掃機材、トイレトペーパー等の支給品置き場

(イ) 受注者で負担するもの

- ・ 作業上必要な清掃機材、資材、消耗品

5-2 窓ガラス清掃業務

1. 作業要領

本仕様書により指定された内容でなくとも、その作業内容と同程度以上の作業効果がある場合は、指定職員の承諾を得て実施するものとする。

(1) 作業時間

清掃は執務時間内に実施すること。これに寄り難い場合は指定職員に了承のうえ実施すること。

(2) 対象範囲

「ガラス清掃平面図」、「ガラス清掃面積表」による。

(3) 清掃作業方法

「2. 作業内容」による。

(4) 使用材料

清掃に使用する材料は、指定職員の検査に合格又は指定されたものを使用し、特に指定のないものについては、品質良好にして床材など清掃対象物に損傷を与えないものを使用すること。

2. 作業内容

- (1) 内外部ガラス・枠の清掃を2回／年（4月／10月）実施する。
- (2) 材質に合わせ専用洗剤を塗布し、表面に付着しているゴミ・汚れを除去る。
- (3) スクイジーで水切りを行う。
- (4) 乾布で拭き仕上げる。

5－3 一般廃棄物処分業務

業務内容

- (1) 1F、ごみ置場に受注者の防臭蓋付の集積用コンテナ等を設置する。
- (2) 回収は、週3日以上とし9：00～15：00の間で行うものとする。

参考：一般廃棄物排出量 123 袋／月（45ℓ 又は 90ℓ 袋使用）

＊2024 年度実績による

6. その他

- (1) 業務を適正に行うための収集運搬及び処分に係る許可、契約等が行われていることを確認できる写しを事前に提出すること。
- (2) 収集運搬に使用する車両について実験装置に影響が懸念されるため大型車は不可とする。

第6章 植栽管理業務

6-1 植栽管理業務

本業務は、施設内に配された植栽全般に関し、雑草除去、樹木の剪定・刈り込み、消毒薬剤散布、施肥等を効果的に行い、維持管理して行くために必要な管理を行うものとする。

(1) 管理の範囲及び対象、施工回数

施設敷地内を範囲とし、下記対象を施工回数に従って管理すること。

対象となる植栽については、別紙「植栽平面図」を参照のこと。

名 称 ・ 仕 様			数 量		施工回数(実施月)
高木剪定	クスノキ アラカシ 他	H=3.1m～ 7.5m	1	式	1回／年 (11月)
中木・低木剪定	ツツジ、サツキ 、アベリア 他	H=～3.0m	1	式	2回／年 (6, 11月)
除草（刈り込み、 引き抜き等）	施設敷地内		1	式	4回／年 (6, 8, 11, 3月)
除草（刈り込み）	E S 棟中庭	56m ²	1	式	1回／年(8月)
消毒・防除作業	植栽エリア		1	式	2回／年(5, 8月)
施肥作業	植栽エリア		1	式	1回／年(1月)

なお、実施月は目安とし、気候、生育等を考慮し指定職員と協議のうえ実施すること。

(2) 業務概要

ア 樹木の手入れ（樹木等の剪定・刈り込み）

イ 除草（刈り込み、引き抜き等による芝生の手入れ、雑草除去）

ウ 消毒・病虫害防除（周辺環境に影響のないよう細心の注意を払うこと
また、実施日の天候にも考慮し実施すること）

エ 施肥（適切な肥料を使用し、1か所に集中施肥しないこと）

(3) その他

ア 業務履行に必要な機器、薬剤、肥料、消耗品等は受注者の負担とする。

イ ゴミ処分については受注者の負担で場外処分を行うこと。

ウ 高所、道路付近における作業の場合は、安全を最優先し、安全確保のための措置を講ずるものとする。

エ 消毒薬剤、肥料の使用にあたっては、関係諸法令で禁止されているものは使用しないこと。また、散布にあたっては、飛散・拡散に注意し、安全に配慮すること。

また、事前に指定職員と協議し、許可を得たものを使用すること。

オ 作業日は駐車場使用規制を伴うことがあるので、指定職員と協議の上で決定すること。

6-2 灌水業務

(1) 作業対象範囲

敷地内全範囲の植栽を対象とする。

B1F（サンクンガーデン）エリアは既設自動灌水設備（地中灌水）によるが、同エリア内芝生部分についてはスプリンクラー（地表散水）等の器具を併用すること。

※散水栓の配置等については「植栽平面図」参照。

(2) 作業日及び作業時間等

ア 作業日

作業日は原則的に次のとおりとするが、作業予定日が雨天の場合あるいは祝休日の場合については前後に変更すること。）

(ア) 5月1日～5月31日及び10月1日～10月31日の期間

週1回（毎週水曜日）

(イ) 6月1日～7月20日の期間

週2回（毎週 月、金曜日）

(ウ) 7月21日～9月30日の期間

週3回（毎週月・水・金曜日）

イ 作業時間及び作業人数

作業時間及び作業人員数は自由設定とするが、あらかじめ指定職員の承認を得ること。

ウ サンクンガーデン灌水業務

サンクンガーデンについては下記スケジュールを基本とするが、日射や温度等の環境条件を考慮して植栽の育成に適切な回数及び時間帯で実施すること。

1) 3月1日～6月30日

上段エリア 地中灌水 3回/週 朝

中段エリア 地中灌水 3回/週 朝

芝生エリア 地中灌水 1回/週 朝

地表散水 2回/週 朝

2) 7月1日～9月30日

上段エリア 地中灌水 7回/週 早朝

中段エリア 地中灌水 7回/週 早朝

芝生エリア 地中灌水 1回/週 早朝

地表散水 3回/週 早朝

3) 10月1日～11月30日

上段エリア 地中灌水 2回/週 朝

中段エリア 地中灌水 2回/週 朝

芝生エリア 地中灌水 2回/週 朝

4) 12月1日～2月28(29)日

上段エリア 地中灌水 1回/週 午後

中段エリア 地中灌水 1回/週 午後

芝生エリア 地中灌水 1回/週 午後

(3) 作業内容

ア 灌水量は樹木の種類、土壌の保水力や天候等を勘案して適切に調整すること。

イ 夏季において炎天下で作業を行う場合、急激な温度変化を与えると植物にダメージを与えることになるので、何度かに分けてゆっくりと水を与える等の配慮をすること。

ウ 水の使用にムダが出ないように、可能な限り植物の根本に近いところで水を撒くこと。

エ 可能な限り樹木を傷めることがないように配慮すること。

オ 作業の方法及び道具・器具（灌水チューブ、スプリンクラー等）については自由とするが、事前に可否を指定職員と協議すること。

(4) その他

ア 作業員には統一した作業服及び所属、氏名の分かる名札を着用させること。

イ 脳情報通信融合研究センターの建物管理上、作業員名簿を予め届け出ておくこと。
変更があれば都度変更届を速やかに指定職員まで提出すること。

ウ 降雨後及び降雨予報の場合の作業中止については、指定職員と協議すること。

エ 天候により臨時に作業を依頼する場合があることを留意しておくこと。

第7章 環境衛生管理業務

本業務は、建築物衛生法に規定される「建築物環境衛生管理基準」に従って行うものである。

7-1 残留塩素濃度測定業務

ア 作業回数

1回／週（毎週月曜日（休日の場合はその翌日）に行うこと。）

イ 作業内容

- (ア) 測定試料とする水は、受水槽から最も近くの給水栓と建物内の末端給水栓で採水するものとし、給水栓から十分放水した後に採水すること。
- (イ) 測定は比色法（D P D法）により行うこと。
 - ・ D P D試薬を加えた試料水に光を当て、濁度による光の吸収度合いから、残留塩素標準比色列と側面から比色して、残留塩素濃度を計測すること。

ウ その他

- (ア) 測定時に異常値が測定された場合、速やかに指定職員に届け出たのち、原因究明を行うこと。
- (イ) 測定の記録は、月1回、まとめて速やかに提出すること。

7-2 貯水槽清掃、検査業務

(1) 貯水槽清掃

ア 対象設備

F R P サンドイッチパネルタンク（2槽式）三菱樹脂(株)製

容量：2.0m×2.0m×2.0m 有効容量 4.5t

イ 清掃回数

1回／年（8月実施）

ウ 作業内容

- (ア) 水槽内の沈殿物質、浮遊物質、壁面等に付着した物質を除去・洗浄すること。
 - ・ 除去は水槽の材質に応じた適切な方法で行うこと。
 - ・ 洗浄後の水は、完全に槽外に排出すること。
- (イ) 内部構造及び機器、付属装置等の点検を行うこと。
 - ・ 槽内の内面のひび割れ、劣化、損傷の状況を点検すること。
 - ・ 防虫網の損傷の有無とボールタップ、満減水警報装置等の機能確認を行うこと。
- (ウ) 消毒は塩素剤を用いて2回以上行うこと。
 - ・ 塩素剤は、有効塩素 50～100ppm の濃度の次亜塩素酸ナトリウム溶液また

は同等以上の消毒能力を有する物を使用すること。

- ・ 消毒した塩素剤は完全に排出すること。
- ・ 消毒終了後は槽内に立ち入らないこと。

(エ) 槽の水張り終了後、末端給水栓及び槽内の水について、残留塩素測定及び色度・濁度・臭気・味についての簡易水質検査を行うこと。

エ その他

(ア) 作業は清掃作業監督者が指導及び監督して行うこと。

清掃作業監督者は、厚生労働大臣指定の貯水槽清掃作業監督者講習会の課程を修了した者または建築物環境衛生管理技術者の免状を有する者があたること。

(イ) 水道法第21条及び水道法施行規則第16条に準じ、作業従事者(監督者を含む。)は、常に健康状態に留意するとともに、おおむね6箇月ごとに、病原体がし尿に排泄される感染症の罹患の有無(又は病原体の保有の有無)に関して、健康診断を受けさせること。また、作業当日に健康状態の不良な者は、作業に従事させないこと。

(ウ) 清掃作業の着手に際しては、講習会修了証(写)または免状(写)及び作業員の健康診断書(写)を提出し、指定職員の事前承認を受けてから着手すること。

(エ) 作業衣・使用器具は貯水槽清掃専用の物を使用して、作業が衛生的に行われるようにすること。

(オ) 貯水槽周りの清掃についても行うこと。

(カ) 作業終了後は、作業完了報告書(清掃前・清掃中・清掃後のカラー写真を添付したものを速やかに提出すること。

(2) 水質検査及び簡易専用水道定期検査

ア 検査回数

(ア) 水質検査 1回/年(6月1日～9月30日の期間中に行うこと)

(イ) 簡易専用水道定期検査 1回/年

イ 検査内容

(ア) 水質検査

a 水の安全性・衛生性を検査により確認するため、水道法等に定められている項目の検査を行うこと。

b 検査方法は、水質基準に関する省令に定める検査方法または上水試験方法(日本水道協会編)あるいは同等以上の精度を有する検査方法によること。

c 検査は以下の28項目を行うこと。

- ①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物(TOC)、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度、⑫鉛及びその化合物、⑬亜鉛及びその化合物、⑭鉄及びその化合物、⑮銅及びその化合物、⑯蒸発残留物、⑰シアン化物イオン及び塩化物イオン

ン、⑮塩素酸、⑯クロロ酢酸、⑰ジクロロ酢酸、⑱臭素酸、㉒トリクロロ酢酸、㉓ホルムアルデヒド、㉔クロロホルム、㉕ジブロモクロロメタン、㉖ブロモジクロロメタン、㉗ブロモホルム、㉘総トリハロメタン

(イ) 簡易専用水道定期検査

- a 水道法の簡易専用水道にかかる規定に基づき、定められた検査機関に申し込み、法定検査を受けるものとする。
- b 検査受検時には立ち会うものとする。

ウ その他

- (ア) それぞれの検査にて、異常を発見したり、異常な測定値が出たりした場合、直ちに指定職員へ届け出ると共に、必要に応じて給水停止等の措置を取ること。また給水系統全般を点検、検査して異常の原因発見に努めること。
- (イ) 検査報告書は速やかに指定職員まで提出すること。

7-3 汚水槽・雑排水槽清掃業務

ア 対象設備

(1) 汚水槽

ピット容量 13.9m³ (有効容量 5.0m³)

汚物用水中ポンプ 65φ×250L/min×24m×7.5kW

(2) 雑排水槽

ピット容量 8.5m³ (有効容量 5.0m³)

雑排水用水中ポンプ 65φ×250L/min×24m×7.5kW

イ 清掃回数

1回/年

ウ 作業内容

- (ア) 作業はビルピット汚泥の飛散や悪臭発生の防止に努めること。
- (イ) 槽内作業を行う場合、作業終了時まで内部の換気を十分に行うこと。
- (ウ) 排水管及び通気管の内部に異物がある場合、洗浄清掃を行うこと。
- (エ) 作業時には、槽内のひび割れ・漏水の有無及び水位電極の清掃についても行うこと。

エ その他

- (ア) ビルピット汚泥の処分については受注者の負担で行うこと。
- (イ) ①雑排水槽、湧水槽②汚水槽のビルピット汚泥については、産業廃棄物として最終処理まで適切に行うこと。汚水槽の29年度実績は合計 0.5m³ 雑排水槽の29年度実績は、0.5m³。処理後は manifests 伝票(複写)を速やかに提出すること。
- (ウ) 作業終了後は、カラー写真(作業前・作業中・作業後)を添付した作業報告書

を速やかに提出すること。

7-4 害虫防除業務

ア 業務場所及び業務回数

防虫施工 2回／年

点検・効果判定 4回／年

害虫防除対象箇所一覧表（屋内）				
階	室 名		床材質	面積
B 2 F	シャワー室	B2B2-2	タイルカーペット	16.12m ²
	仮眠室 1	B2B3-2	タイルカーペット	8.75m ²
	仮眠室 2	B2B3-3	タイルカーペット	8.75m ²
	控え室	B2C4-2	タイルカーペット	17.95m ²
	控え室	B2C4-3	タイルカーペット	17.95m ²
	WC B2 女		ビニール床シート	9.54m ²
	WC B2 男		ビニール床シート	13.08m ²
	EV ホール B2		ビニール床シート	26.48m ²
	ポンプ 機械室		汚水桟・実験排水桟	94.01m ²
	廊下 B2・動物廊下		ビニール床シート	192.16m ²
	階段 1・2		ビニール床シート	62.18m ²
	空調機械室		雑排水桟	71.54m ²
	防虫駆除面積 B 2 F 計			538.51 m ²
B 1 F	給湯室 B1		ビニール床シート	9.62m ²
	WC B1 女		ビニール床シート	13.24m ²
	WC B1 男		ビニール床シート	13.61m ²
	廊下 B1-1、EV ホール B1		ビニール床シート	147.90m ²
	階段 1・2・3		ビニール床シート、PC コンクリート	91.27m ²
	防虫駆除面積 B 1 F 計			275.64 m ²
1 F	パントリー		ビニール床シート	9.24m ²
	ディスカッションルーム	1A2	エチレンポリマー樹脂床材	50.32m ²
	風除室		高耐久床材	20.62m ²
	前室 1-1		タイルカーペット	4.70m ²
	前室 1-2		タイルカーペット	4.82m ²
	前室 1-3		タイルカーペット	4.68m ²
	倉庫 1-1		ビニール床シート	19.90m ²
	倉庫 1-2		ビニール床シート	4.98m ²

	倉庫 1-3		ビニール床シート	5.79m ²
	動物 EV ホール		ビニール床シート	16.43m ²
	WC 1 女		エチレンポリマー樹脂床材	23.34m ²
	多目的トイレ		ビニール床シート	5.08m ²
	WC 1 男		エチレンポリマー樹脂床材	19.32m ²
	廊下 1-1・1-2・1-3・EV ホール 1		高耐久床材	183.14m ²
	階段 1・2・4		ビニール床シート、PC コンクリート	79.45m ²
	ごみ置場		コンクリート	46.16m ²
	防虫駆除面積 1 F 計			497.97m ²
2 F	給湯室 2		ビニール床シート	3.86m ²
	WC 2 男		エチレンポリマー樹脂床材	19.86m ²
	多目的トイレ 2		ビニール床シート	4.97m ²
	WC 2 女		エチレンポリマー樹脂床材	16.79m ²
	廊下 2-1・2-2・EV ホール 2		タイルカーペット	308.79m ²
	階段 1・2		ビニール床シート、PC コンクリート	52.00m ²
	防虫駆除面積 2 F 計			406.27m ²
3 F	シャワー室	3B7-2	タイルカーペット	5.38m ²
	洗髪室	3B7-3	タイルカーペット	5.38m ²
	給湯室		ビニール床シート	6.72m ²
	WC 3 男		エチレンポリマー樹脂床材	19.86m ²
	多目的トイレ		ビニール床シート	4.97m ²
	WC 3 女		エチレンポリマー樹脂床材	16.79m ²
	廊下 3-1・3-2・EV ホール 3		ビニール床シート	285.73m ²
	階段 1・2		ビニール床シート	51.56m ²
	防虫駆除面積 3 F 計			396.39m ²
4 F	WC 4 男		エチレンポリマー樹脂床材	19.86m ²
	多目的トイレ 4		ビニール床シート	4.97m ²
	WC 4 女		エチレンポリマー樹脂床材	16.79m ²
	EV ホール 4		ビニール床シート	27.15m ²
	廊下 4-1・4-2		ビニール床シート	258.59m ²
	階段 1・2		ビニール床シート	41.98m ²
	4F 男子更衣室内シャワー室		タイルカーペット	2.04 m ²
	4F 女子更衣室内シャワー室		タイルカーペット	2.04 m ²
	防虫駆除面積 4 F 計			373.42m ²
5	熱源機械室シンク及び周辺		エチレンポリマー樹脂床材	3.75m ²

F				
	防虫駆除面積 5 F 計			3.75m ²
	Ci-Net 棟 計			2,491.95 m ²
1	WC 男	アネックスC棟	ビニール床シート	6.53 m ²
F	WC 女	アネックスC棟	ビニール床シート	6.53 m ²
	給湯スペース	アネックスC棟	ビニール床シート	3.44 m ²
	防虫駆除面積 1 F 計			16.50 m ²
	アネックス棟計			16.50 m ²
	合計			2,508.45 m ²

害虫防除対象箇所一覧表（建物外）				
	箇所名		路面材質	距離
外周	アネックス棟外周（A・B・C棟）		コンクリート・土壌	167.05m
	防虫駆除距離計			167.05m

害虫駆除作業スケジュール														
記号凡例： ○定期防除施工 ▲点検・効果判定														
作業範囲	作業内容	作業回数	作業スケジュール											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建物内	防除施工	2回		○						○				
	点検・効果判定	4回			▲			▲			▲			▲
建物外	防除施工	2回			○			○						
	点検・効果判定	2回				▲			▲					

イ 防除対象

建物内：ダニ、ゴキブリ、ハエ、カ、チョウバエ、ユスリカ、カメムシ等を想定
建物外周：アリ、ダニ、ゴキブリ、ダンゴムシ、ムカデ等歩行性害虫を想定

ウ 作業内容

(ア) 作業に際しては事前に施工場所について、害虫の発生状況・種類の調査、生息

場所の確認調査等を行い、効果的な防除が出来るように計画すること。

- (イ) 建物内については残留噴霧法・煙霧法・空間噴霧法等施工の方法は問わないものとするが、施工所の床材・状況を勘案し、最も適切な方法で行うこと。ただし、施行方法を問わず4F廊下の動物飼育室前室に接する扉(6か所)にはテープ等で四隅の隙間を塞ぐこと。建物外周については地盤(コンクリート・土壌)の材質を勘案して適切な方法で行うこと。
- (ウ) 使用する薬剤の種類は問わないものとするが、使用実績があり安全かつ効の優れた薬剤で、可能な限り低臭性のものを選定すること(SDS提出のこと)
- (エ) 上記、(ア)(イ)(ウ)が決まり次第、日程、使用薬剤等を資料添付のうえ計画書を提出すること。

エ その他

- (ア) 作業は休日(午後)に行うこととし、指定職員と事前に協議すること。
- (イ) 作業実施後は、作業実施報告書(使用薬剤とその使用場所を明記、また、作業中のカラー写真を貼付すること)を速やかに提出すること。
- (ウ) 施工保証として、施工後2ヶ月以内に害虫の発生を確認した場合には指定職員と協議のうえ、再度施工すること。

7-5 水質測定業務

- (ア) 下表の採取場所より試料の採取を行う。
- (イ) 資料の採取は、脳融合センターが指定する日時に行うものとする。
- (ウ) 下表の水質測定項目表に基づき、次の方法により水質測定を行う。
水質測定項目は、脳融合センターが指定した項目とする。
水質汚濁防止法施行規則第6条の2の規定に基づく環境大臣が定める検定方法、または「下水の水質の検定方法に関する省令(昭和37年厚生省/建設省/令第1号)」、「日本工業規格K0102、0125」及び関係法令に基づいて行う。
- (エ) 受注者は、試料の採取に必要な容器等を受注者の負担において提供するものとする。
- (オ) 受注者は試料採取後、原則として3週間以内に濃度計量証明書を提出するものとする。

水質測定項目	分析方法	数量	単位	採水場所または方法
砒素及びその化合物	J I S K0102 61.2	12	回/年	特殊排水槽
ふっ素及びその化合物	J I S K0102 34.1	12	回/年	〃

ほう素 及びその化合物	J I S K0102 47.2	12	回/年	〃
シアン 化合物	J I S K0102 38.1.2 及び 38.3	12	回/年	〃
1,2-ジクロロエタン	J I S K0125 5.2	12	回/年	〃
鉛及びその化合物	J I S K0102 54.1	12	回/年	〃
亜鉛及びその化合物	J I S K0102 53.1	12	回/年	〃
クロム及びその化合物（六価クロム化合物を除く）	J I S K0102 65.1.2	12	回/年	〃
鉄及びその化合物（溶解性）	J I S K0102 57.2	12	回/年	〃
銅及びその化合物	J I S K0102 52.4	12	回/年	〃
マンガン及びその化合物	J I S K0102 56.2	12	回/年	〃
フェノール及びその化合物	J I S K0102 28.1	12	回/年	〃
水素イオン濃度（pH）	J I S K0102 12.1	12	回/年	〃
水温	J I S K0102 7	12	回/年	〃

7-6 環境測定業務

(1) 作業環境測定

- (ア) 作業環境測定基準に基づく作業環境測定における単位作業場所のデザイン、サンプリング及び分析。
- (イ) 下表により測定を行う。
- (ウ) 測定及び資料の採取は、脳融合センターが指定する日時に行うものとする。
- (エ) 作業環境評価基準に基づく作業環境測定結果の報告。

作業環境測定

部屋名：BMI 研究室 6（3C6）

項	項目	測定場所	数量	単位	備考
1	酢酸鉛（劇物）	測定箇所1 ドラフト内	2	回 / 年	実施月： 8月、2月
2	アセトン（有機2）	測定箇所2 ドラフト内	2	回 / 年	〃
3	エチレンオキサイド （特化物2）	測定箇所3 滅菌装置	2	回 / 年	〃
4	A測定	ドラフト付近又は研究室 作業空間の合計5箇所以上	—	—	
5	B測定	測定対象物使用中とする	—	—	
6	サンプルの捕集及び 分析		—	—	作業環境測定基準別 表第1及び第2に基づき実施

(2) 居室空気環境測定業務

(ア) 下表により測定を行う。

(イ) 測定及び資料の採取は、脳融合センターが指定する日時に行うものとする。

その他

業務に必要な機器、消耗品等は、全て受注者の負担とする。

居室空気環境測定				
項目	測定場所	数量	単位	要領
1 浮遊粉塵の量	操作員室	1	式	6回／年 実施月：5月、7月、9月、 11月、1月、3月 （平日の午前1回、午後1回） 部屋中央部床上から75cm ～150cmの位置で測定する
2 一酸化炭素の含有量	（B2B2-1）31m ² 控室			
3 二酸化炭素の含有量	（B2C4-3）18 m ² 企画室			
4 温度	（B1A2） 41 m ²			
5 相対湿度	脳計測運用室			
6 気流	（B1A4） 41m ² 計測基盤研究室1 （B1A5） 41 m ² 計測基盤研究室2			

	(B 1 A 6)	36m ²			
	管理事務室				
	(1 A 6)	41 m ²			
	副センター長・統括・企画室				
	(1 A 7)	41 m ²			
	正副センター長室				
	(1 A 8)	41 m ²			
	企画室				
	(1 B 8)	41m ²			
	S E 室				
	(1 C 4)	16 m ²			
	H H S 研究室 3				
	(2 A 1)	41m ²			
	H H S 研究室 1 0				
	(2 A 2)	41m ²			
	H H S 研究室 4				
	(2 A 3)	41m ²			
	B M I 研究室 5				
	(2 A 5)	41m			
	B M I 研究室 4				
	(2 A 6 - 1)	20m ²			
	B M I 研究室 5				
	(2 A 6 - 2)	20m ²			
	H H S 研究室 3				
	(2 A 7 - 1)	20m ²			
	B F I 研究室 5				
	(2 A 7 - 2)	20m ²			
	融合研究室				
	(2 B 2)	172m ²			
	B F I 研究室 4				
	(2 B 6)	148m ²			
	B M I 研究室 7				
	(2 C 7)	100m ²			
	BFI 研究室 9				
	(3 A 1)	40m ²			

	BMI 研究室 6 (3 C 6) 53m ² H H S 研究室 2 1 (4 A 6) 77m ² H H S 研究室 1 7 (4 B 8) 64m ²			
--	--	--	--	--

(3) 照度測定

(ア) 労働安全衛生規則第 605 条第 2 項及び事務所衛生基準規則第 10 条第 3 項の規定に基づく各室の照度測定を行う。対象室は「(2) 居室空気環境測定業務」の測定場所と同様とする。

(イ) 測定方法は日本工業規格 (JIS) C 7612 による。

(ウ) 測定は年 2 回 (9 月、3 月) の実施とする。

(エ) 測定終了後、報告書を速やかに作成し提出すること。

その他

業務に必要な機器、消耗品等は、全て受注者の負担とする。

7-7 雨水会所ます清掃業務

ア 清掃回数 (雨水排水平面図参照)

4 回／年 (43 か所)

イ 作業内容

(ア) 作業は汚泥の飛散や悪臭発生防止に努めること。

(イ) 底部に堆積した土砂及び落ち葉等を搬出すること。

(ウ) 搬出した土砂及び落ち葉等は、指定職員から指定された場所に運搬すること。

(エ) 季節により堆積する土砂及び落ち葉等の量が異なるため、上記の清掃回数に関わらず、必要なときは、適宜、清掃を実施すること。(増加分は、別途精算とする)

ウ その他

(ア) 搬出した土砂及び落ち葉等は、飛散及び悪臭発生防止に努めること。

(イ) 作業終了後は、作業完了報告書を速やかに提出すること。

7-8 特殊排水槽 pH 計点検業務

ア 点検回数

(ア) 校正 1 回／月 (指示値に異常があれば、都度実施すること)

(イ) 総合点検 1 回／年

イ 総合点検内容

- (ア) 外観目視点検
- (イ) 本体及び電極保護管、各部点検清掃
- (ウ) 接続端子増し締め
- (エ) 電極、検出部の洗浄、点検
- (オ) 絶縁抵抗測定
- (カ) 校正、被検液による計器指示確認
- (キ) 特性試験（メーカー標準点検基準による）
- (ク) 専用ケーブルの絶縁抵抗測定
- (ケ) 電極交換（１回／年）
- (コ) その他、消耗品交換

ウ その他

- (ア) 交換品は、指定職員の承諾を得て実施するものとする。
- (イ) 点検終了後は、都度校正記録表、点検報告書を速やかに提出すること。
- (ウ) イ(ケ)(コ)であげた電極、消耗品等は請負者で用意すること。

7－9 実験排水採水時の補助業務

ア 採水回数

- (ア) 定期採水 １２回／年
- (イ) 臨時採水（行政立ち入り検査 ４回程度／年）

イ 補助作業内容

- (ア) 排水管内止水、復旧
- (イ) 特殊排水ポンプ等停止、復旧

第8章 特定建築物調査・建築設備検査業務

建築基準法第12条の規定に準じて、安全・防災関係の各建築設備を調査、検査項目に従って検査すること。

(1) 業務対象

- ・ 建築設備検査
- ・ 特定建築物調査
- ・ 防火設備検査

(2) 業務回数

- ・ 建築設備検査 1回／年
- ・ 特定建築物調査 1回／3年（本仕様書の業務期間中、令和7年度実施）
- ・ 防火設備検査 1回／年

(3) 作業内容 調査・検査（以下「検査」という。）

ア 検査者は、予め検査日時・概要を指定職員と打合せ、極力短時間に検査を行うこと。

イ 検査は外観・機能・性能等、関連法令で定められた検査を行うこと。

ウ 検査者は、設計図書・前回検査記録の提出を求め、問題点・検査方法等を確認し、検査の参考にすること。

エ 同一の検査内容に対して、検査数量が多数あるときには、指定職員と協議のうえ主要箇所の抽出による検査を行うことを可とする。

オ 検査は検査資格者（1級建築士、2級建築士、建築設備検査員、特定建築物調査員、防災設備検査員の有資格者のうちいずれかの該当資格を持つ者）が行うこと。

(4) その他

ア 検査終了後は速やかに定められた書式による報告書を作成すること。

ウ 指定職員から指示があった場合は、それぞれの所管する監督官庁または委任された協会等に検査報告を行うこと。

設備機器一覧表

I 電気設備

1 受変電設備

受電方式：3φ3W 6600V受電（常用1系統）

機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
引込盤	引込ケーブル 6kV EM-CET100φ L=150m、VCT	1	面	引込柱 HHx2
受電盤	VCB、DS、LA、PT、CT、51、27	1	面	
高圧き電盤 No. 1	VCBx2、CT、51x2	1	面	
高圧き電盤 No. 2	VCBx2、CT、51x2	1	面	
高圧き電盤 No. 3	VCBx1、CT、51x1、27x1	1	面	
母線連絡盤	VCBx2、VT	1	面	
高圧き電盤 No. 4	VCBx2、CT、51x2	1	面	
高圧SC盤 No. 1	LBS+PF SR SC	1	面	ニチコン(株)
高圧SC盤 No. 2	VMC+PF SR SC	1	面	ニチコン(株)
高圧SC盤 No. 3	VMC+PF SR SC	1	面	ニチコン(株)
一般電灯盤 NO. 1	LBS+PF 1φTr 300kVA 6600/210V/105V モールド 26T、ELR、MCBx12	1	面	ダイヘン電機システム(株)
一般電灯盤 No. 2	LBS+PF 1φTr 300kVA 6600/210V/105V モールド 26T、ELR、MCBx10	1	面	ダイヘン電機システム(株)
一般電灯盤 No. 3	LBS+PF 1φTr 300kVA 6600/210V/105V モールド 26T、ELR、MCBx10	1	面	ダイヘン電機システム(株)
一般動力盤 No. 1	LBS+PF 3φTr 500kVA 6600/210V モールド 26T、ELR、MCBx12	1	面	ダイヘン電機システム(株)
一般動力盤 No. 2	LBS+PF 3φTr 750kVA 6600/440V モールド 26T、ELR、MCBx5	1	面	ダイヘン電機システム(株)
実験用動力盤	LBS+PF 3φTr 200kVA 6600/210V モールド 26T、ELR、MCBx6	1	面	ダイヘン電機システム(株)
MR I 用動力盤①	LBS+PF 3φTr 300kVA 6600/440V モールド 26T、ELR、MCBx4	1	面	ダイヘン電機システム(株)
MR I 用動力盤②	LBS+PF 3φTr 150kVA 6600/210V モールド 26T、ELR、MCBx6	1	面	ダイヘン電機システム(株)
MR I 用電灯盤	LBS+PF 1φTr 100kVA 6600/210/105V モールド 26T、ELR、MCBx6	1	面	ダイヘン電機システム(株)
非常・保安電灯盤（1φ）	LBS+PF 1φTr 200kVA 6600/210/105V モールド 26T、ELR、(1)MCBx10 (2)MCBx8	1	面	ダイヘン電機システム(株)
非常・保安動力盤（3φ）	LBS+PF 3φTr 500kVA 6600/210V モールド 26T、ELR、(1)MCBx13 (2)MCBx9	1	面	ダイヘン電機システム(株)
気中開閉器（PAS）	7.2kV 400A LA/VT内蔵	1	台	戸上電機製作所
接地端子盤	ELA、EA、EB、EC、EDx2	1	面	
分電盤	幹線分岐盤・実験盤及び動力盤・電灯盤	111	面	中立電機

2 非常用発電設備

機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
ガスタービン発電機	3φ3W 6600V 625kVA	1	式	川崎重工業(株)
自動始動盤	VCBx1、64、84、27、59、51、CT	1	式	川崎重工業(株)
小出槽・給油口ボックス	A重油 1950L（少量危険物）・オイルキヤホン 油面指示計、フロートSW	1	式	給油後の配管内の返油、約50L容器に回収
直流電源装置（始動用）	MSE 制御弁式据置鉛蓄電池 300AH、48V、24セル	1	式	古河電池(株)
直流電源装置（制御用）	MSE 制御弁式据置鉛蓄電池 50AH、24V、2セル	1	式	古河電池(株)

3 直流電源設備

機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
整流器	サイリスタ式自動定電圧制御	1	式	GS・ユアサ(株)
蓄電池	MSE 制御弁式据置鉛蓄電池 200AH（10HR） 54セル	1	式	古河電池(株)

4 弱電設備

設備機器一覧表

I 電気設備

機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
中央監視装置 (分離型ビルマネジメントシステム)	CPU：1. 6GB、メモリ：40GB	1	式	アズビル(株)
	HDD：40GB			
	OS：Windows7			
	PC・BMS用液晶ディスプレイ：19インチ			
	カラーレーザープリンター			
	無停電電源装置（小型MSE、10分）			
I T V設備 (防犯監視モニター)	I T V架	1	式	T O A(株)
	ハードディスクレコーダー(容量2TB)			
	19型液晶モニターテレビ			
	16局HDDデジタルレコーダー			
	カメラドライブユニット（9局、4局）	2	台	
	屋外固定カラーカメラ	8	台	
	固定ドーム型カラーカメラ			
防犯設備 (入退室管理)	センター装置（1階管理事務室設置）	1	式	パナソニック電工(株)
	17型液晶ディスプレイ			
	UPS			
	MIU			
	ロッキングプリンタ			
C U	コントロールユニット盤	1	式	
L C	ローカルコントロール盤	5	面	
電気錠	事務室：通電時解錠、共用部：通電時施錠	1	式	
カードリーダー	非接触ICカード用	109	箇所	
屋外用カードリーダー	非接触ICカード用	2	箇所	
屋外用カードリーダー	非接触ICカード用	1	箇所	

機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
情報設備 (LAN設備)	19インチラック	1	式	
	情報用タッチパネル盤 (光・CAT6)	1	式	
	情報コンセント (露出)	125	個	
	情報コンセント (埋込2個口)	61	個	
インターホン設備 (トイレ呼出)	相互式インターホン (親・子機)	1	式	アイホン(株)
	トイレ呼出表示器 表示5窓	1	式	
	廊下表示灯	4	台	
	呼出釦	4	台	
テレビ共聴設備	B S. C S. UHFアンテナ	1	式	D Xアンテナ(株)
	共同受信用CS/BS/UHF・VHFブースター	6	個	
	受口	21	個	
放送設備	非常・業務20局 360W SP 250台	1	式	T O A(株)
会議室A V設備 (映像音響)	ビデオプロジェクター・ガラススクリーン	2	式	T O A(株)
	操作卓、ディスプレイ、機器収納架	1	式	
	会議用マイク・T V設備、ワイヤレスアンテナ他	1	式	
電灯設備	照明器具 (調光型HF灯・外灯)	735	台	パナソニック電工(株)
	照明器具 (LEDダウンライト) 【埋込/直付】	1,290	台	
非常照明設備	照明器具[非常照明・誘導灯]	414	台	三菱電機照明(株)
コンセント設備	コンセント	1,137	台	東芝ライテック(株)
時計設備	※口数			
	1回線壁掛型水晶式親時計	1	式	セイコー(株)
	子時計 (300φ)	7	台	
避雷針設備	避雷突針 (6m自立型 6基)	1	式	N I Pエンジニアリング
	棟上げ導線 (アルミ線)	1	式	
	設置局	9	式	

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
RR-1	空冷ヒートポンプチラー	モジュール連結方式空冷型 22.5kW×8台 冷却能力:848KW、加熱能力:800kW	1	式	東芝キャリア㈱
RR-2	空冷ヒートポンプチラー	モジュール連結方式空冷型 22.5kW×7台 冷却能力:742KW、加熱能力:700kW	1	式	東芝キャリア㈱
RR-3	空冷ヒートポンプチラー	モジュール連結方式空冷型 22.5kW×2台 冷却能力:212KW、加熱能力:200kW	1	式	東芝キャリア㈱
PC-1	冷水 2 次ポンプ	65φ×440L/min×26m×5.5kW	1	式	㈱川本製作所
PC-2	冷水 2 次ポンプ	80φ×1090L/min×26m×7.5kW	3	式	㈱川本製作所
PH-1	温水 2 次ポンプ	65φ×410L/min×26m×5.5kW	1	式	㈱川本製作所
PH-2	温水 2 次ポンプ	80φ×1020L/min×26m×7.5kW	3	式	㈱川本製作所
PCH-1	熱回収ポンプ	40φ×10L/min×20m×1.5kW	1	式	㈱川本製作所
TEC-1	開放式膨張タンク (冷温水)	SUS304 800×800×1100h 鋼製架台1500h	1	式	ホーコス㈱
HEC-1	熱交換器	14KW×40L/min	1	式	㈱日阪製作所
※空気調和機共通事項 コイル：冷却コイル、加熱・再熱兼用コイル フィルタ：プレ(重量法70%以上)＋中性能(比色法65%以上)					
AHU-B2F-1	空気調和機 (B2階 MEG検査室)	冷却30.4kW,加熱3.3kW,再熱26.0kW FAN:5.5kW 加湿量:1.8kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-B2F-2	空気調和機 (B2階 MEG機械室)	冷却18.1kW,加熱4.2kW,再熱16.0kW FAN:3.7kW 加湿量:1.2kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-B2F-3	空気調和機 (B2階 MEG系統)	冷却96.9kW,加熱70.0kW,再熱46.6kW FAN:7.5kW 加湿量:31.8kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-B2F-4	空気調和機 (B2階 7T-MRI検査室)	冷却51.0kW,加熱7.6kW,再熱49.1kW FAN:5.5kW 加湿量:1.5kg/h (電熱蒸気式)	2	式	新晃工業㈱
AHU-B2F-5	空気調和機 (B2階 7T-MRI機械室)	冷却20.8kW,加熱2.6kW,再熱20.0kW FAN:3.7kW	1	式	新晃工業㈱
AHU-B2F-6	空気調和機 (B2階 11.7T-MRI検査室)	冷却23.2kW,加熱3.9kW,再熱22.3kW FAN:3.7kW 加湿量:1.6kg/h (電熱蒸気式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-B2F-7	空気調和機 (B2階 3T-MRI検査室)	冷却19.3kW,加熱4.0kW,再熱17.4kW FAN:3.7kW 加湿量:1.7kg/h (電熱蒸気式)	2	式	新晃工業㈱
AHU-B2F-8	空気調和機 (B2階 3T-MRI機械室)	冷却19.8kW,加熱1.7kW,再熱19.0kW FAN:3.7kW	1	式	新晃工業㈱
AHU-1F-1	空気調和機 (1階 大会議室)	冷却142.8kW,加熱89.6kW,再熱18.3kW FAN:11kW 加湿量:46.9kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-3F-1	空気調和機 (3階 HHS研究室6)	冷却15.3kW,加熱4.9kW,再熱14.0kW FAN:3.7kW 加湿量:2.0kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-4F-1	空気調和機 (4階 HHS研究室14-1)	冷却13.2kW,加熱7.7kW,再熱8.0kW FAN:1.5kW 加湿量:3.5kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-4F-2	空気調和機 (4階 HHS研究室14-4)	冷却11.0kW,加熱6.4kW,再熱6.7kW FAN:1.5kW 加湿量:2.9kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
AHU-4F-3	空気調和機 (4階 HHS研究室14-3)	冷却19.8kW,加熱11.5kW,再熱12.0kW FAN:2.2kW 加湿量:5.2kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-B2F-1	外気調和機 (B2階 7T-MRI系統)	冷却122.0kW,加熱90.2kW,再熱9.6kW FAN:5.5kW 加湿量:44.4kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-B2F-2	外気調和機 (B2階 3T-MRI系統)	冷却39.2kW,加熱29.0kW,再熱3.1kW FAN:2.2kW 加湿量:14.3kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-B1F-1	外気調和機 (B1階 MDF室、EVホール系統)	冷却46.5kW,加熱34.4kW,再熱3.7kW FAN:2.2kW 加湿量:16.9kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-1F-1	外気調和機 (1階 エントランスホール系統)	冷却78.4kW,加熱58.0kW,再熱6.2kW FAN:3.7kW 加湿量:28.5kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-2F-1	外気調和機 (2階 BFI系統)	冷却92.9kW,加熱68.7kW,再熱7.4kW FAN:3.7kW 加湿量:33.8kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-3F-1	外気調和機 (3階 BMI研究室6他系統)	冷却171.3kW,加熱126.7kW,再熱13.5kW FAN:7.5kW 加湿量:62.3kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-3F-2	外気調和機 (3階 HHS研究室5他系統)	冷却159.7kW,加熱118.1kW,再熱12.5kW FAN:7.5kW 加湿量:58.1kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-4F-1	外気調和機 (4階 HHS研究室12他系統)	冷却81.3kW,加熱60.1kW,再熱6.4kW FAN:3.7kW 加湿量:29.6kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-4F-2	外気調和機 (4階 HHS実験準備室3他系統)	冷却78.4kW,加熱58.0kW,再熱6.2kW FAN:3.7kW 加湿量:28.5kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-4F-3	外気調和機 (4階 HHS研究室17他系統)	冷却37.7kW,加熱27.9kW,再熱3.0kW FAN:1.5kW 加湿量:13.7kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱
OHU-4F-4	外気調和機 (4階 HHS研究室15他系統)	冷却82.8kW,加熱61.2kW,再熱6.5kW FAN:3.7kW 加湿量:30.1kg/h (気化式)	1	式	新晃工業㈱

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
0HU-4F-5	外気調和機 (4階 HHS実験準備室5-1他系統)	冷却110.3kW, 加熱81.6kW, 再熱8.7kW FAN:5.5kW 加湿量:40.1kg/h (気化式)	1	式	新晃工業(株)
0HU-4F-6	外気調和機 (4階 HHS実験準備室1-1他系統)	冷却29.0kW, 加熱21.5kW, 再熱2.3kW FAN:2.2kW 加湿量:10.6kg/h (気化式)	1	式	新晃工業(株)
0HU-4F-7	外気調和機 (4階 前室4-4系統)	冷却10.2kW, 加熱7.5kW, 再熱2.3kW FAN:0.75kW 加湿量:3.7kg/h (気化式)	1	式	新晃工業(株)
ACP-B1F1	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (B1階系統)	冷暖切替型 32HP 冷房90.0kW, 暖房100.0kW 圧縮機換算 10kW×2台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F1	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (1階エントランス系統)	冷暖切替型 32HP 冷房90.0kW, 暖房100.0kW 圧縮機換算 10kW×2台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F2	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (1階事務室系統)	冷暖切替型 35HP 冷房112.0kW, 暖房126.0kW 圧縮機換算 12.4kW×2台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (2階PIルーム系統)	冷暖切替型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F2	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (2階研究室系統)	冷暖切替型 25HP 冷房71.0kW, 暖房80.0kW 圧縮機換算 15.7kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F3	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (2階BFI研究室6他系統)	冷暖フリー型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F4	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (2階廊下系統)	冷暖切替型 20HP 冷房56.0kW, 暖房63.0kW 圧縮機換算 12.4kW×2台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F1	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (3階南西系統)	冷暖フリー型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F2	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (3階南東系統)	冷暖フリー型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (3階北西系統)	冷暖フリー型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (3階北東系統)	冷暖フリー型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F5	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (3・4階廊下系統)	冷暖切替型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F1	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (4階北西系統)	冷暖フリー型 20HP 冷房56.0kW, 暖房63.0kW 圧縮機換算 12.4kW×2台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F2	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (4階南西系統)	冷暖フリー型 20HP 冷房56.0kW, 暖房63.0kW 圧縮機換算 12.4kW×2台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3	ガス式ビルマルチパッケージ室外機 (4階東系統)	冷暖フリー型 30HP 冷房85.0kW, 暖房95.0kW 圧縮機換算 18.8kW×1台	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
※マルチパッケージ室内機共通事項 フィルタ:プレフィルタ					
ACP-B1F1-1	マルチパッケージエアコン (セミナールームB1)	天井カセット型 (2方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-B1F1-2	マルチパッケージエアコン (企業等連携研究室1)	天井カセット型 (2方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-B1F1-3	マルチパッケージエアコン (脳計測運用室)	天井カセット型 (2方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-B1F1-4	マルチパッケージエアコン (計測基盤研究室1)	天井カセット型 (2方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-B1F1-5	マルチパッケージエアコン (計測基盤研究室2)	天井カセット型 (2方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-B1F1-6	マルチパッケージエアコン (廊下・E Vホール)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-B1F1-7	マルチパッケージエアコン (廊下・E Vホール)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F1-1	マルチパッケージエアコン (設備員控室)	天井カセット型 (2方向) 1HP 冷房2.8kW, 暖房3.2kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F1-2	マルチパッケージエアコン (女子休養室)	天井カセット型 (2方向) 1.25HP 冷房3.6kW, 暖房4.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F1-3	マルチパッケージエアコン (小会議室)	天井カセット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F1-4	マルチパッケージエアコン (動物EVホール)	天井カセット型 (2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F1-5	マルチパッケージエアコン (エントランスホール)	天井埋込ダクト型2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F1-6	マルチパッケージエアコン (エントランスホール)	天井埋込ダクト型4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
ACP-1F1-7	マルチ型パッケージエアコン (廊下・EVホール)	天井埋込ダクト型1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	3	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F2-1	マルチ型パッケージエアコン (管理事務室)	天井カセット型(2方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F2-2	マルチ型パッケージエアコン (1A7)	天井カセット型(2方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F2-3	マルチ型パッケージエアコン (1A1)	天井カセット型(2方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F2-4	マルチ型パッケージエアコン (企画室・SE室)	天井カセット型(2方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F2-5	マルチ型パッケージエアコン (1A8)	天井カセット型(2方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-1F2-6	マルチ型パッケージエアコン (ディスプレイションルーム)	天井埋込ダクト型3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-1	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室1)	天井カセット型(2方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-2	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室2)	天井カセット型(2方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-3	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室3)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-4	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室10)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-5	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室4)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-6	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室3)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-7	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室4)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-8	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室5)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-9	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室7)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F1-10	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室8)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F2-1	マルチ型パッケージエアコン (融合研究室)	天井カセット型(2方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	6	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F2-2	マルチ型パッケージエアコン (BFI研究室4・BFI研究室5)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F2-3	マルチ型パッケージエアコン (BFI研究室6)	天井カセット型(2方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F3-1	マルチ型パッケージエアコン (BFI研究室2)	天井カセット型(4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	6	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F3-2	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室1・BMI研究室2)	天井カセット型(4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F4-1	マルチ型パッケージエアコン (廊下・EVホール)	天井カセット型(2方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	5	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F4-2	マルチ型パッケージエアコン (廊下・EVホール)	天井埋込ダクト型1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-2F4-3	マルチ型パッケージエアコン (WC男女)	天井埋込ダクト型2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F1-1	マルチ型パッケージエアコン (BFI研究室9)	天井カセット型(4方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F1-2	マルチ型パッケージエアコン (BFI研究室10)	天井カセット型(4方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F1-3	マルチ型パッケージエアコン (BFI研究室11)	天井カセット型(4方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F1-4	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室5)	天井カセット型(4方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F2-1	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室9)	天井カセット型(4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F2-2	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室10)	天井カセット型(4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F2-3	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室11)	天井カセット型(4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
ACP-3F2-4	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室12)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F2-5	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室11)	天井カセット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F2-6	マルチ型パッケージエアコン (BFI研究室12)	天井カセット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-1	マルチ型パッケージエアコン (行動実験室4)	床置ダクト型5HP 冷房14.0kW, 暖房16.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-2	マルチ型パッケージエアコン (行動実験室5)	床置ダクト型5HP 冷房14.0kW, 暖房16.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-3	マルチ型パッケージエアコン (企業等連携研究室2)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-4	マルチ型パッケージエアコン (企業等連携研究室2)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-5	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室7)	天井カセット型 (4方向) 4HP 冷房11.2KW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-6	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室7)	天井カセット型 (4方向) 4HP 冷房11.2KW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-7	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室8)	天井カセット型 (4方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F3-8	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室8)	天井カセット型 (4方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-1	マルチ型パッケージエアコン (行動実験室1)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-2	マルチ型パッケージエアコン (行動実験室2)	天井カセット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-3	マルチ型パッケージエアコン (行動実験室3)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-4	マルチ型パッケージエアコン (BMI研究室5)	天井カセット型 (2方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-5	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室7)	天井カセット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-6	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室8)	天井カセット型 (4方向) 1HP 冷房2.8kW, 暖房3.2kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-7	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室9)	天井カセット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-8	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室9)	天井埋込ダクト型2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F4-9	マルチ型パッケージエアコン (企業等連携研究室3)	天井カセット型 (4方向) 4HP 冷房11.2KW, 暖房12.5kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F5-1	マルチ型パッケージエアコン (前室3-1)	天井カセット型 (2方向) 1HP 冷房2.8kW, 暖房3.2kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F5-2	マルチ型パッケージエアコン (廊下・EVホール)	天井カセット型 (2方向) 1.25HP 冷房3.6kW, 暖房4.0kW	5	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F5-3	マルチ型パッケージエアコン (廊下3)	天井カセット型 (2方向) 1HP 冷房2.8kW, 暖房3.2kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-3F5-4	マルチ型パッケージエアコン (WC男女)	天井埋込ダクト型2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F1-1	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室12)	天井カセット型 (4方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F1-2	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室13)	天井カセット型 (4方向) 2.5HP 冷房7.1kW, 暖房8.0kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F1-3	マルチ型パッケージエアコン (更衣室1) 男	天井カセット型 (2方向) 1HP 冷房2.8kW, 暖房3.2kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F1-4	マルチ型パッケージエアコン (更衣室2) 女	天井カセット型 (2方向) 1HP 冷房2.8kW, 暖房3.2kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F2-1	マルチ型パッケージエアコン (HHS実験準備室3)	天井カセット型 (4方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F2-2	マルチ型パッケージエアコン (HHS実験準備室4)	天井カセット型 (4方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F2-3	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室18)	天井カセット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F2-4	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室19)	天井カセット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
ACP-4F3-1	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室14-2)	天井セット型 (4方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-2	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室15)	天井セット型 (4方向) 1.25HP 冷房3.6kW, 暖房4.0kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-3	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室16)	天井セット型 (4方向) 4HP 冷房11.2kW, 暖房12.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-4	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室17)	天井セット型 (4方向) 3HP 冷房9.0kW, 暖房10.0kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-5	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室20)	天井セット型 (4方向) 2HP 冷房5.6kW, 暖房6.3kW	2	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-6	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室20 個室1)	天井セット型 (2方向) 0.75HP 冷房2.2kW, 暖房2.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-7	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室20 個室2)	天井セット型 (2方向) 0.75HP 冷房2.2kW, 暖房2.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-8	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室20 個室3)	天井セット型 (2方向) 0.75HP 冷房2.2kW, 暖房2.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-9	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室20 個室4)	天井セット型 (2方向) 0.75HP 冷房2.2kW, 暖房2.5kW	1	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
ACP-4F3-10	マルチ型パッケージエアコン (HHS研究室21)	天井セット型 (4方向) 1.5HP 冷房4.5kW, 暖房5.0kW	4	式	ヤンマーエネルギーシステム(株)
PAC-1FS	空冷ヒートポンプパッケージ室外機 (1階サハ-室系統)	空冷冷専型 20HP 冷房56.0kW 空気圧縮機 14.4kW×4台	4	式	ダイキン工業(株)
PAC-1FS-A	パッケージエアコン (1階サハ-室)	床置ダクト (ダウンフロー) 型 20HP 冷房56.0kW	4	式	ダイキン工業(株)
PAC-5FD	空冷ヒートポンプパッケージ室外機 (5階電気室系統)	空冷冷専型 8HP 冷房22.4kW 空気圧縮機 4.6kW×4台	4	式	ダイキン工業(株)
PAC-5FD-A	パッケージエアコン (5階電気室)	床置ダクト型 8HP 冷房22.4kW	4	式	ダイキン工業(株)
FCU-2CK2	ファンコイルユニット 3T-MRI更衣室、3T-MRI動物前室 3T-MRI準備倉庫、EVホール 7T-MRI更衣室、7T-MRI動物前室 動物EVホール、前室B2-1	#200 天井セット型 (2方向) 4管式 冷房1.68KW 暖房1.44KW	8	式	ダイキン工業(株)
FCU-3CK2	ファンコイルユニット 動物廊下、廊下 7T-MRI準備倉庫	#300 天井セット型 (2方向) 4管式 冷房2.48KW 暖房2.0KW	10	式	ダイキン工業(株)
FCU-4CK2	ファンコイルユニット 3T-MRI操作室、組織処理室 工作室	#400 天井セット型 (2方向) 4管式 冷房3.55KW 暖房3.09KW	4	式	ダイキン工業(株)
FCU-6CK2	ファンコイルユニット イメージング解析室、イメージング処理室 7T-MRI操作室、一時保管庫	#600 天井セット型 (2方向) 4管式 冷房4.9KW 暖房4.26KW	9	式	ダイキン工業(株)
FCU-8CK2	ファンコイルユニット イメージング開発室	#800 天井セット型 (2方向) 4管式 冷房6.82KW 暖房5.09KW	2	式	ダイキン工業(株)
RCH-4F-1	コイルユニット (4階実験動物B系統) 5階空調機械室1	天吊型 レヒーターコイル 再熱1.79KW 1,100m3/h	1	式	新晃工業(株)
RCH-4F-2	コイルユニット (4階HHS実験準備室1-2系統) 5階空調機械室1	天吊型 レヒーターコイル 再熱0.6KW 900m3/h	1	式	新晃工業(株)
RCH-4F-3	コイルユニット (4階実験動物A系統) 5階空調機械室1	天吊型 レヒーターコイル 再熱2.27KW 1,400m3/h	4	式	新晃工業(株)
RCH-4F-4	コイルユニット (4階実験動物A前室系統) 5階空調機械室1	天吊型 レヒーターコイル 再熱2.39KW 2,000m3/h	1	式	新晃工業(株)
HEX-RF-1	顕熱交換器 (4階飼育室A系統) 5階屋上	静止型 3,800m3/h 200Pa	2	式	
HEX-RF-2	顕熱交換器 (4階飼育室B系統) 5階屋上	静止型 2,000m3/h 200Pa	1	式	
VAV-B2F-01	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量: 3,100m3/h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-02	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量: 3,000m3/h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-03	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量: 400m3/h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-04	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量: 400m3/h	1	式	協立エアテック(株)

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
VAV-B2F-05	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-06	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-07	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：700m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-08	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：700m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-09	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-10	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-11	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：800m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-12	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：800m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-13	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-14	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-15	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-16	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-17	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：2,400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
VAV-B2F-18	可変風量ユニット (AHU-B2F-3 MEG操作室系統)	必要処理風量：2,400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-01	定風量ユニット (OHU-3F-1 行動実験室4・5系統)	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-02	定風量ユニット (OHU-3F-1 BMI研究室7系統)	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-03	定風量ユニット (OHU-3F-1 BMI研究室8系統)	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-04	定風量ユニット (OHU-3F-1 行動実験室1系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-05	定風量ユニット (OHU-3F-1 行動実験室2系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-06	定風量ユニット (OHU-3F-1 行動実験室3系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-07	定風量ユニット (OHU-3F-1 BMI研究室9系統)	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-08	定風量ユニット (OHU-3F-1 BMI研究室10系統)	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-09	定風量ユニット (OHU-3F-1 行動実験室4系統)	必要処理風量：600m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-10	定風量ユニット (OHU-3F-1 行動実験室4系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-11	定風量ユニット (OHU-3F-1 行動実験室4系統)	必要処理風量：300m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-12	定風量ユニット (OHU-3F-2 BMI研究室6系統)	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-13	定風量ユニット (OHU-3F-2 BMI研究室6系統)	必要処理風量：2,000m ³ /h	2	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-14	定風量ユニット (OHU-3F-2 HHS研究室7-1・7-2系統)	必要処理風量：600m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-15	定風量ユニット (OHU-3F-2 HHS研究室7-1・7-2系統)	必要処理風量：2,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-16	定風量ユニット (OHU-3F-2 HHS研究室8系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-17	定風量ユニット (OHU-3F-2 HHS研究室9系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
CAV-3F-18	定風量ユニット (OHU-3F-2 企業等連携研究室3系統)	必要処理風量：200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
CAV-4F-01	定風量ユニット	必要処理風量：600m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-1 HHS研究室12系統)				
CAV-4F-02	定風量ユニット	必要処理風量：1,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-1 HHS研究室13系統)				
CAV-4F-03	定風量ユニット	必要処理風量：2,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-1 HHS研究室13系統)				
CAV-4F-04	定風量ユニット	必要処理風量：1,100m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-6 実験動物飼育室B系統)				
CAV-4F-05	定風量ユニット	必要処理風量：1,500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(SC-4F-2 実験動物飼育室B系統)				
CAV-4F-06	定風量ユニット	必要処理風量：900m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-6 HHS実験準備室1-2系統)				
CAV-4F-07	定風量ユニット	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(SC-4F-2 HHS実験準備室1-2系統)				
CAV-4F-08	定風量ユニット	必要処理風量：700m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-7 HHS実験準備室2系統)				
CAV-4F-09	定風量ユニット	必要処理風量：700m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(SC-4F-3 HHS実験準備室2系統)				
CAV-4F-10	定風量ユニット	必要処理風量：1,400m ³ /h	4	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-5 動物実験飼育室A系統)				
CAV-4F-11	定風量ユニット	必要処理風量：2,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-5 動物実験飼育室A前室系統)				
CAV-4F-12	定風量ユニット	必要処理風量：1,900m ³ /h	4	式	協立エアテック(株)
	(SC-4F-1 動物実験飼育室A系統)				
CAV-4F-13	定風量ユニット	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-2 HHS実験準備室3系統)				
CAV-4F-14	定風量ユニット	必要処理風量：2,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-2 HHS実験準備室3系統)				
CAV-4F-15	定風量ユニット	必要処理風量：2,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(FE-4F-01 HHS実験準備室3系統)				
CAV-4F-16	定風量ユニット	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-2 HHS実験準備室4系統)				
CAV-4F-17	定風量ユニット	必要処理風量：2,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-2 HHS実験準備室4系統)				
CAV-4F-18	定風量ユニット	必要処理風量：2,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(FE-4F-H01 HHS研究室16系統)				
CAV-4F-19	定風量ユニット	必要処理風量：1,200m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-3 HHS研究室18系統)				
CAV-4F-20	定風量ユニット	必要処理風量：600m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-3 HHS研究室19系統)				
CAV-4F-21	定風量ユニット	必要処理風量：800m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-3 HHS研究室20系統)				
CAV-4F-22	定風量ユニット	必要処理風量：400m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-4 HHS研究室14-2他系統)				
CAV-4F-23	定風量ユニット	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-4 HHS研究室15系統)				
CAV-4F-24	定風量ユニット	必要処理風量：500m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-4 HHS研究室16系統)				
CAV-4F-25	定風量ユニット	必要処理風量：1,000m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-4 HHS研究室17系統)				
CAV-4F-26	定風量ユニット	必要処理風量：1,100m ³ /h	1	式	協立エアテック(株)
	(OHU-4F-4 HHS研究室21系統)				
FU-5F-1	空気清浄装置	処理風量：1,100m ³ /h	1	式	ニッタ(株)
	(FS-5F-2系統)	プレフィルター610×610 2枚			
FU-5F-2	空気清浄装置	処理風量：400m ³ /h	1	式	ニッタ(株)
	(FS-5F-6系統)	プレフィルター305×305 1枚			
FU-5F-3	空気清浄装置	処理風量：7,700m ³ /h	1	式	ニッタ(株)
	(FS-5F-1系統)	プレフィルター610×610 2枚 610×305			
FU-5F-4	空気清浄装置	処理風量：6,000m ³ /h	1	式	ニッタ(株)
	(FS-5F-3、5F-7系統)	プレフィルター610×610 2枚			
FU-5F-5	空気清浄装置	処理風量：4,600m ³ /h	1	式	ニッタ(株)
	(FS-5F-4系統)	プレフィルター610×305 2枚			
FU-5F-6	空気清浄装置	処理風量：700m ³ /h	1	式	ニッタ(株)
	(FS-5F-6系統)				

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
FU-B2F-1	空気清浄装置	処理風量：600m ³ /h	1	式	ニッタ㈱
	(FE-B2F-4系統)	プレフィルター610×305 2枚			
		吸着剤フィルター610×305 2枚			
AHEX-B1F-1	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(B1階 セミナールームB1)	600m ³ /h 150Pa			
AHEX-B1F-2	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(B1階 企業等連携研究室1)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-B1F-3	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(B1階 脳計測運用室)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-B1F-4	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(B1階 計測基盤研究室1)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-B1F-5	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(B1階 計測基盤研究室2)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-1F-1	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(1階 ディスカッションルーム)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-1F-2	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(1階 副センター長室)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-1F-3	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(1階 企画室1・研究戦略室)	450m ³ /h 150Pa			
AHEX-1F-4	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(1階 企画室2・企画室3)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-1F-5	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(1階 管理事務室)	300m ³ /h 150Pa			
AHEX-1F-6	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(1階 センター長室)	300m ³ /h 150Pa			
AHEX-1F-7	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(1階 サーバルーム)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-1	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 HHS研究室1)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-2	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 HHS研究室2)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-3	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(2階 HHS研究室3)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-4	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(2階 HHS研究室10)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-5	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(2階 HHS研究室4)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-6	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BMI研究室3)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-7	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BMI研究室4)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-8	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BMI研究室5)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-9	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BFI研究室7)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-10	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BFI研究室8)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-11	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	4	式	ダイキン工業㈱
	(2階 融合研究室)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-12	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	2	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BFI研究室4・BFI研究室5)	400m ³ /h 150Pa			
AHEX-2F-13	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BFI研究室6)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-3F-1	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BFI研究室9)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-3F-2	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BFI研究室10)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-3F-3	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 BFI研究室11)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-3F-4	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 HHS研究室5)	200m ³ /h 150Pa			
AHEX-3F-5	全熱交換器	天井埋込ダクト型 静止形	1	式	ダイキン工業㈱
	(2階 HHS研究室11)	200m ³ /h 150Pa			

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
AHEX-3F-6	全熱交換器 (2階 BFI研究室12)	天井埋込ダクト型 静止形 200m ³ /h 150Pa	1	式	ダイキン工業(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (B1階 セミナール4B1)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (B1階 企業等融合研究室1)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (B1階 脳計測運用室)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (B1階 計測基盤研究室1)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (B1階 計測基盤研究室2)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (1階 副センター長室)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	2	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (1階 企画室1・研究戦略室)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	2	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (1階 企画室2・企画室3)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	2	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (1階 管理事務室)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (1階 センター長室)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 HHS研究室1)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 HHS研究室2)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 HHS研究室3)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 HHS研究室20)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 HHS研究室4)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 BMI研究室3)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 BMI研究室4)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 BMI研究室5)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 BFI研究室7)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 BFI研究室8)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 融合研究室)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	3	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 BFI研究室4・BFI研究室5)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	2	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (2階 BFI研究室6)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (3階 BFI研究室9)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (3階 BFI研究室10)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (3階 BFI研究室11)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (3階 HHS研究室5)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (3階 HHS研究室11)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
HU-1	滴下浸透気化式加湿器 (3階 BFI研究室12)	天井カセット型 520m ³ /h 2.0kg/h	1	式	ウエットマスター(株)
FS-2F-1	給気ファン (2階融合全熱交換器ブースターファン)	消音ボックス付シロッコファン 1600m ³ /h×170Pa 3φ-200V478.0W	1	式	パナソニックエコシステムズ(株)
FS-2F-2	給気ファン (2階BFI研究室4・5全熱交換器ブースターファン)	消音ボックス付シロッコファン 800m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W	1	式	パナソニックエコシステムズ(株)

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
FS-5F-1	給気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(5階空調機械室1)	7700m ³ /h×170Pa 3φ-200V2.2kW			
FS-5F-2	給気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(5階熱源機械室)	5500m ³ /h×170Pa 3φ-200V1.5kW			
FS-5F-3	給気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(5階空調機械室2)	5200m ³ /h×170Pa 3φ-200V1.5kW			
FS-5F-4	給気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(5階電気室)	4600m ³ /h×170Pa 3φ-200V1440W			
FS-5F-5	給気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(5階倉庫)	700m ³ /h×120Pa 3φ-200V133W			
FS-5F-6	給気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(5階EVホール・廊下)	400m ³ /h×120Pa 3φ-200V175.0W			
FS-5F-7	給気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(5階蓄電池室)	800m ³ /h×140Pa 3φ-200V175.0W			
FE-B2F-MEG1	排気ファン	片吸込シロッコファン(天吊)	1	式	テラル(株)
	(B2階MEG検査室緊急排気)	2000m ³ /h×270Pa 3φ-200V0.75kW			
FE-B2F-MEG2	排気ファン	片吸込シロッコファン(天吊)	1	式	テラル(株)
	(B2階MEG検査室緊急排気)	1000m ³ /h×270Pa 3φ-200V0.4kW			
FE-B2F-1	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階シャワー室)	500m ³ /h×230Pa 3φ-200V395.0W			
FE-B2F-2	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階倉庫)	200m ³ /h×230Pa 3φ-200V175.0W			
FE-B2F-3	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階WC男女)	1100m ³ /h×210Pa 3φ-200V285.0W			
FE-B2F-4	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階イメージング処理室)	600m ³ /h×230Pa 3φ-200V175.0W			
FE-B2F-5	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階ポンプ機械室)	1500m ³ /h×190Pa 3φ-200V478.0W			
FE-B2F-6	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階消火ポンプ室)	1900m ³ /h×250Pa 3φ-200V738.0W			
FE-B2F-7	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階7T-MRI系統)	4000m ³ /h×270Pa 3φ-200V1400.0W			
FE-B2F-8	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階3T-MRI系統)	2700m ³ /h×300Pa 3φ-200V1270.0W			
FE-B2F-9	排気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(B2階MEG系統)	8900m ³ /h×620Pa 3φ-200V3.7kW			
FE-B2F-10	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階MEG検査室)	300m ³ /h×170Pa 3φ-200V175.0W			
FE-B2F-11	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B2階MEG機械室)	200m ³ /h×170Pa 3φ-200V175.0W			
FE-B2F-MRI1	排気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(B2階7T-MRI緊急排気)	12800m ³ /h×210Pa 3φ-200V3.7kW			
FE-B2F-MRI2	排気ファン	片吸込シロッコファン(天吊)	1	式	テラル(株)
	(B2階11.7T-MRI緊急排気)	1700m ³ /h×270Pa 3φ-200V0.75kW			
FE-B2F-MRI3	排気ファン	片吸込シロッコファン(天吊)	1	式	テラル(株)
	(B2階3T-MRI緊急排気)	2700m ³ /h×270Pa 3φ-200V0.75kW			
FE-B1F-1	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B1階倉庫)	1600m ³ /h×190Pa 3φ-200V478.0W			
FE-B1F-2	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B1階給湯室)	300m ³ /h×140Pa 3φ-200V175.0W			
FE-B1F-3	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B1階MDF室)	200m ³ /h×170Pa 3φ-200V175.0W			
FE-B1F-4	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(B1階WC男女)	1100m ³ /h×210Pa 3φ-200V285.0W			
FE-1F-1	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(1階倉庫1-3)	400m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W			
FE-1F-2	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(1階動物EVホール)	400m ³ /h×120Pa 3φ-200V175.0W			
FE-1F-3	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(1階WC男女)	2600m ³ /h×150Pa 3φ-200V1270.0W			
FE-1F-4	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(1階倉庫1-1)	800m ³ /h×120Pa 3φ-200V175.0W			
FE-1F-5	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
	(1階小会議室)	400m ³ /h×120Pa 3φ-200V175.0W			

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
FE-1F-6	排気ファン (1階ごみ置き場)	消音ボックス付シロッコファン 2400m ³ /h×120Pa 3φ-200V738.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-1F-7	排気ファン (1階倉庫3)	消音ボックス付シロッコファン 400m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-1-8	排気ファン (1階大会議室)	片吸込シロッコファン(床置) 5700m ³ /h×170Pa 3φ-200V1.5kW	1	式	テラル(株)
CF-1F-1	排気ファン (1階設備員控室)	天井扇 100m ³ /h×70Pa 1φ-100V16.5W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
CF-1F-2	排気ファン (1階給湯コーナー)	天井扇 100m ³ /h×70Pa 1φ-100V16.5W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
CF-1F-3	排気ファン (1階女子休養室)	天井扇 200m ³ /h×70Pa 1φ-100V	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-2F-1	排気ファン (2階融合研究室全熱交換器ブースターファン)	消音ボックス付シロッコファン 1600m ³ /h×170Pa 3φ-200V478.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-2F-2	排気ファン (2階BFI研究室4・5全熱交換器ブースターファン)	消音ボックス付シロッコファン 800m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-2F-3	排気ファン (2階BMI研究室1・BMI研究室2)	消音ボックス付シロッコファン 2100m ³ /h×190Pa 3φ-200V738.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-2F-4	排気ファン (2階WC男女)	消音ボックス付シロッコファン 2000m ³ /h×120Pa 3φ-200V738.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-2F-5	排気ファン (2階BFI研究室2)	消音ボックス付シロッコファン 2700m ³ /h×150Pa 3φ-200V1270.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-1	排気ファン (3階企業等連携研究室2他)	消音ボックス付シロッコファン 1800m ³ /h×190Pa 3φ-200V478.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-2	排気ファン (3階行動実験室4・5)	消音ボックス付シロッコファン 500m ³ /h×120Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-4	排気ファン (3階BMI研究室9他)	消音ボックス付シロッコファン 2100m ³ /h×190Pa 3φ-200V738.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-5	排気ファン (3階BMI研究室6・HHS研究室6・7)	消音ボックス付シロッコファン 1700m ³ /h×170Pa 3φ-200V478.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-6	排気ファン (3階HHS研究室9他)	消音ボックス付シロッコファン 600m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-7	排気ファン (3階シャワー室他)	消音ボックス付シロッコファン 700m ³ /h×150Pa 3φ-200V395.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-8	排気ファン (3階WC男女)	消音ボックス付シロッコファン 2000m ³ /h×120Pa 3φ-200V738.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-3F-DC1	排気ファン (3階BMI研究室6トラフトチャンバー)	消音ボックス付シロッコファン 2000m ³ /h×150Pa 3φ-200V0.75KW	1	式	協和化工(株)
FE-3F-DC2	排気ファン (3階BMI研究室6・HHS研究室6トラフトチャンバー)	消音ボックス付シロッコファン 2000m ³ /h×150Pa 3φ-200V0.75KW	1	式	協和化工(株)
FE-4F-1	排気ファン (4階HHS研究室12他)	消音ボックス付シロッコファン 2000m ³ /h×190Pa 3φ-200V738.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-4F-2	排気ファン (4階更衣室)	消音ボックス付シロッコファン 400m ³ /h×120Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-4F-3	排気ファン (4階HHS実験準備室3他)	消音ボックス付シロッコファン 1400m ³ /h×150Pa 3φ-200V342.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-4F-4	排気ファン (4階HHS研究室18他)	片吸込シロッコファン(床置) 2600m ³ /h×150Pa 3φ-200V0.4kW	1	式	テラル(株)
FE-4F-5	排気ファン (4階HHS研究室17・21他)	片吸込シロッコファン(床置) 3300m ³ /h×190Pa 3φ-200V0.75kW	1	式	テラル(株)
FE-4F-6	排気ファン (4階WC男女)	消音ボックス付シロッコファン 2000m ³ /h×120Pa 3φ-200V738.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-4F-7	排気ファン (4階HHS研究室14-2他)	消音ボックス付シロッコファン 400m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-4F-9	排気ファン (4階HHS実験室 廊下側)	消音ボックス付シロッコファン 400m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-4F-10	排気ファン (4階HHS実験室 窓側)	消音ボックス付シロッコファン 400m ³ /h×150Pa 3φ-200V175.0W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)
FE-4F-DC1	排気ファン (4階HHS研究室13トラフトチャンバー)	消音ボックス付シロッコファン 2000m ³ /h×150Pa 3φ-200V0.75KW	1	式	協和化工(株)
FE-4F-H01	排気ファン (4階HHS実験準備室3フト)	消音ボックス付シロッコファン 4000m ³ /h×150Pa 3φ-200V0.75KW	1	式	協和化工(株)
FE-4F-SC1	排気ファン (4階HHS研究室14-1安全キャビネット)	消音ボックス付シロッコファン 500m ³ /h×150Pa 3φ-200V87W	1	式	ハナソニックエコシステムズ(株)

設備機器一覧表

Ⅱ 空調設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
FE-5F-1	排気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(5階空調機械室1)	7700m ³ /h×170Pa 3φ-200V2.2kW			
FE-5F-2	排気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(5階熱源機械室)	5500m ³ /h×170Pa 3φ-200V1.5kW			
FE-5F-3	排気ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(5階空調機械室2)	5200m ³ /h×170Pa 3φ-200V1.5kW			
FE-5F-4	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナニックエコシステムズ(株)
	(5階電気室)	4600m ³ /h×170Pa 3φ-200V1440W			
FE-5F-5	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナニックエコシステムズ(株)
	(5階倉庫)	700m ³ /h×120Pa 3φ-200V133W			
FE-5F-6	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナニックエコシステムズ(株)
	(5階EVホール・廊下)	400m ³ /h×120Pa 3φ-200V175.0W			
FE-5F-7	排気ファン	消音ボックス付シロッコファン	1	式	ハナニックエコシステムズ(株)
	(5階蓄電池室)	800m ³ /h×160Pa 3φ-200V220W			
FSM-1	排煙ファン	片吸込シロッコファン (床置)	1	式	テラル(株)
	(排煙機 居室用)	18000m ³ /h×400Pa 3φ-200V7.5kW			
SC-3F-1	乾式排ガス処理装置 (3階BMI研究室6)	処理風量：2000m ³ /h×650Pa×0.75Kw	1	式	ニッタ(株)
		プレフィルター610×610 1枚			
		吸着剤フィルター610×610 1枚			
		アフターフィルター610×610 1枚			
SC-4F-1	スクラバー	処理風量：3800m ³ /h×1400Pa×3.7Kw	2	式	(株)イナリサーチ
	(4階実験動物飼育室)				
SC-4F-2	スクラバー	処理風量：2000m ³ /h×1400Pa×1.5Kw	1	式	(株)イナリサーチ
	(4階HHS実験準備室1-1・1-2)				
SC-4F-3	スクラバー	処理風量：700m ³ /h×1400Pa×1.5Kw	1	式	(株)イナリサーチ
	(4階HHS実験準備室2)				

設備機器一覧表

Ⅲ給排水設備

記号	機 器 名	仕 様	数量	単位	備考
TW-1	貯水槽 (上水系統)	FRP サト・イチハ・ネルタン 容量: 2.0×2.0×2.0 有効容量 4.5t	1	式	三菱樹脂(株)
PWU-J1	加圧給水ポンプユニット (上水系統)	80φ×400L/min×77m×5.5kW×3台	1	式	(株)川本製作所
KT-1	高架水槽 (加湿系統)	FRP サト・イチハ・ネルタン 容量: 1.0×1.0×1.5 有効容量 1.0t	1	式	三菱樹脂(株)
PWU-Z1	加圧給水ポンプユニット (雑用水系統)	80φ×400L/min×70m×5.5kW×2台 容量 37.5m ³ (有効容量 27.3m ³)	1	式	(株)川本製作所
Y-1	薬注装置 (井水 空冷チラー散水系統)	38mL/min×1.0Mpa	1	式	アクアス(株)
GHWU-1	瞬間式給湯器 (50号6台連結設置型)	前後設置 自立ユニット 排熱回収型 加熱能力:523KW (50号×6台)	1	式	リンナイ(株)
PHW-1	給湯循環ポンプ	32φ×30L/min×20m×0.75kW	2	台	(株)川本製作所
TE-1	給湯用密閉式膨張タンク	容量: 43L 最大受水量28L	1	台	ホーコス(株)
EHW-1	電気温水器	貯湯式 先止め式台下設置型 貯湯量: 20L	3	台	TOTO(株)
EHW-2	電気温水器	貯湯式 先止め式台下設置型 貯湯量: 35L	1	台	TOTO(株)
PD-D1	排水ポンプ (汚水)	汚物用水中ポンプ 65φ×250L/min×24m×7.5kW ピット容量 13.9m ³ (有効容量 5.0m ³)	2	台	(株)川本製作所
PD-K1	排水ポンプ (実験排水)	ステンレス製水中ポンプ 65φ×150L/min×20m×5.5kW ピット容量 15.4m ³ (有効容量 2.0m ³)	2	台	(株)川本製作所
PD-K2	排水ポンプ (特殊排水)	ステンレス製水中ポンプ 50φ×150L/min×8m×1.5kW ピット容量 25.0m ³ (有効容量 2.0m ³)	2	台	(株)川本製作所
	pH計	HBM-100A 投込み式	1	台	東亜デイクー(株)
PD-D2	排水ポンプ (雑排水槽)	雑排水用水中ポンプ 65φ×250L/min×24m×7.5kW ピット容量 8.5m ³ (有効容量 5.0m ³)	2	台	(株)川本製作所
BK-1	汚物処理用水中ばっき装置	分割型ユニット 45m3/h×2.5m×1.5kW	1	台	(株)荏原製作所
PD-U1	排水ポンプ (湧水)	雑排水用水中ポンプ 50φ×100L/min×24m×2.2kW	2台× 2箇所	—	(株)川本製作所
PD-U2	排水ポンプ (湧水)	雑排水用水中ポンプ 50φ×100L/min×24m×2.2kW 湧水槽面積 1,985.6m ² ポンピット容量 1.0m ³ ×4箇所	2台× 2箇所	—	
PD-R1	排水ポンプ (雨水)	雑排水用水中ポンプ 50φ×100L/min×21m×1.5kW	2	台	(株)川本製作所
PD-R2	排水ポンプ (雨水)	雑排水用水中ポンプ 65φ×450L/min×21m×3.7kW	6	台	
PD-R3	排水ポンプ (緊急雨水)	雑排水用水中ポンプ 80φ×300L/min×21mAq×3.7kW ピット容量 145.0m ³	8	台	
	衛生器具	洗面器	27	台	TOTO(株)
		大便器 (フラッシュ弁式)	28	台	
		多目的トイレユニット	4	台	
		小便器 (自動洗浄式)	14	台	
	医療・特殊ガス用機器	中圧コンプレッサ	2	台	エア・ウォーター防災(株)
		中圧空気槽	1	台	エア・ウォーター防災(株)
		アフタークーラ付エアドライヤ	2	台	エア・ウォーター防災(株)
		その他 医療・特殊ガス設備・機器一式	1	式	エア・ウォーター防災(株)

設備機器一覧表

IV消防設備

機 器 名	仕 様	数量	単位	メーカー	設置場所	
自動火災報知・防災設備						
複合受信機	複合GR型 壁掛型 蓄積式	1	式	能美防災(株)	1階 管理事務室	
〃	アドレス数：255アドレス					
〃	中継器盤点数（回路）：85L					
総合盤（2号消火栓組込型）	発信機・表示灯・ベル・リミットスイッチ収容	21	台			
熱アナログ式スポット型感知器	熱	37	台			
光電アナログ式	煙	338	台			
防火戸		3	台	文化シャッター(株)		
防火シャッター		4	台	文化シャッター(株)		
警報ブザー	防火シャッター降下時鳴動用	4	台			
防煙垂れ壁		4	台			
排煙口開放装置		5	台			
排煙ファン制御盤		1	台			
排煙ファン （排煙機 居室用）	片吸込シロッコファン（床置） 18000m ³ /h×400Pa 3φ-200V7.5kW	1	台	テラル(株)	5階(FSM-1)	
非常用放送設備						
増幅器ユニット	360W	1	式	TOA	1階 管理事務室	
非常操作ユニット	20局	1	式			
非常電源ユニット		1	式			
スピーカー		270	台			
非常用発電設備						
非常用発電機	3φ3W 6600V 625KVA	1	式	川崎重工業	屋上	
誘導灯設備						
避難口誘導灯		35	台	東芝ライテック(株)		
室内通路誘導灯		73	台	東芝ライテック(株)		
誘導灯標識		2				
消火設備・消火器具						
消火器	ABC10型	57	台		B2F 8台は非磁性	
	ABC50型	1	台			
	水（浸潤剤等入り）3L	2	台		サーバー室	
自動火災報知・防災設備						
排煙口開放装置		5	台	協立エアテック(株)		
スプリンクラー設備						
湿式スプリンクラー ポンプ：FP-1	100φ×65φ×720L/min×84m×18.5kW 呼水槽：50L 圧力タンク：50L	1	台	(株)川本製作所	地下2階	
送水口	双口型	1	台	(株)横井製作所		
補給水槽	FRP製 1m ³	1	台	ホーコス(株)	屋上	
屋内消火栓設備						
屋内消火栓ポンプ：FP-2	50φ×40φ×300L/min×84m×7.5kW 呼水槽：50L	1	式	(株)川本製作所	地下2階	
屋内消火栓箱(1号 易操作型)	2号消火栓	21	台	(株)横井製作所		
補給水槽	FRP製 1m ³	1	台	ホーコス(株)	屋上	
消火水槽	地下RC製 27m ³	1	台		ピット	
防火水槽	地下RC製 40m ³	1	台			
連結送水管設備						
送水口	双口型	1	台	(株)横井製作所		
放水口	表示灯収容	3	台			
自動ドア						
風除室（外側）	W3200×H3200 火報発報で開	1	台	ナブコドア(株)	1階	
風除室（打側）	W3200×H3200 火報発報で開	1	台			
ゲート自動式門扉						
メインゲート	W8400×H1200 4重片引き自動門扉	1	台	ナブコドア(株)		
サブゲート	W7370×H1200 4重片引き自動門扉	1	台			

点 検 基 準 表

設備	機器名称	種別	内 容	作業・点検周期					備 考
				日	週	月	年	都度	
受変電設備等	母線	点検	母線のたるみ、腐食、損傷、過熱の有無及び過熱の有無、母線相互間・母線・他設備			1			
		点検	碍子類、支持物の汚れ、亀裂、破裂、錆、腐食等の有無			1			
	外観（配電盤等）	点検	配電盤の汚れ、損傷、錆、変色等の有無	1					異常な変色は調査
		点検	扉開閉の良否、雨水・塵埃等の侵入状態確認			1			
	盤類内部（配電盤等）	点検	配線、接地線、端子部の損傷、過熱・断線の有無			1			過熱は原因調査
		点検	母線支持部、接続部の損傷、偏食、変形の有無			1			
		点検	換気扇の異常音、損傷等の有無	1					フィルタの清掃
	変圧器	点検	汚れ、塗装剥離、錆の有無			1			
		点検	異音、異臭、異常振動の有無、温度計指示値の確認	1					
		点検	端子部及び碍管の汚れ、損傷、緩み及び過熱変色の有無			1			
		点検	温度計の指針設定値及び指示値の良否	1					
		点検	冷却ファンの異常音、損傷等の有無	1					モールド変圧器
	遮断器	点検	損傷、腐食、過熱、錆、変形等の異常の有無			1			過熱は調査のこと
		点検	異音、異臭、漏油等の有無、開閉表示及び作動回数の確認	1					
		点検	接地線の損傷、断線、変色の有無			1			変色は調査のこと
	負荷開閉器	点検	本体及び操作機構の損傷、変形、亀裂等の有無			1			
		点検	異音、異臭、漏油等の有無、開閉表示及び作動回数の確認	1					
		点検	通電部の焼損、溶着、損傷、汚れの有無			1			
		点検	接地線の損傷、断線、変色の有無			1			変色は調査のこと
	断路器	点検	本体及び操作機構の損傷、変形、亀裂等の有無			1			
		点検	碍子の汚損、亀裂、ボルトの脱落等の有無			1			
		点検	通電部の焼損、溶着、損傷、汚れの有無			1			
	計器用変成器	点検	異音、異臭等の有無。汚れ、亀裂、変形及び変色の有無			1			
		点検	操作、切替スイッチ等の状態。計器指示値の適否。継電器の動作表示及び表示灯類の点灯状態	1					
		点検	汚れ、亀裂、変形及び変色の有無			1			
	避雷器	点検	碍管の汚れ、損傷、亀裂、変色等の異常の有無			1			
	カットアウトスイッチ、電力ヒューズ	点検	碍管の汚れ、損傷、錆、変色等の異常の有無			1			
	電力用進相コンデンサ	点検	端子部及び碍管の汚れ、損傷、緩み、過熱変色の有無			1			
		点検	錆、漏油、塗装の剥離の有無			1			
		測定	ケースの膨れ			1			異常な場合は原因調査
	直列リアクトル、放電コイル	点検	端子部及び碍管の汚れ、損傷、緩み、過熱変色の有無。異音、異常振動の有無			1			
		点検	錆、漏油、塗装の剥離の有無			1			
	動力盤、電灯盤	点検	遮断器類、電磁開閉器の過熱・異音・異臭、端子の緩み、配線の焼損	1					
非常用発電機設備	発電装置	点検	機器等の変形、損傷、脱落等の有無		1				
		点検	燃料油、潤滑油の漏れ及び冷却水の漏れ		1				
		点検	接地線、その他配線の緩み、損傷、断線の有無		1				
	配電盤類	点検	各計器指示値の適否確認		1				
		点検	保護継電器の動作表示確認				1		動作の場合は原因調査
		点検	遮断器、切替用開閉器等の状態確認			1			
		点検	表示灯類の点灯確認		1				球切れの場合交換
		試験	警報作動を試験用ボタンで確認			1			

点 検 基 準 表

設備	機器名称	種別	内 容	作業・点検周期					備 考
				日	週	月	年	都度	
非常用発電機設備	始動用蓄電池設備	点検	各計器指示値の適否確認			1			
		点検	表示灯類の点灯確認			1			球切れの場合交換
		試験	警報作動を試験用ボタンで確認			1			
		点検	汚れ、損傷、過熱、変形、異音、異臭、腐食等の有無			1			
		点検	充電中の総電圧、充電電流の適否確認			1			
		点検	蓄電池の損傷、液漏れ、汚損の有無			1			
		点検	端子の緩み等の確認			1			
	燃料タンク・移送ポンプ	点検	タンク、ポンプ、配管の油漏れ、変形、損傷の有無			1			
		点検	油量の確認（必要運転時間分）			1			
	換気装置	点検	換気口の状況、機械換気装置の運転状態確認			1			
		点検	給・排気ファンの連動運転状態の確認			1			
	排気管、消音器	点検	過熱部周囲に可燃物が置かれていないことの確認		1				
		点検	支持金具の緩み、変形、損傷、変色の有無		1				
	各種バルブ	点検	開閉状態の確認（正常位置）		1				
	試運転	運転	無負荷運転状態の確認、計器指示値の確認			1			
		点検	回転数、温度、圧力等の指示値確認			1			
蓄電池設備	整流装置、インバータ装置	点検	汚れ、損傷、過熱、変形、異音、異臭、腐食の有無			1			
		点検	表示灯類の点灯確認			1			球切れの場合交換
		点検	充電中の総電圧、充電電流の適否確認			1			
		点検	異音、異臭、異常振動の有無			1			
	蓄電池	点検	蓄電池の損傷、液漏れ、汚損の有無			1			
		点検	端子の緩み等の確認			1			
構内配電・通信線路	構内配電・通信線路	点検	架空線、引き込み線、ちょう架線他の造営物・植物との離隔距離、緩み、損傷等の有無			1			
		点検	電柱、支持物等の損傷、傾斜及び腐食、脱落等の有無			1			
		点検	ケーブル及び端末部の損傷、腐食、コンパウンド漏れ、他の工作物との離隔の適否			1			
		点検	接地線の緩み、損傷、断線の有無			1			
		点検	マンホール・ハンドホール蓋の損傷の有無。内部構造体のひび割れ、浸水の有無			1			
電気設備	負荷設備	点検	電動機等の異音・異臭・過熱・異常振動の有無	1					
		点検	照明設備の不点、汚損、異臭、過熱の有無	1					
	電灯設備	点検	点灯状態の確認	1					
		点検	損傷、破損、錆、腐食、ボルト等の緩みの有無				1		緩みがある場合は増締め
	避雷設備	点検	突針、導体の取付状態、損傷等の有無、ボルト等の緩みの有無				1		緩みがある場合は増締め
		点検	避雷導線の断線、端子接続部の発錆、締め付けの緩みの有無、接地抵抗測定				1		緩みがある場合は増締め
	中央監視設備	点検	腐食、損傷、異音、異臭、異常振動等の有無	1					
		点検	ディスプレイ、プリンターの表示及び印字状態の異常の有無	1					
		点検	無停電電源装置の作動状況確認		1				
熱源機器	ヒートポンプ式チラー	点検	外観：腐食、変形、破損等の有無。保温材の脱落、損傷等の有無。異音、異常振動の水用ストレーナの詰まり確認。冷温水配管系統内の空気混入の有無。水質状況の確認	1					
		点検			1				
		点検	月例点検			1			異常がある場合は調査
		点検	年次点検				1		異常がある場合は調査

点 検 基 準 表

設備	機器名称	種別	内 容	作業・点検周期					備 考
				日	週	月	年	都度	
空調・給排水機器	空気調和機	点検	外観：腐食、変形、破損等の有無。保温材の脱落、損傷等の有無。異音、異常振動の有無	1					
		点検	ベルトの緩み、摩耗及び損傷等の有無		1				緩みの調整またはベルトの交換
		点検	軸受けの異常の有無。グリースの給油					○	
		測定	絶縁抵抗				1		
		点検	モーター温度の異常の有無。運転電流値の確認			1			
		点検	冷温水コイルの汚損、腐食、損傷等の有無			1			
		点検	加湿器詰りの有無、作動の良否			1			
		作業	冷暖房切替。関連機器のバルブ開閉					○	
		点検	ドレンパンの汚れ・発錆、腐食等の有無。ドレン排水の確認			1			ドレンパンの清掃・補修
		点検	冷温水コイルの汚損、腐食、損傷の有無			1			汚損が軽微な場合は清掃
		点検	熱交換状況の確認			1			
		清掃	エアフィルターの詰まり・損傷の確認、エアフィルター清掃（ロール、中性能以上の			1			清掃は適時実施
	ファンコイルユニット	点検	腐食、変形、破損等及び異音、異常振動の有無	1					
		点検	保温・吸音材の破損の有無。吹出しグリルの汚れ・破損等の有無	1					
		点検	冷温水コイルの汚れ、破損、腐食の有無			1			汚れが軽微な場合は清掃
		清掃	エアフィルターの詰まり・損傷の確認、エアフィルター清掃（ロール、中性能以上の			1			清掃は適時実施
		点検	止め弁、流量調整弁：損傷、破損の有無。エア抜き弁、ドレン抜き弁の良否			1			空気溜まりの場合はエア抜き
	全熱交換器、全熱交換型換気扇	点検	腐食、変形、破損等及び異音、異常振動の有無	1					
		点検	吹き出し風量等状態の確認			1		○	異常時は適時清掃及び確認
		点検	運転電流値の確認				1		
	マルチエアコン、空冷ヒートポンプパッケージ	点検	室内・外機の腐食、変形、破損等の有無。異音、異常振動の有無	1					
		測定	絶縁抵抗				1		
		点検	冷暖房の切替、切替弁の作動の良否確認				1		
		点検	フィンコイルの汚れ及び損傷の有無			1			汚れが軽微な場合は清掃
		点検	熱交換状況の確認			1			
		点検	除霜装置の作動の良否			1			
		点検	ベルトの緩み、摩耗及び損傷等の有無					○	サーバー室
		点検	グリースの給油					○	サーバー室
		清掃	吹き出し風量等状態の確認			1			異常時は適時清掃及び確認
	送風機、排風機	点検	腐食、変形、破損等の有無。異音、異常振動、異臭の有無	1					
		測定	絶縁抵抗				1		
		点検	ベルトの緩み、摩耗及び損傷等の有無			1			緩みの調整またはベルトの交換
		点検	グリースの給油					○	
		点検	運転電流値の確認			1			
	給気・排気ファン、天井扇	点検	腐食、変形、破損等の有無。異音、異常振動、異臭の有無		1				
		測定	絶縁抵抗				1		
		点検	ベルトの緩み、摩耗及び損傷等の有無			1			電動機直動型は除く
		点検	運転電流値の確認				1		
	ヘッダー、膨張タンク	点検	損傷、腐食等の有無。保温材の脱落、損傷の有無。水・蒸気漏れの有無	1					
		点検	蓋の取付状態、ボルト等の摩耗確認。腐食、損傷等の有無	1					
		点検	液面制御装置作動確認。フロート（ボールタップ・電極棒）の浸水・損傷等の有無・			1			ホットウエルタンク、開放型膨張タンク

点 検 基 準 表

設備	機器名称	種別	内 容	作業・点検周期					備 考
				日	週	月	年	都度	
空調・給排水機器	冷温水ポンプ、加圧給水ポンプ	点検	腐食、変形、破損等の有無。異音、異常振動の有無。水漏れの有無	1					
		調整	グラウンドからの漏れ量の確認			1			漏れが多い場合増締め
		点検	主電源電圧、運転電流値の確認			1			
		測定	絶縁抵抗				1		
		点検	制御機器の機能点検・表示確認		1				
		点検	圧力タンク封入ガス圧の確認			1			加圧給水ポンプのみ
		点検	フート弁・逆止弁の開閉状態の良否				1		清掃または調整
		点検	圧力計等の腐食・損傷の有無。指示値の確認				1		
		点検	単位時間当たりの揚水量の確認			1			井水ポンプのみ
		点検	自動空気抜き弁の水漏れ確認及び空気抜き確認			1			
		点検	ケーブル損傷等の有無				1		井水ポンプのみ
	排水ポンプ、汚水ポンプ	点検	腐食、変形、破損等の有無。異音、異常振動の有無。水漏れの有無		1				
		点検	主電源電圧、運転電流値の確認			1			
		測定	絶縁抵抗				1		
		点検	制御機器の機能点検		1				
		点検	圧力計等の腐食・損傷の有無。指示値の確認				1		
	給湯循環ポンプ (ラインポンプ)	点検	腐食、変形、破損等の有無。異音、異常振動の有無。水漏れの有無	1					
		点検	主電源電圧、運転電流値の確認			1			
		測定	絶縁抵抗				1		
		点検	逆止弁の開閉状態の良否				1		清掃または調整
空調・給排水機器	受水槽（貯水槽）	点検	基礎の亀裂、沈下等の有無。架台の発錆、腐食等の有無		1				
		点検	本体の水漏れ、外面の腐食、損傷等の有無		1				
		点検	接合金具、接合ボルトの緩み、変形及び内面の腐食、損傷等の有無			1			
		点検	マンホール密閉状態、施錠の良否確認		1				
		点検	内部の堆積物、水面の浮遊物ほかの有無		1				
		点検	ボールタップ及び定水位弁の浸水及び変形、損傷等の有無。作動の良否			1			浸水のある場合は調整
		点検	水面制御・警報装置の汚れ、腐食、損傷等の有無。電極部、パイロット管などの接続			1			
		点検	防虫網の詰まり、腐食、損傷等の有無			1			清掃または交換
		清掃	周囲の整備			1			
空調・給排水機器	汚水槽・雑排水槽、雨水槽・湧水槽	点検	内部の浮遊物及び沈殿物の状況			1			
		点検	漏水、壁面等の亀裂。損傷等の有無				1		
		点検	マンホール密閉状態の確認	1					
		点検	水面制御・警報装置の腐食、損傷等の有無。作動の良否			1			
		点検	配管：漏れ、損傷、腐食等の有無			1			
		点検	害虫等の発生の有無			1			
		点検	防虫網の詰まり、腐食、損傷等の有無			1			清掃または交換
	pH計	点検	外観目視点検			1			
		点検	指示値の確認	1					トレント記録より
		清掃	本体及び各部点検清掃			1			
		点検	接続端子増し締め			1			
		点検	電極、検出部の洗浄、点検			1		○	保護管の詰まり清掃
		点検	絶縁抵抗測定				1		
		点検	校正、被検液による計器指示確認			1		○	指示値異常の場合校正
		点検	特性試験				1		
		整備	電極交換				1		
		点検	専用ケーブルの絶縁抵抗測定				1		
	洗面器、手洗い器、掃除流し、台所流し	点検	亀裂、損傷等の有無			1			
		点検	器具・排水金具、排水管、トラップ等の接続部の緩み、腐食、損傷等の有無			1			
		点検	排水の引き具合・詰まりの有無			1			配管の清掃
		点検	トラップ封水の良否			1			
		整備	水栓のコマパッキン等の交換					○	

点 検 基 準 表

設備	機器名称	種別	内 容	作業・点検周期					備 考
				日	週	月	年	都度	
	小便器、大便器	点検	亀裂、損傷等の有無			1			
		点検	洗浄管及び便器の接続部の水漏れの有無			1			
		点検	排水の引き具合・詰まりの有無			1			配管の清掃、薬品洗浄
		点検	トラップ封水の良否			1			
		点検	水圧、吐水時間の適否確認			1			調整
		調整	自動洗浄装置			1			
		整備	フラッシュバルブの分解整備					○	
		整備	パッキン等の交換					○	
	排水ます	点検	内部の堆積物、汚れ及び量の確認				2		
		点検	害虫等の発生の有無				2		
	インターホン設備	点検	取付状態の良否、汚損、損傷等の有無			1			
		点検	音量、明瞭度、雑音等の有無			1			
その他設備	テレビ共聴設備	点検	増幅器の発熱、異音、損傷等の有無			1			
		点検	接栓等の緩みの有無			1			緩みのある場合は増締め
		点検	アンテナ、マストの損傷、錆等の有無。支持ボルト等の緩みの有無			1			緩みのある場合は増締め
	自動扉	点検	各部の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	開閉時の異音、異常振動の有無			1			
		点検	開閉スピード、戸あたりの良否			1			
		清掃	開閉センサー、スイッチ等の動作確認			1			
	ゲート自動式門扉	点検	各部の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	開閉状態の異音、異常振動の有無			1			
		点検	開閉スピード			1			
		点検	開閉センサー、スイッチ等の動作確認			1			
		点検	開閉動作異常の有無			1			
消防設備等	自動火災報知設備	点検	機器の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	作動の障害となるものの有無・除去	1					状況は日報に記載のこと
		点検	予備電源への切替確認			1			
		点検	操作装置の異常の有無			1			
		点検	定位置にあるかどうかの確認			1			
	非常放送設備	点検	機器の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	予備電源への切替確認			1			
		点検	操作装置の異常の有無			1			
	防火戸、防煙垂れ壁、防火・防煙シャッター設備	点検	機器の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	作動の障害となるものの有無・除去	1					状況は日報に記載のこと
		点検	操作装置の異常の有無			1			
	屋内消火栓設備	点検	機器の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	作動の障害となるものの有無・除去	1					状況は日報に記載のこと
		点検	減水警報装置の作動確認			1			
		点検	ホース、ノズルの格納状態の確認			1			
		点検	操作装置の異常の有無			1			
	連結送水管設備	点検	送水口カバーの損傷の有無			1			
		点検	消防活動の障害となるものの有無・排除	1					状況は日報に記載のこと
	誘導灯設備	点検	機器の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	視認の障害となるものの有無・除去	1					状況は日報に記載のこと
		点検	不点、球切れの確認			1			
		点検	予備電源への切替確認			1			
	消火器具	点検	機器の破損、変形及び脱落、腐食の有無			1			
		点検	定位置にあるかどうかの確認			1			

日常清掃区域・面積及び作業基準表

階	室名等	室番号	床材	清掃面積		時間指定		作 業 基 準										
						あり (9時00分迄)	なし (7時～15時迄)	床 面 清 掃	ゴ ミ 収 集	備 品 ・ 机 等 清 掃	吹 抜 け 階 段 手 す り	扉 清 掃	流 し 台 等 清 掃	衛 生 関 係 清 掃	汚 物 処 理	消 耗 品 補 充	洗 面 ・ 鏡 等 清 掃	金 属 ・ 押 釦 磨 き
B2	操作員室	B2B2-1	タイルカーペット	31.16	m ²	○		1/週				適時	適時					
	操作員室(打合せ室)	B2B3-1	ビニール床シート	23.24	m ²	○		1/日				適時						
	シャワー室	B2B2-2	タイルカーペット	16.12	m ²		○	1/日				適時		1/日			1/日	適時
	仮眠室1	B2B3-2	タイルカーペット	8.75	m ²		○	1/週				適時						
	仮眠室2	B2B3-3	タイルカーペット	8.75	m ²		○	1/週				適時						
	控え室	B2C4-2	タイルカーペット	17.95	m ²		○	1/日		適時		適時	適時					
	イメージング解析室	B2B4	タイルカーペット	48.05	m ²	○		1/日				適時						
	WC B2女		ビニール床シート	9.54	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	WC B2男		ビニール床シート	13.08	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
			ビニール床シート	26.48	m ²		○	1/週	適時									
	廊下B2・動物廊下		ビニール床シート	192.16	m ²		○	1/週	適時			1/週						
	階段1・2		ビニール床シート	62.18	m ²		○	1/週				適時						
	エレベータ(内部)			14.00	m ²		○	1/日				適時						
B2F 計				471.46	m ²													
B1	セミナールームB1	B1A1	帯電防止ビニール床タイル	55.38	m ²		○	1/週	1/週	1/週		1/週						
	知能科学融合研究開発推進センター(AIS)	B1A2	帯電防止ビニール床タイル	41.13	m ²		○	1/週				1/週						
	脳機能解析運用グループ	B1A4	帯電防止ビニール床タイル	41.13	m ²	○		1/週				1/週						
	脳機能解析研究室1	B1A5	帯電防止ビニール床タイル	38.94	m ²	○		1/週				1/週						
	脳機能解析研究室2	B1A6	帯電防止ビニール床タイル	36.84	m ²	○		1/週				1/週						
	給湯室B1		ビニール床シート	9.62	m ²		○	1/日	1/日				1/日	1/日				1/日
	WC B1女		ビニール床シート	13.24	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	WC B1男		ビニール床シート	13.61	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	廊下B1-1、EVホールB1		ビニール床シート	147.90	m ²		○	1/週	適時			1/週						
	階段1・2		ビニール床シート、PCコンクリート	73.25	m ²		○	1/週				適時						
	階段3		ビニール床シート	18.02	m ²		○	1/日			適時							
B1F 計				489.06	m ²													
1F	大会議室	1C1	タイルカーペット	195.14	m ²		○	1/週	適時	1/週		1/週						適時
	パントリー		ビニール床シート	9.24	m ²		○	1/日										
	小会議室	1B1	タイルカーペット	18.20	m ²		○	1/日	1/週	1/週		1/週						
	センター長室	1A1	タイルカーペット	44.00	m ²		○	1/日	1/日	1/日		1/週						
	ディスカッションルーム		エチレンポリマー樹脂床材	50.32	m ²	○		1/日	1/日	1/日		1/週	1/日					適時
	給湯室1		ビニール床シート	1.13	m ²		○		1/日				1/日	1/日				1/日
	管理事務室	1A6	タイルカーペット	41.17	m ²	○		1/週				1/週						
	脳情報通信融合研究室	1A7	タイルカーペット	39.24	m ²	○		1/週		1/日		1/週						
	脳機能解析研究室、センター長秘書室	1A8	タイルカーペット	41.44	m ²	○		1/週				1/週						
	企画室・SE室	1B7	タイルカーペット	65.91	m ²	○		1/週				1/週						
	風除室		エチレンポリマー樹脂床材	20.62	m ²		○	1/日	適時			1/週						
	前室1-1		タイルカーペット	4.70	m ²		○	1/週				1/月						
	前室1-2		タイルカーペット	4.82	m ²		○	1/週				1/月						
	前室1-3		タイルカーペット	4.68	m ²		○	1/週				1/月						
	女子休養室	1C4-1	タイルカーペット	20.80	m ²		○	1/週	1/日			1/週						
	WC 1女		エチレンポリマー樹脂床材	23.34	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	多目的トイレ		ビニール床シート	5.08	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	WC 1男		エチレンポリマー樹脂床材	19.32	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	廊下1-1・1-2・1-3・EVホール1		高耐久床材	183.14	m ²		○	1/週	適時			1/週						
1F	階段1・2・4		ビニール床シート、PCコンクリート	79.45	m ²		○	1/日			適時	適時						
	エントランスホール		高耐久床材	308.09	m ²		○	1/日		1/日								
	エントランスブリッジ		磁器室タイル	20.16	m ²		○	1/日										
	サブエントランス(スローフ含む)		磁器室タイル	66.12	m ²		○	1/日				1/週						
1F 計				1,266.11	m ²													
2F	BMI研究室1	2C6	タイルカーペット	43.10	m ²	○		1/週				1/週						
	BMI研究室2	2C7-1	タイルカーペット	22.00	m ²	○		1/週				1/週						
	BMI研究室2	2C7-2	タイルカーペット	22.80	m ²	○		1/週				1/週						
	HHS研究室1	2B1-1	タイルカーペット	20.89	m ²	○		1/週				1/週						
	HHS研究室2	2B1-2	タイルカーペット	18.28	m ²	○		1/週				1/週						
	HHS研究室3	2A1	タイルカーペット	41.44	m ²	○		1/週				1/週						
	HHS研究室10	2A2	タイルカーペット	39.24	m ²	○		1/週				1/週						
	HHS研究室4	2A3	タイルカーペット	41.54	m ²	○		1/週				1/週						
	BMI研究室3	2A5	タイルカーペット	41.54	m ²	○		1/週				1/週						
	BMI研究室4	2A6-1	タイルカーペット	19.62	m ²	○		1/週				1/週						
	BMI研究室5	2A6-2	タイルカーペット	19.62	m ²	○		1/週				1/週						
	BFI研究室7	2A7-1	タイルカーペット	19.62	m ²	○		1/週				1/週						
	BFI研究室8	2A7-2	タイルカーペット	19.62	m ²	○		1/週				1/週						
	融合研究室	2B2	タイルカーペット	172.32	m ²	○		1/週				1/週						
	BFI研究室4(北)・BFI研究室5(南)	2B6	タイルカーペット	78.51	m ²	○		1/週				1/週						

日常清掃区域・面積及び作業基準表

階	室名等	室番号	床材	清掃面積		時間指定		作 業 基 準										
						あり (9時00分迄)	なし (7時～15時迄)	床 面 清 掃	ゴ ミ 収 集	備 品 ・ 机 等 清 掃	吹 抜 け 階 段 手 す り ガ ラ ス	扉 清 掃	流 し 台 等 清 掃	衛 生 関 係 清 掃	汚 物 処 理	消 耗 品 補 充	洗 面 ・ 鏡 等 清 掃	金 属 ・ 押 釦 磨 き
2F	BFI研究室6	2B8-1	タイルカーペット	35.25	m ²	○		1/週				1/週						
	給湯室2		ビニール床シート	3.86	m ²		○	1/日	1/日				1/日	1/日				1/日
	WC 2男		エチレンポリマー樹脂床材	19.86	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	多目的トイレ2		ビニール床シート	4.97	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	WC 2女		エチレンポリマー樹脂床材	16.79	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	廊下2-1・2-2・EVホール2		タイルカーペット	308.79	m ²		○	1/週	適時			1/週						
	階段1・2		ビニール床シート、PCコンクリ	52.00	m ²		○	1/週				適時						
2F 計				1,061.66	m ²													
3F	企業等連携研究室2	3C1	タイルカーペット	40.12	m ²	○		1/週				1/週						
	行動実験室1	3C3-2	タイルカーペット	23.11	m ²	○		1/週										
	行動実験室2	3C4-1	タイルカーペット	22.02	m ²	○		1/週										
	行動実験室3	3C4-2	タイルカーペット	21.50	m ²	○		1/週										
	行動実験室4	3B1-1	タイルカーペット	23.18	m ²	○		1/週										
	行動実験室5	3B1-2	タイルカーペット	28.95	m ²	○		1/週										
	BMI研究室10	3B3-2	タイルカーペット	86.38	m ²	○		1/月										
	シャワー室	3B7-2	タイルカーペット	5.38	m ²		○	1/日	適時			適時		1/日			1/日	適時
	洗髪室	3B7-3	タイルカーペット	5.38	m ²		○	1/日	適時			適時		1/日			1/日	適時
	給湯室		ビニール床シート	6.72	m ²		○	1/日	1/日				1/日	1/日				1/日
	企業等連携研究室3	3B8	ビニール床シート	48.46	m ²	○		1/週				1/週						
	BFI研究室9	3A1	ビニール床シート	40.55	m ²	○		1/週				1/週						
	BFI研究室10	3A2	ビニール床シート	38.36	m ²	○		1/週				1/週						
	BFI研究室11	3A3	ビニール床シート	38.36	m ²	○		1/週				1/週						
	HHS研究室5	3A4	ビニール床シート	38.36	m ²	○		1/週				1/週						
	HHS研究室11	3A5	ビニール床シート	57.86	m ²	○		1/週				1/週						
	BFI研究室12	3A6	ビニール床シート	57.22	m ²	○		1/週				1/週						
	WC 3男		エチレンポリマー樹脂床材	19.86	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	多目的トイレ		ビニール床シート	4.97	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	WC 3女		エチレンポリマー樹脂床材	16.79	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	廊下3-1・3-2・EVホール3		ビニール床シート	285.73	m ²		○	1/週	適時			1/週						
	階段1・2		ビニール床シート	51.56	m ²		○	1/週				適時						
3F 計				960.82	m ²													
4F	更衣室1(男)	4C4-1	タイルカーペット	10.83	m ²		○	1/日	適時			適時						
	更衣室2(女)	4C4-2	タイルカーペット	10.56	m ²		○	1/日	適時			適時						
	WC 4男		エチレンポリマー樹脂床材	19.86	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	多目的トイレ4		ビニール床シート	4.97	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	WC 4女		エチレンポリマー樹脂床材	16.79	m ²		○	1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時	1/日	1/日
	EVホール4		ビニール床シート	27.15	m ²		○	1/週										
	廊下4-1・4-2		ビニール床シート	258.59	m ²		○	1/週	適時			1/週						
	階段1・2		ビニール床シート	41.98	m ²		○	1/週				適時						
4F 計				390.73	m ²													
5F	EVホール5		ビニール床シート	11.92	m ²		○	1/週										
	廊下5-1		ビニール床シート	34.55	m ²		○	1/月										
	廊下5-2		ビニール床シート	50.60	m ²		○	1/月										
	倉庫		ビニール床シート	28.18	m ²		○	1/週	1/週			1/週						
5F 計				125.25	m ²													
ES-A棟	玄関・風除室		ビニール床シート	4.50	m ²	○		1/日	1/日			適時						
	更衣室		ビニール床シート	3.56	m ²	○		適時				適時						
	トイレ		ビニール床シート	2.19	m ²	○		1/日	1/日			適時		1/日	1/日	随時		1/日
	流し台		ビニール床シート	—	m ²	○							適時					
ES-A棟 計				10.25	m ²													
ES-B,C棟	玄関・風除室		ビニール床シート		m ²	○		1/日	1/日			適時						
	トイレ(男)		ビニール床シート	7.38	m ²	○		1/週	1/週			適時		1/週	1/週	随時		1/週
	トイレ(女)		ビニール床シート	7.58	m ²	○		1/週	1/週			適時		1/週	1/週	随時		1/週
	流し台		ビニール床シート	—	m ²	○							適時					
ES-B、C棟 計				14.96	m ²													

ガラス清掃面積表

階	室名等	室番号	建具 符号	姿図 符号	面積	数量	清掃面積	清掃 回数 (回/ 年)	清掃条件		
									清掃面 ○ 内外面 △ 外面 ☆ 内面		
									清掃 面	足場 有り	足場 無し
Ci-Net棟											
B1	セミナールームB1	B1A1	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	○	○	
	知能科学融合研究開発推進センター(AIS)	B1A2	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	○	○	
	脳機能解析運用グループ	B1A4	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	脳機能解析研究室1	B1A5	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	脳機能解析研究室2	B1A6	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	ラウンジB1、階段3・4、ディスカッションルーム	—	ACW／1	W09	140.03㎡	1	140.03㎡	2	○		○
B1F 計					185.08㎡		185.08㎡				
1F	大会議室	1C1	AW／5	W04	11.32㎡	2	22.64㎡	2	○	○	
	小会議室	1B1	AW／4	W03	0.96㎡	3	2.88㎡	2	○	○	
	廊下(西)	—	AW／3	W02	6.16㎡	1	6.16㎡	2	○	○	
	センター長室	1A1	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	○	○	
	ディスカッションルーム南面(B1ディスカッションルームに含む)	1A2	ACW／1	W09	140.03㎡			—	—	—	—
	ディスカッションルーム内(東)	1A2	SW／2	W17	15.52㎡	1	15.52㎡	2	○	○	
	ディスカッションルーム内(南)	1A2	SW／3	W18	7.11㎡	1	7.11㎡	2	○	○	
	階段4(吹き抜け)	—	SW／3	W18	7.11㎡	1	7.11㎡	2	○	○	
	風除室	—	SSW／4	W16	3.95㎡	1	3.95㎡	2	○	○	
	風除室(自動ドア外)	—	SSD／1	D12	10.24㎡	1	10.24㎡	2	○	○	
	風除室(自動ドア内)	—	SSD／2	D13	10.24㎡	1	10.24㎡	2	○	○	
	管理事務室	1A6	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	脳情報通信融合研究室	1A7	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	センター長秘書室・脳機能計測研究室	1A8-1・2	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	廊下1-2(東)	—	AW／3	W02	6.16㎡	1	6.16㎡	2	○	○	
	企画室・SE室	1B8	AW／4	W03	0.96㎡	6	2.88㎡	2	△	○	
	廊下1-3(東)	—	AW／3	W02	6.16㎡	1	6.16㎡	2	○	○	
	サブエントランス	—	AD／8	D15	6.00㎡	1	6.16㎡	2	○	○	
	センター長室(ガラスパーテーション)	1A1	PT／2	—	6.35㎡	1	6.35㎡	2	○	○	
	ディスカッションルーム(ガラスパーテーション)	1A2	PT／3	—	8.66㎡	1	8.66㎡	2	○	○	
1F 計					282.97㎡		158.26㎡				
2F	廊下2-1(西)	—	AW／15	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	—	○
	HHS研究室3	2A1	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	HHS研究室10	2A2	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	HHS研究室4	2A3	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	階段4(吹き抜け)	—	AW8	W06	13.35㎡	1	13.35㎡	2	○	○	
	BMI研究室3	2A5	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	BMI研究室4・BMI研究室5	2A6-1・2	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	BFI研究室7・BFI研究室8	2A7-1・2	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	HHS研究室1	2B1-1	—	—	0.48㎡	3	1.44㎡	2	△	—	○
	HHS研究室2	2B1-2	—	—	0.48㎡	3	1.44㎡	2	△	—	○
	BFI研究室6	2B8	—	—	0.48	6	2.88	2	△	—	○
	WC(男)	—	AW／13	W07	1.81㎡	1	1.81㎡	2	○	○	
	WC(男女 2F～4F)	—	ACW／2	W10	100.29㎡	1	100.29㎡	2	○		○
	廊下2-1(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	—	○
	廊下2-2(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	—	○
	EVホール2	—	AW／10	W08	6.00㎡	1	6.00㎡	2	○	○	
	廊下2-2(西)	—	AW／15	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	—	○
2F 計					200.03㎡		204.35㎡				
3F	BFI研究室9	3A1	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	BFI研究室10	3A2	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	BFI研究室11	3A3	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	HHS研究室5	3A4	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	HHS研究室11	3A5-1・2	AW／1	W01	9.01㎡	2	18.02㎡	2	△	○	
	BFI研究室12	3A6	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	行動実験室4	3B1-1	—	—	0.48㎡	3	1.44㎡	2	△	—	○
	行動実験室5	3B1-2	—	—	0.48㎡	3	1.44㎡	2	△	—	○
	企業等連携研究室3	3B8	—	—	0.48㎡	6	2.88㎡	2	△	—	○
	WC(男)	—	AW／13	W07	1.81㎡	1	1.81㎡	2	○	○	
	WC(女)	—	SD／86	D01	1.37㎡	1	1.37㎡	2	○		○
	廊下3-1(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	—	○
	廊下3-2(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	☆	—	—
	EVホール3	—	AW／10	W08	6.00㎡	1	6.00㎡	2	○	○	
	廊下3-2(西)	—	AW／16	W05	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	—	○
	廊下3-1(西)	—	AW／16	W05	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	—	○
3F 計					87.76㎡		101.09㎡				

ガラス清掃面積表

階	室名等	室番号	建具 符号	姿図 符号	面積	数量	清掃面積	清掃 回数 (回/ 年)	清掃条件		
									○ △ ☆	清掃面 内外面 外面 内面	
4F	HHS研究室18	4A1	AW／1	W01	9.01㎡	2	18.02㎡	2	△	○	
	HHS研究室19	4A3	AW／1	W01	9.01㎡	1	9.01㎡	2	△	○	
	HHS研究室20	4A4-1	AW／1	W01	9.01㎡	2	18.02㎡	2	△	○	
	HHS研究室21	4A6	AW／1	W01	9.01㎡	2	18.02㎡	2	△	○	
	HHS実験準備室3	4B1-1	-	-	0.48㎡	3	1.44㎡	2	△	-	○
	HHS実験準備室4	4B1-2	-	-	0.48㎡	3	1.44㎡	2	△	-	○
	HHS研究室17	4B8	-	-	0.48㎡	6	2.88㎡	2	△	-	○
	WC(男)	—	AW／13	W07	1.81㎡	1	1.81㎡	2	○	○	
	WC(女)	—	SD／86	D01	1.37㎡	1	1.37㎡	2	○		○
	廊下4-1(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	-	○
	廊下4-2(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	-	○
	EVホール4	-	AW／10	W08	6.00㎡	1	6.00㎡	2	○	○	
	廊下4-2(西)	—	AW／16	W05	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	-	○
	廊下3-1(西)	—	AW／16	W05	5.77㎡	1	5.77㎡	2	○	-	○
4F 計					69.74㎡		101.09㎡				
5F	廊下5-1(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	△	-	○
	廊下5-2(東)	—	AW／6	W02	5.77㎡	1	5.77㎡	2	△	-	○
	廊下5-1(西)	—	AW／16	W05	5.77㎡	1	5.77㎡	2	△	-	○
	廊下5-2(西)	—	AW／16	W05	5.77㎡	1	5.77㎡	2	△	-	○
5F 計					23.08㎡		23.08㎡				
Ci-Net棟ガラス清掃面積							772.95				
アネックス棟											
A棟	操作室	-	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
	検査室	—	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
B棟	控室	B1-3	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
	操作室	B1-4	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
	B-2室	B2	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
	B-3室	B3	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
	B-5室	B5	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
	B棟廊下	-	-	-	2.63㎡	1	2.63㎡	2	○	○	
C棟	C-1室	C1	-	-	2.63㎡	2	5.26㎡	2	○	○	
	C-10室	C10	-	-	2.63㎡	3	7.89㎡	2	○	○	
アネックス棟計					26.30㎡		34.19㎡				
アネックス棟ガラス清掃面積							34.19㎡				
ガラス清掃面積合計							807.14㎡				

pH計総合定期点検表

計器仕様

変換器型式:

電極型式:

点検日: 令和 年 月 日

作業時間: : ~ :

作業者:

保守・点検内容

レ:点検良 A:調整 E:交換 O:実施 H:補給 T:注油 W:交換、洗浄

C:手直し Δ:劣化 ×:不適合 -:該当せず

A. 計器

1. 表示部(液晶部に欠陥は無い)	
2. 表示モード切替動作	
3. 内部設定確認	
4. 操作スイッチ、調整、設定ボリューム	
5. 専用ケーブル、接続端子(緩みはない)	
6. 水防栓、Oリング(シールはされている)	
7. 等価入力試験ー指示値の確認	
8. 電送出力試験	

B. 検出器

1. コネクタボックス (口有、口無)	
・端子板	
・水防栓、Oリング	
・専用ケーブル、リード線(接続方法に間違いはない)	
2. 電極	
3. 電極ホルダー(検出器)	
4. 電極内部液	
5. 電極パッキン	
6. 電極ワッシャー、保護筒	
7. 電極ホルダー取り付け金物、支持金物	

C. 設定モード

1. pH温度シフト	
2. 警報設定値	

D. 総合動作

1. 外装清掃	
2. 温度測定値の確認	
3. 標準液調整	
4. 被検液による計器指示器の確認	

データシート

1. 電送出力(ループ)試験 (誤差±1%FS以内)

計器指示値(pH)	電送出力(mA)			受信計 指示(pH)
	標準値	出力値	誤差(%)	
0.00	4.00			
4.00	8.57			
7.00	12.00			
10.00	15.43			
14.00	20.00			

2. 温度測定値の確認 (誤差±2%FS以内)

計器指示	℃	温度指示値	℃
------	---	-------	---

3. 標準液調整

	ZERO	SPAN
調整値	pH	pH
電極電位	ZERO	mV(0±90mV以内)
	SLOP	mV(47.3~59.2~63.0mV以内)

判定:

交換部品:

点検、測定及び試験の基準

1. 電気工作物の維持及び運用に関するための点検、測定及び試験は、原則として別表「点検、測定及び試験の基準」のとおりとする。

2. 日常点検

日常随時構内を巡視し、主として運転中の電気設備を目視等により点検、あるいは各種測定器具を利用して異常の有無を確認する。もし異常を発見すれば必要に応じて、電気主任技術者の応援を得て臨時点検を実施する。

非常用予備発電機においては、月に1度始動試験を実施する。

3. 定期点検

比較的長期間（1年程度）の周期で主として目視による点検を行う。

4. 精密点検

長期間（3年程度）の周期で電気設備を停止し、必要に応じて分解するなど、目視、測定器具などによる点検、測定、試験を実施し電気設備が技術基準に適合しているか、異常の有無がないかを確認する。

機器の内部点検、継電器の特性試験等の精密試験を行い、必要に応じて電気機器を分解し、点検、調整、部品の交換を行う。

5. 臨時点検及び試験

（1）次に掲げる電気工作物については、その都度、異常状態の点検、絶縁抵抗測定を行い必要に応じて高圧の電路及び機器の絶縁耐力試験を行う。

ア. 高圧機材が損壊し、受電設備の大部分に影響を及ぼしたと思われる事故が発生した場合、受電設備の全電気工作物

イ. 受電用遮断機（電力ヒューズを含む）が遮断動作した場合は、遮断動作の原因となった電気工作物

ウ. その他の電気機材に異常が発生した場合は、その電気工作物

（2）高圧受配電設備に事故発生のおそれがある場合は、その都度、点検、測定及び試験を行う。

6. 電気主任技術者が実施する点検、測定及び試験の周期

点 検 の 種 類	周 期
日 常 点 検	毎日 1 回（一部 1 ヶ月 1 回）

定 期 点 検	毎 年 1 回
精 密 点 検	3 年 1 回
臨 時 点 検	必要な都度

注 （１）定期点検及び精密点検には通常点検が含まれる。

（２）精密点検には、定期点検が含まれる。

7. 工事中の点検周期

電気工作物の設置又は変更の工事が工事計画、技術基準に基づき適正に行われるよう電気工作物の工事期間中は、毎週 1 回行うものとする。

点検、測定及び試験の基準

電気工作物		点検及び試験方法	日常点検	年次点検		臨時点検
				定期点検	精密点検	
引込み設備	責任分界となる区分開閉器 引込み線等 架空電線、指示物 ケーブル	外観点検	○	○	○	必要に応じ実施
		絶縁抵抗測定			○	
		区分開閉器動作試験			○	
		保護継電器動作試験			○	
		保護継電器動作特性試験			○	
受電設備	断路器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		○	○	
	遮断器 開閉器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
		動作試験			○	
	電力ヒューズ	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	計器用変成器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	変圧器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
		内部点検			○	
	電力用コンデンサー	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	避雷器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	母線	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	その他の高圧機器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	配電盤	外観点検	○	○	○	
	制御回路	絶縁抵抗測定			○	
		保護継電器動作試験			○	
		保護継電器動作特性試験			○	
		計器校正試験			○	
	受電設備の建物・室 キュービクルの金属箱	外観点検	○	○	○	
	接地装置	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
配電線路	配電装置 架空電線、支持物 ケーブル	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	断路器、遮断器、開閉器、変 圧器、計器用変成器、電力 用コンデンサー、その他の高 圧機器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定			○	
	接地装置	外観点検	○	○	○	
		接地抵抗測定			○	

別表

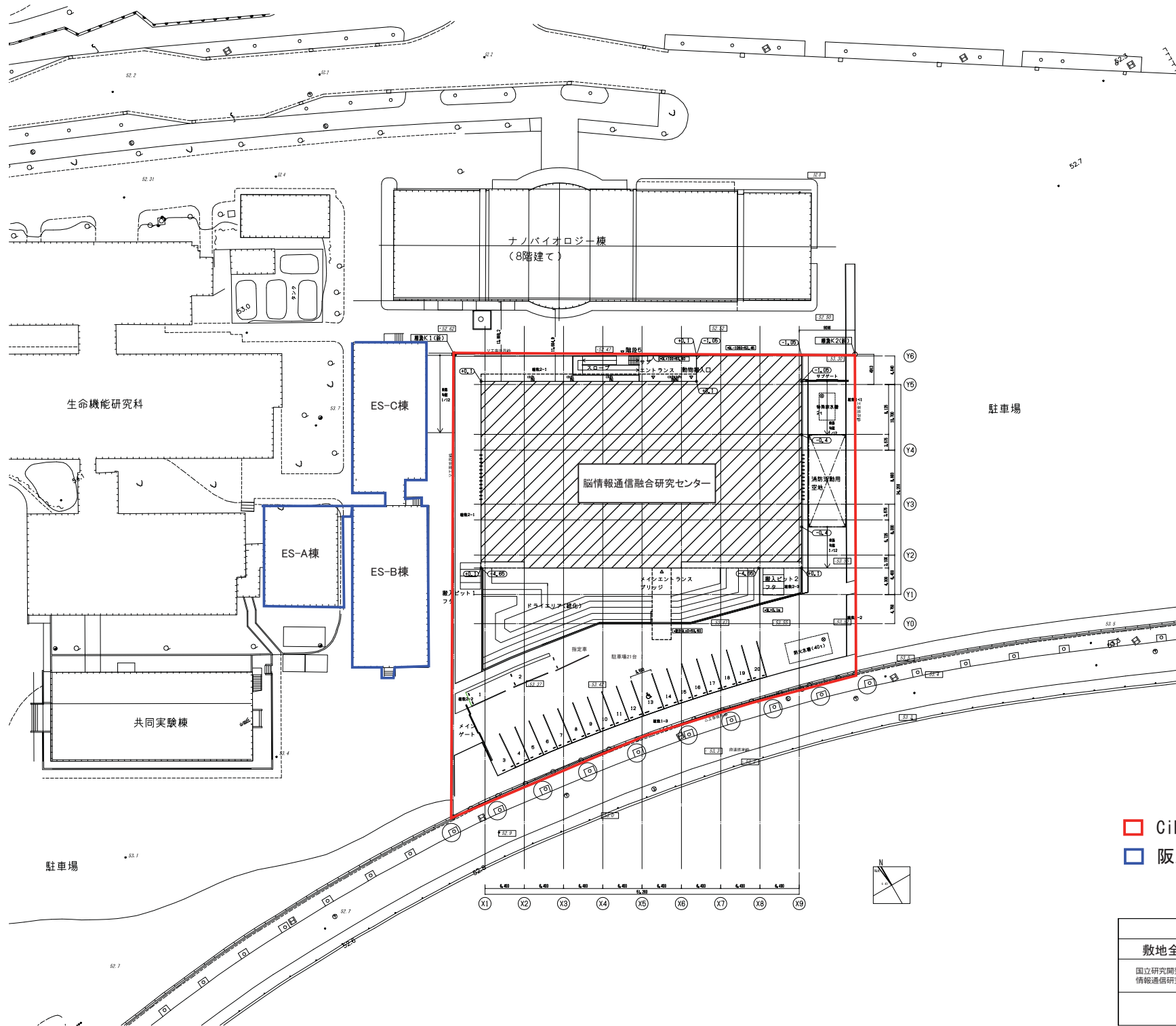
電気工作物		点検及び試験方法	日常点検	年次点検		臨時点検
				定期点検	精密点検	
非常用予備発電装置	原動機 付属装置	外観点検	○	○	○	必要に応じ実施
		始動試験	○	○	○	
		機器保護継電器動作試験		○	○	
	発電機 励磁装置 接地装置	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		○	○	
		接地抵抗測定		○	○	
	遮断器 開閉器 配電盤 制御装置等	外観点検	○	○	○	
		保護継電器動作試験		○	○	
		保護継電器特性試験			○	
		制御装置試験			○	
		その他は受電設備に準ずる				
蓄電池装置	本体	外観点検	○	○	○	
		電圧測定		○	○	
	充電装置 付属装置 接地装置	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		○	○	
		接地抵抗測定		○	○	
電気使用場所の設備	電動機類、電熱装置 電気溶接機 照明装置 配線、配電器具 その他の機器 接地装置	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		○	○	
		接地抵抗測定		○	○	
		絶縁監視装置	○			
		漏洩電流測定(1ヶ月 1回)	○	○	○	
		漏電引外し試験			○	
		絶縁監視装置	設定値・設定値における誤差確認		○	○
動作特性試験・警報発報動作試験		○	○			
自動伝送試験		○	○			

注(1)「外観点検」とは、主として目視により点検することを言う。

(2)「絶縁監視装置」については、その装置の機種に応じた点検及び試験を行う。

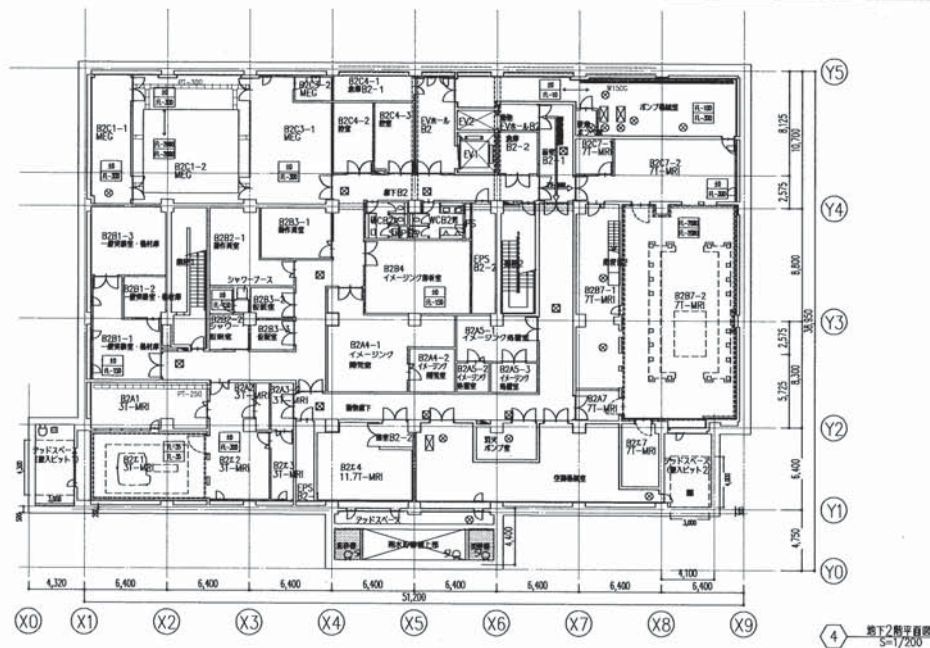
(3) この基準のほか事情によって試験項目の点検箇所の追加及び周期の短縮を定めることができる。

(4) 非常用予備発電装置・ピークカット用発電装置の機関始動・停止試験周期は月1回とし、手動運転のほか自動シーケンスに基づいた運転試験を行う。

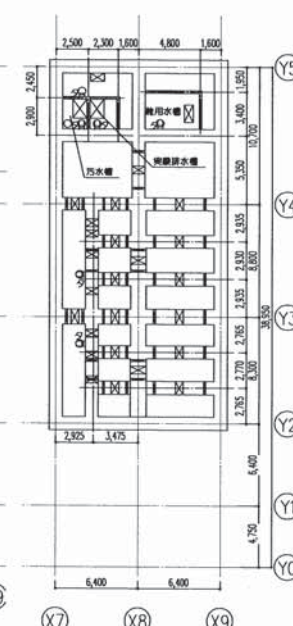
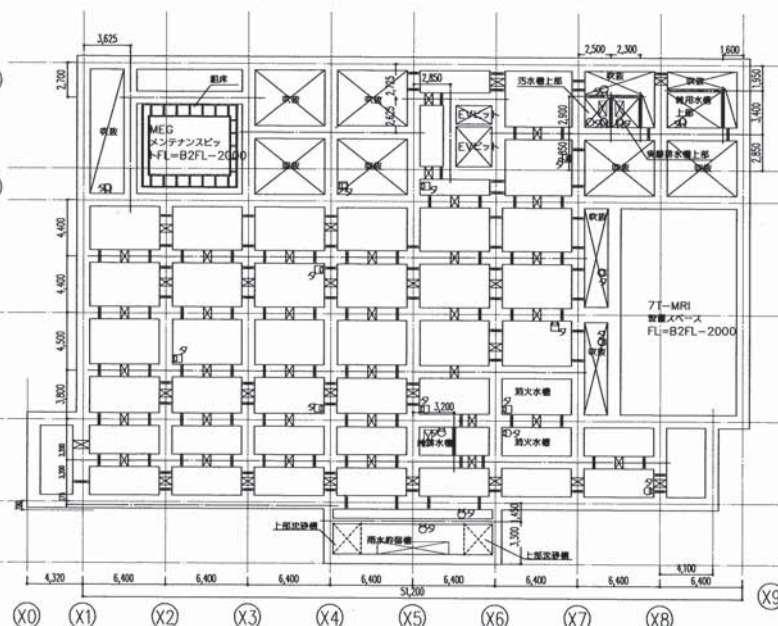
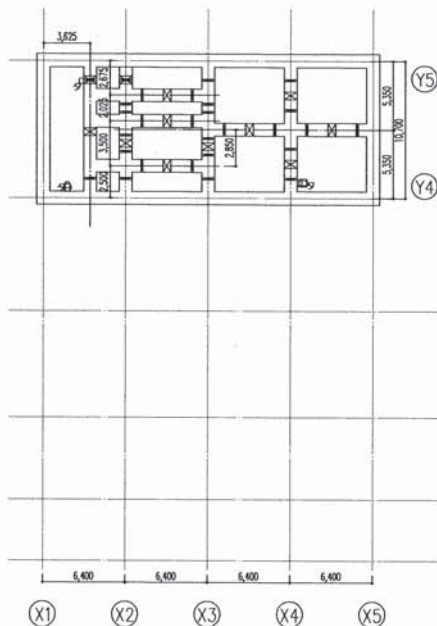


- CiNet敷地全体
□ 阪大オープンホーク 建屋

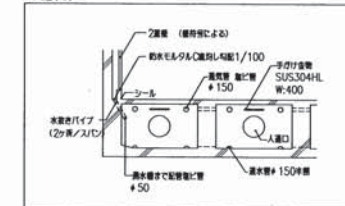
脳情報通信融合研究センター				
敷地全体図		1/300		
国立研究開発法人 情報通信研究機構	室長	T	主 査	設計 担当
	総括	主任	作図	



凡例	
	人入口
	通気管・排水管
	通気管
	排水設備
	上段：床仕上げ 下段：スラブ裏 特記なき限り
	排水溝（簡易）
	排水溝（グレーチング付）
	配管ピット（数字は溝巾を示す） SUSフレーム固定特注
	水勾配
	止水板
	ガタリ
	消火栓
	マンホール600φ（簡易排水用）
	化粧マンホール
	上層マンホール
	ダクト（A・B・C）
	ダクト（電気用）（D）
	電気設備用配管
	非常用出入口
	非常用出入口に替わる開口部



構造断面



構造断面

人入口	溝巾1500未満：φ600、溝巾1500以上：φ700
通気管	φ150
排水管	φ150標準

構造断面

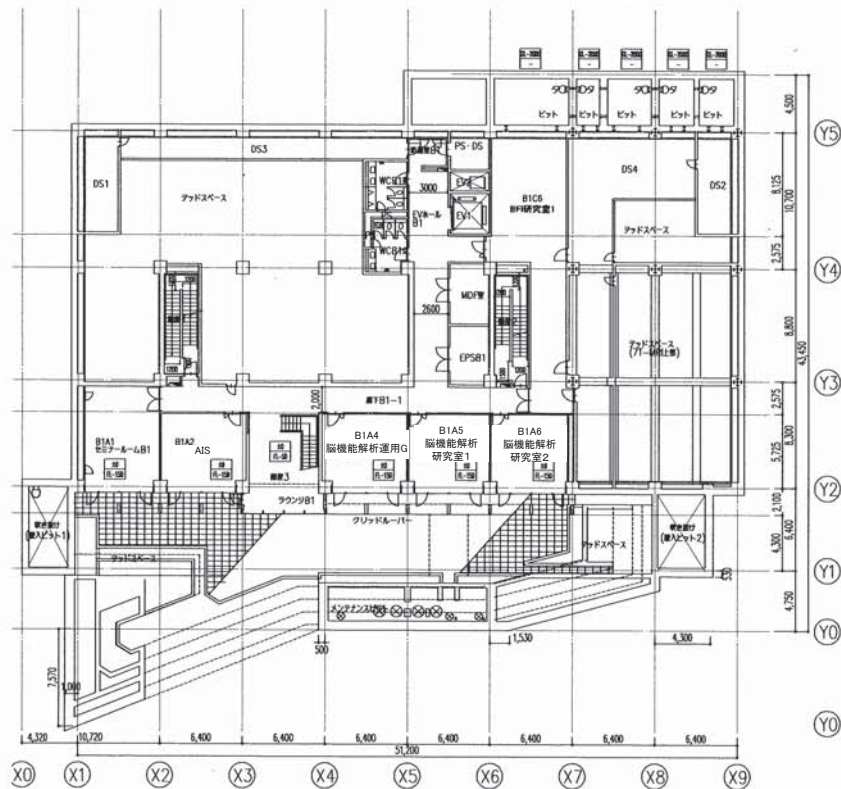
2. 断面の寸法は、排水設備の仕様と、2ヶ所ノズルとする。
- （排水パイプの径に依る。）
- スリーブの材質は鋼製とする。
- 特記無しの排水ピットとする。

1. ピット平面図 (B2F-3000)
S=17,200

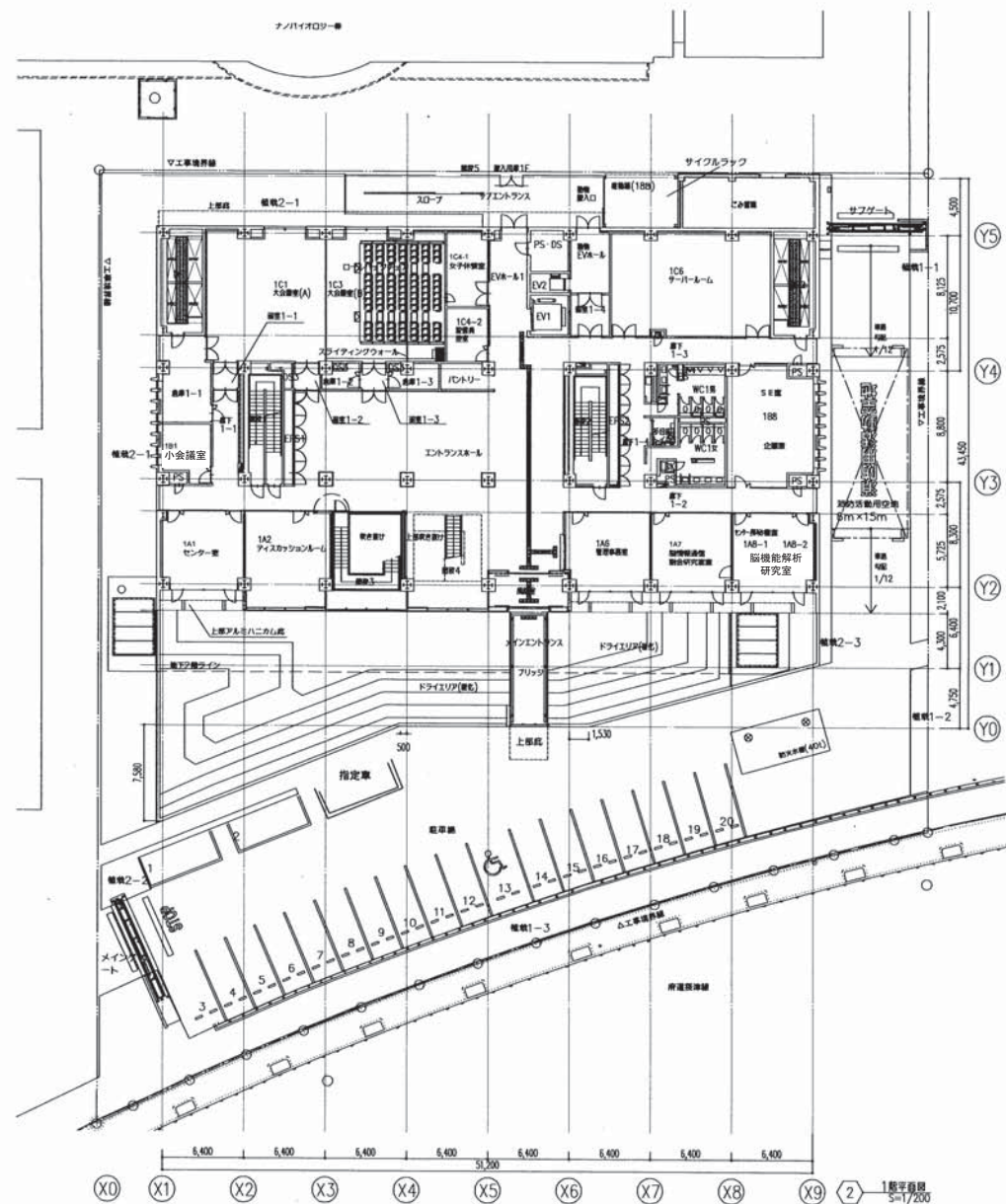
2. ピット平面図 (B2F-1000)
S=17,200

3. ピット平面図 (B2F-3000)
S=17,200

工事名	新機軸推進型研究センター		
所在地	大阪府東淀川区山田1-4-4		
図面内容	各階平面図 (1) B2F	開業日	平成25年02月07日
図面番号		開業日	



1 地下1階平面図
S=1/200

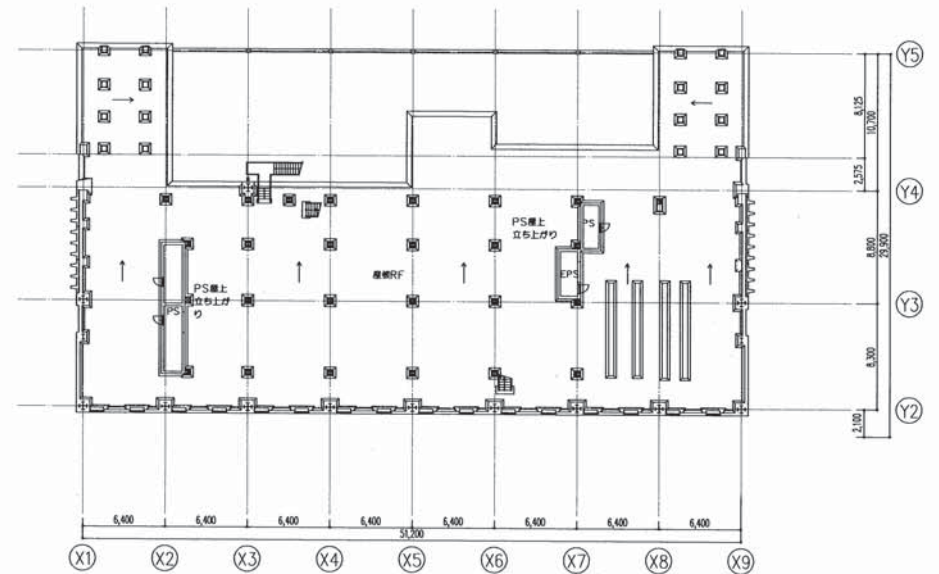
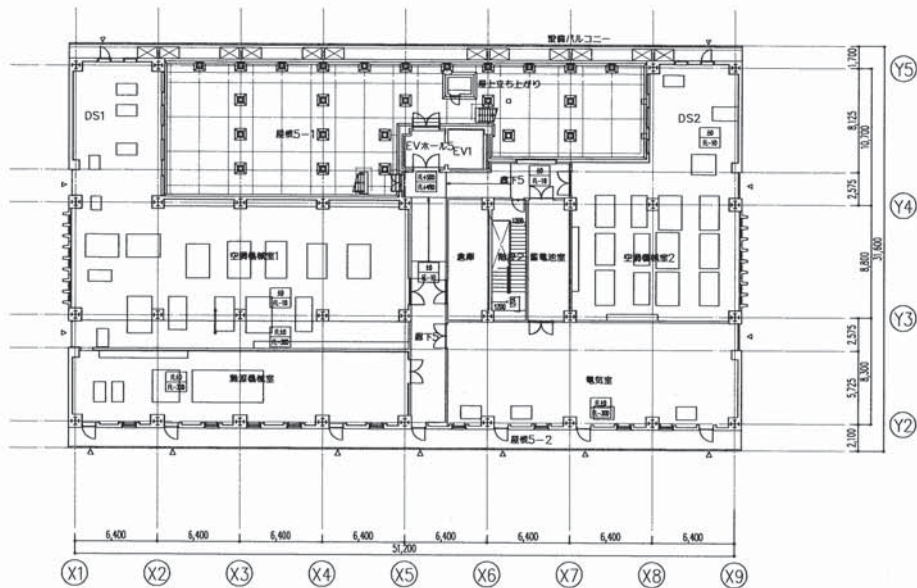
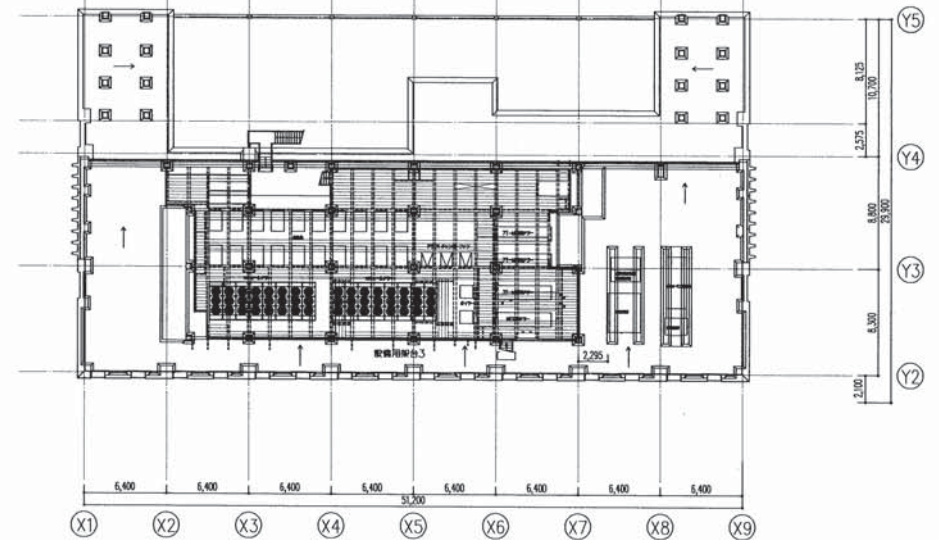
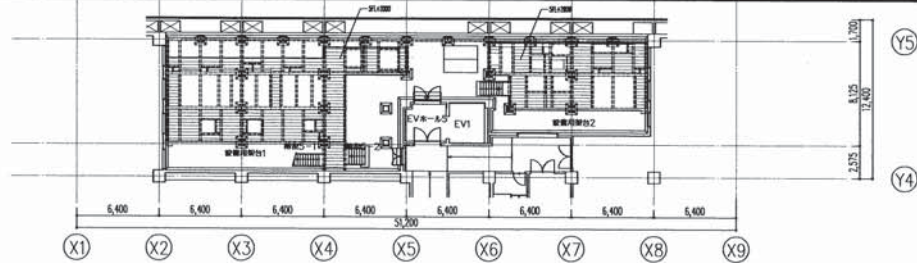


2 1階平面図
S=1/200

凡例					
人入口	上段：床仕上高 下段：スラブ高	水均配	マンホ-4600*	マンホ-4600*	マンホ-4600*
通気管・排水管	排水溝 (側溝)	止水板	化粧マンホール	化粧マンホール	化粧マンホール
通気管	排水溝 (グレーチング蓋付)	ガラス	上層マンホール	上層マンホール	上層マンホール
雨水管	配管ドクト (養生は通気管を参照)	消火栓	タラップ (A - B - C)	タラップ (A - B - C)	タラップ (A - B - C)
雨水管	SUSスリ-ル配管材等	非常用出入口	タラップ (高台側) (D)	タラップ (高台側) (D)	タラップ (高台側) (D)
		非常用出入口に替わる開口部	視覚障害者用誘導線	視覚障害者用誘導線	視覚障害者用誘導線

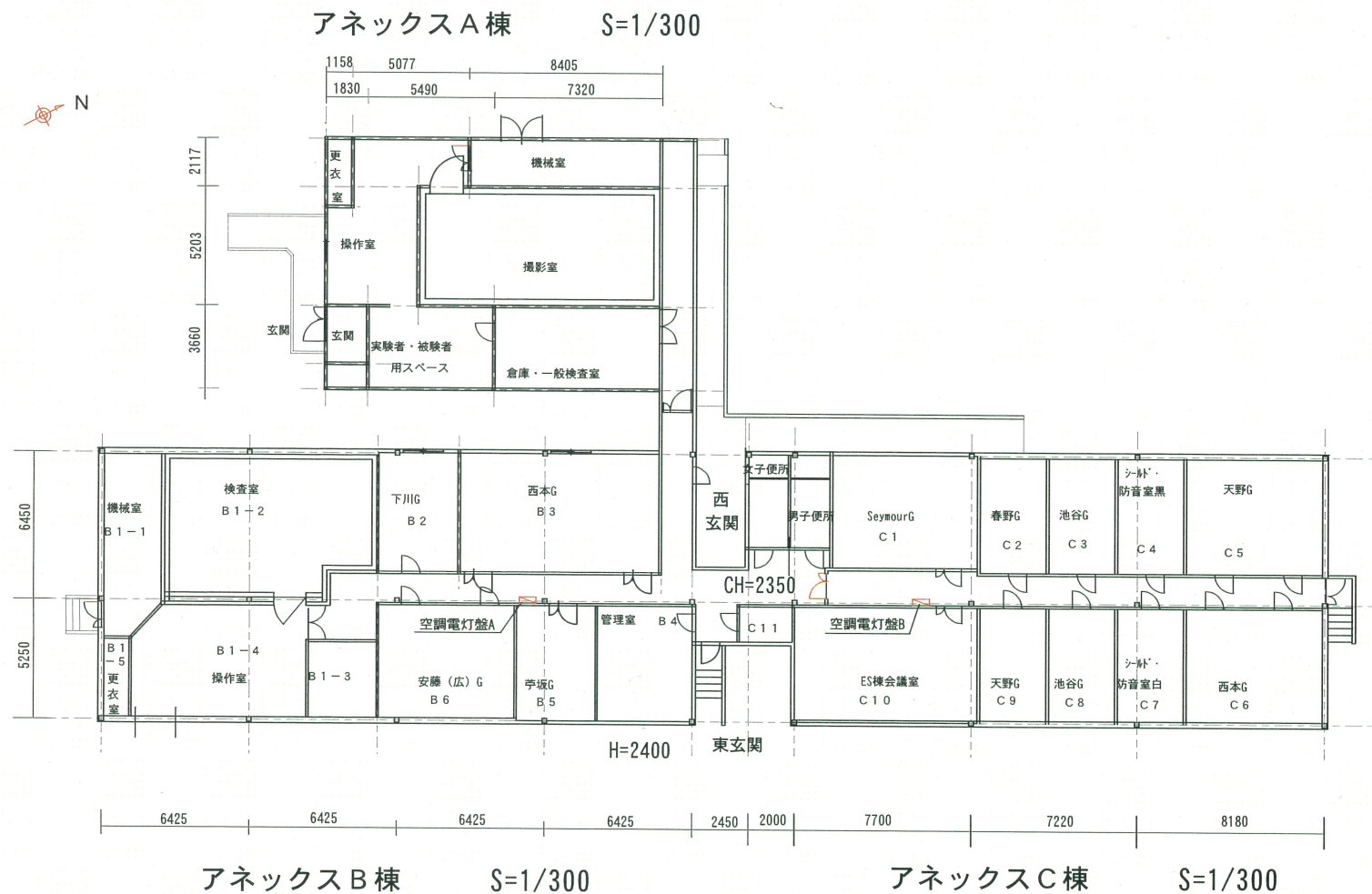
工事名	脳情報通信融合研究センター	完成日	平成25年02月07日
所在地	大阪府吹田市山田丘1番4号	調査日	
調査内容	各階平面図 (2) B1F・1F	調査者	



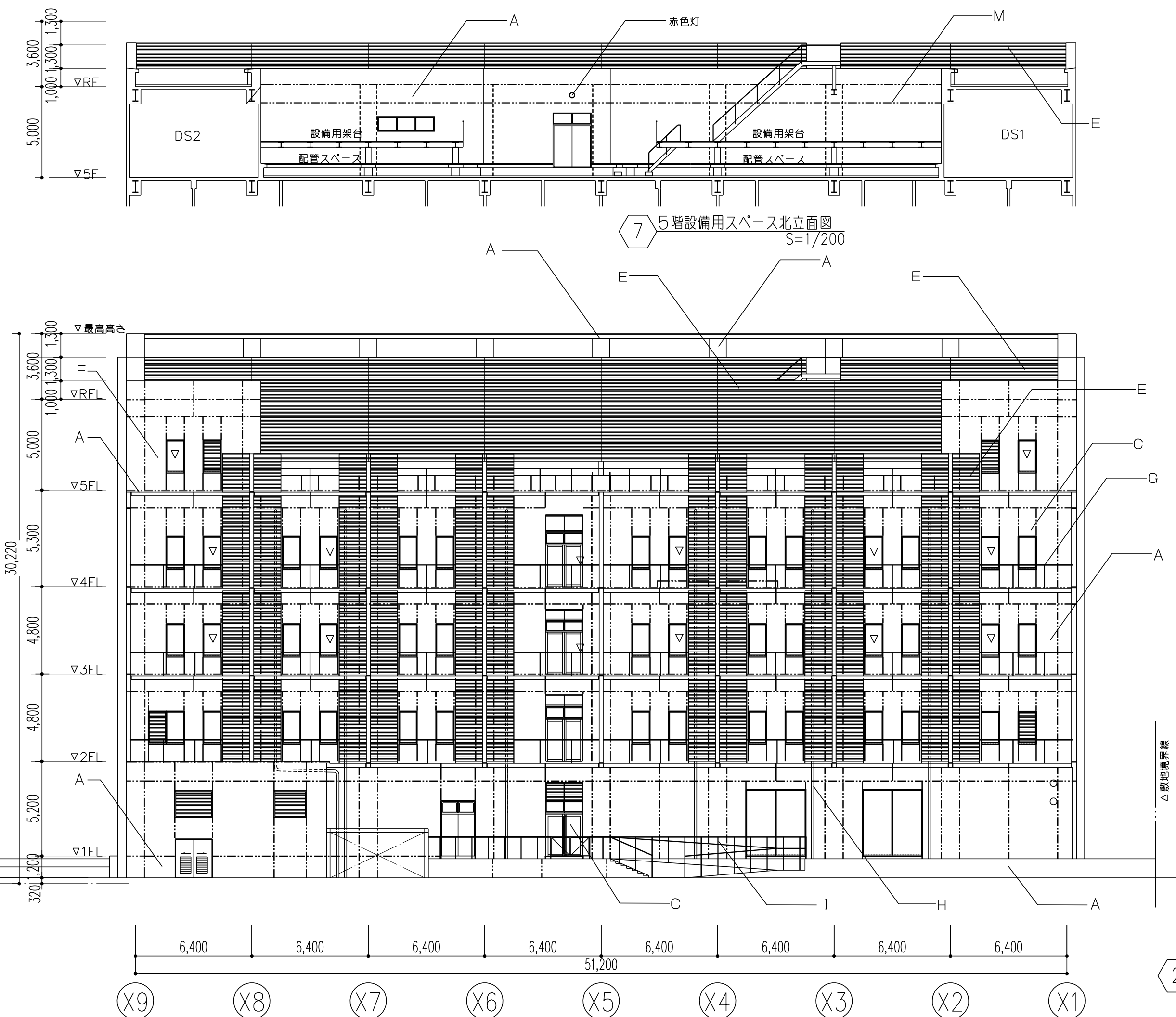
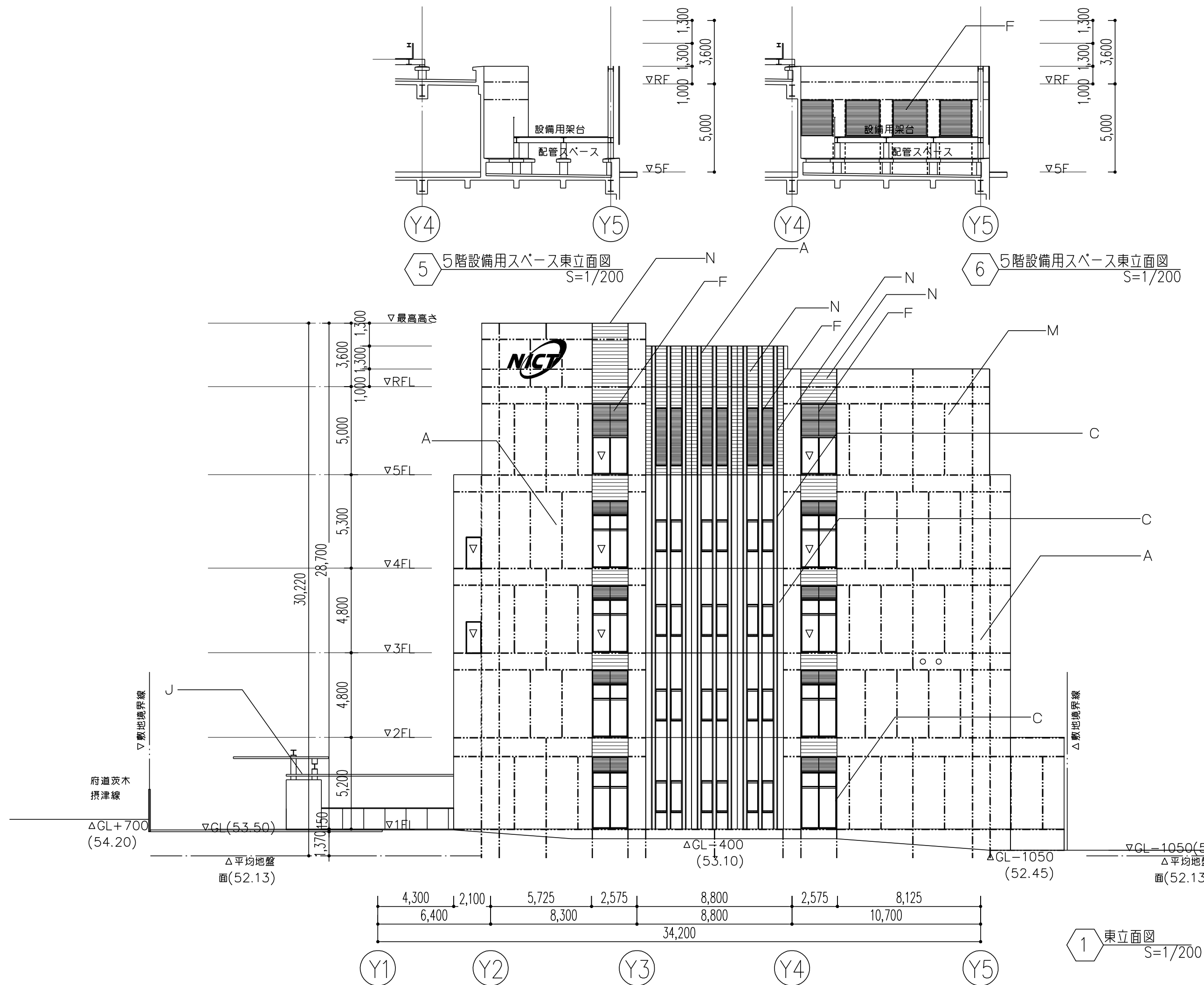


凡例		H9 H<X00	上段：床仕上端 下段：スラブ端 壁記号は壁の	H9 H<10	→	水勾配		マンホ-600φ (標準型深さ地上高800A)
	人入口		排水溝 (側溝)			止水板		化粧マンホ-ル
	通気管・通水管		排水溝 (グレーディング整合)			ガラリ		上部マンホ-ル
	通気管		排水溝にヒット (数字は深中を示す) SUSフレーム固定耐震			羽次板		ラダー付 (A・B・C)
	雨水垂器	 P=300				非接合用取入口		ラダー付 (備付材) (D)
						非接合用取入口に替わる開口部		排水管用共用排水溝

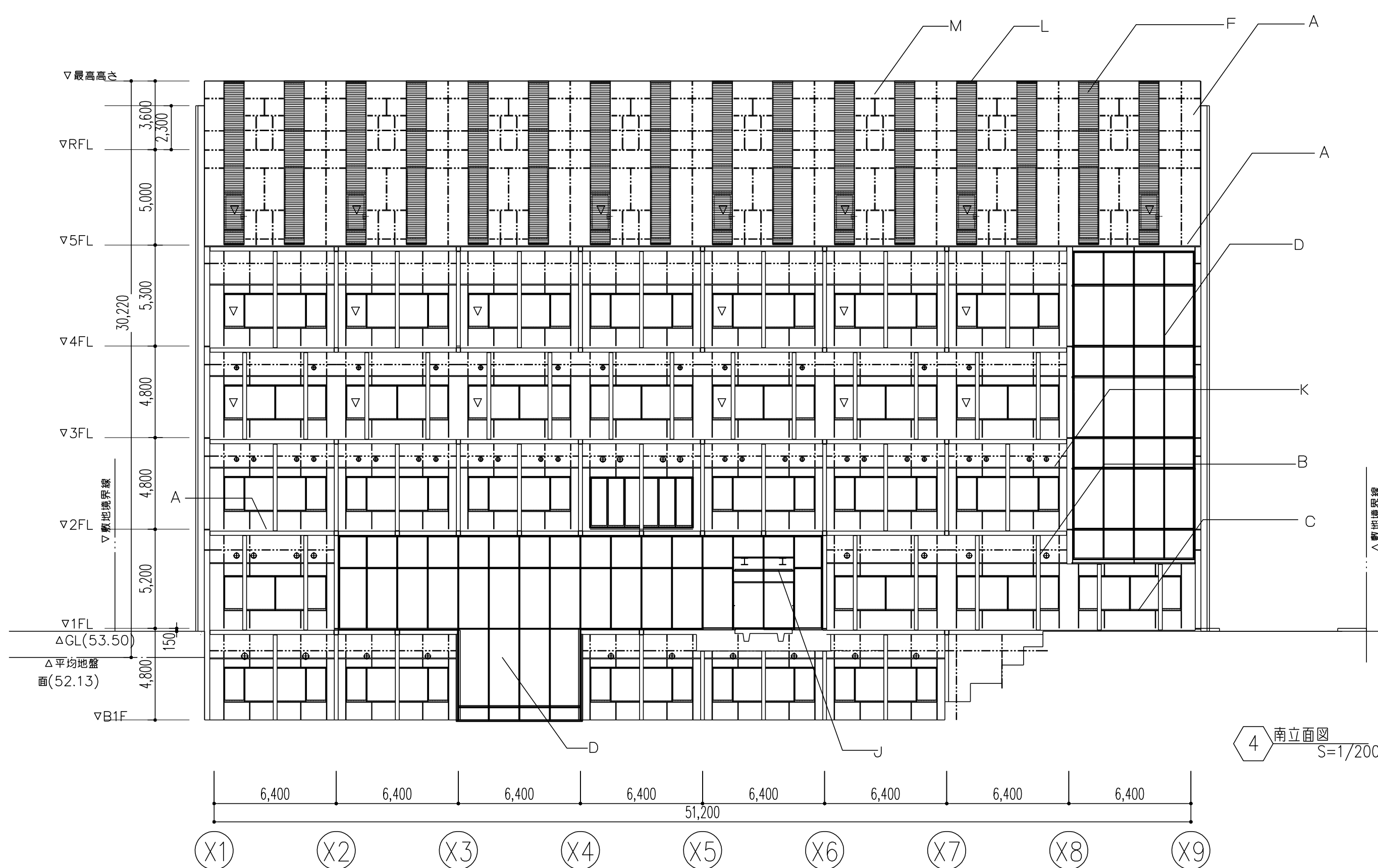
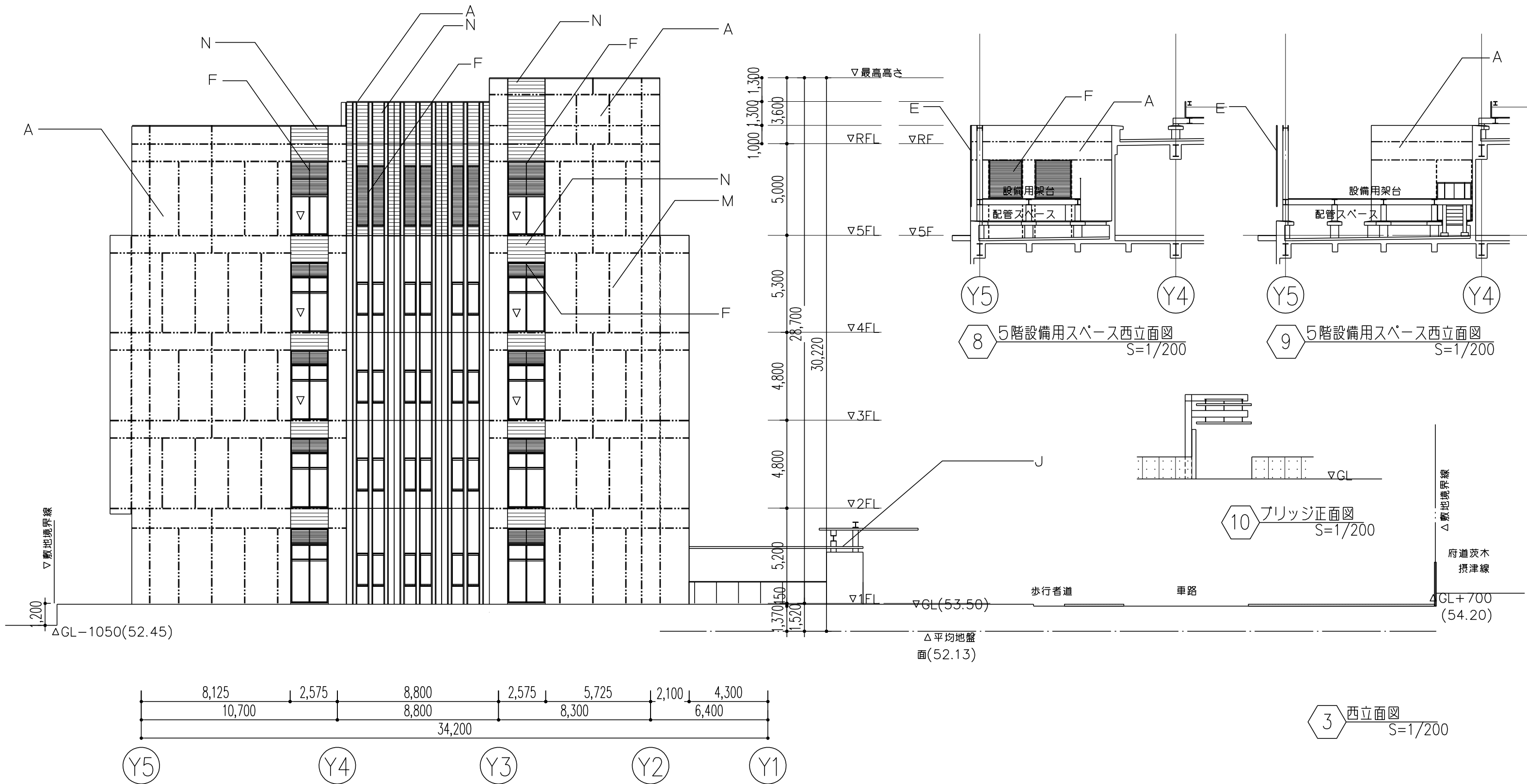
完 成 箇	工事名	脳神経通信融合研究センター	
	所 在	大阪府吹田市山田丘1番4号	
	図 面 内 容	各階平面図(4) 5F~RF	調査日 平成25年02月07日 調査者



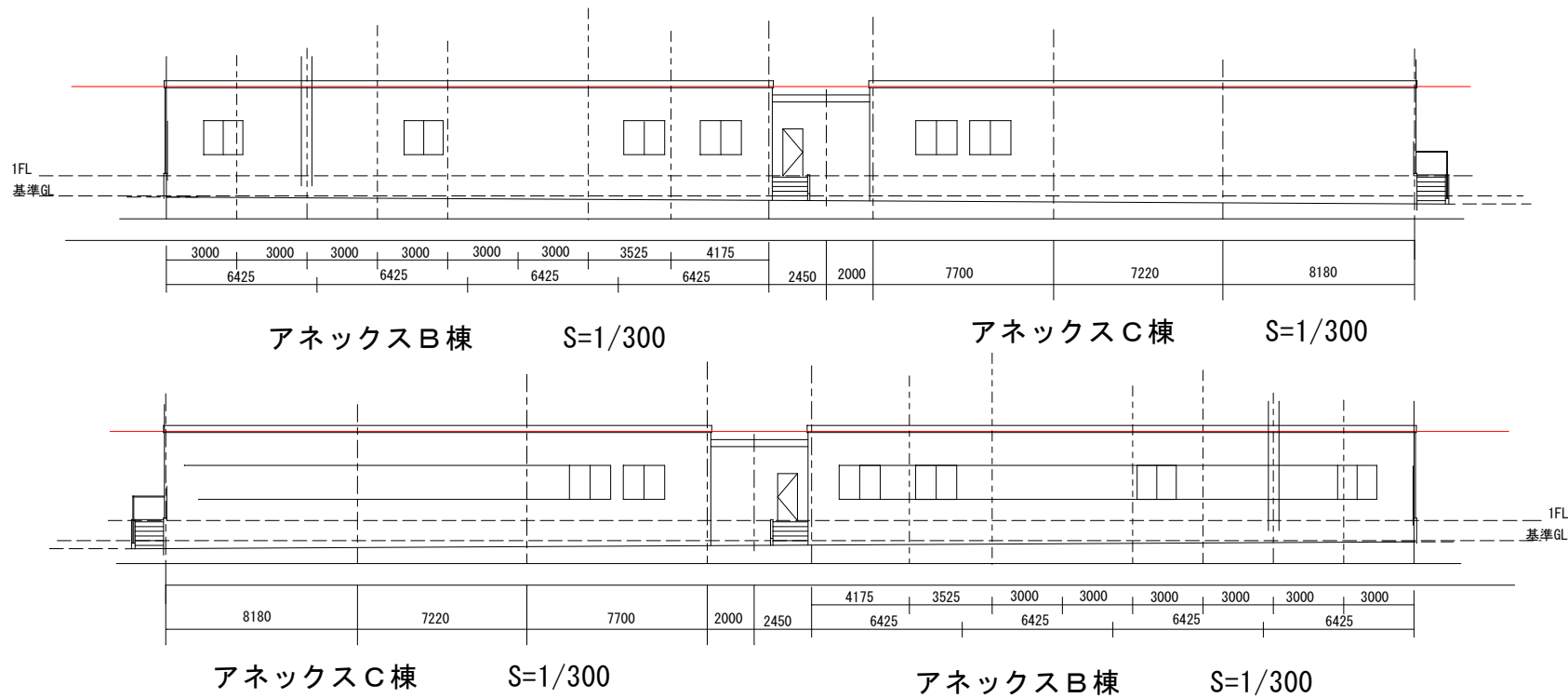
図面名称	ES-A、B、C棟平面図	縮尺	1/300
------	--------------	----	-------



A	C打放し (A種) 水性無機高分子ハイブリッド塗料
B	PC 水性無機高分子ハイブリッド塗料
C	アルミサッシ
D	アルミカーテンウォール
E	アルミルーバー
F	アルミガラリ
G	メンテ用手すり
H	雨どい SGP 150A
I	手すり
J	ブリッジアルミハニカム庇
K	アルミハニカム庇
L	アルミ笠木
M	化粧目地
N	C打放し (リフ状) (A種) 水性無機高分子ハイブリッド塗料
▽	消防用代替進入口
目地 巾=25mm	
打継目地、伸縮目地、構造スリット	
目地 巾=40mm	
化粧目地、打継目地+化粧目地、伸縮目地+化粧目地、構造スリット+化粧目地	



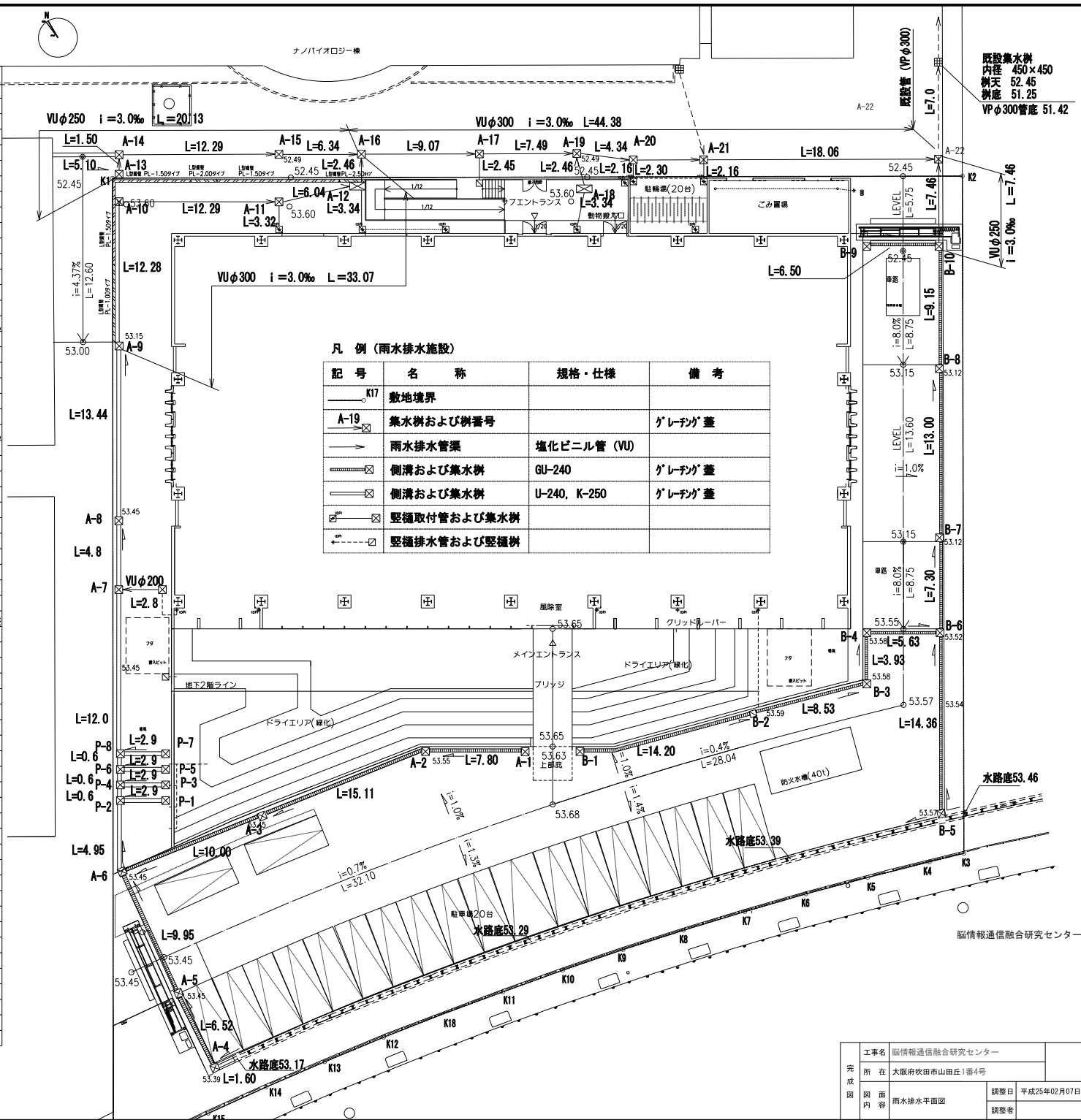
完成図	工事名	脳情報通信融合研究センター	
	所 在	大阪府吹田市山田丘 1番4号	
	図 面 内 容	立面図	調整日 平成25年02月07日
			調整者



図面名称	アネックスABC棟平面図	縮	1
	国立研究開発法人情報通信研究機構	尺	300

雨水排水樹リスト

樹番号	施設記号	勾配 mm	管延長 m	計画地盤高 (樹上高) m	流出管底高 m	泥だめ m	樹深さ m	樹形状	樹直径	備考
A-1	JIS-250	5.5	7.80	53.83	53.29	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
A-2	JIS-250	5.5	15.11	53.59	53.25	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
A-3	JIS-250	5.5	10.00	53.51	53.17	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
A-4	GU-240	2.0	6.52	53.39	53.15	0.15	0.39	SM1-1	T-14	0.45 H=240~320
	K-250		1.80							
A-5	GU-240	2.0	9.95	53.45	53.13	0.15	0.47	SM1-1	T-25	0.45 H=320~340
A-6	U-300 C	7.0	3.65	53.45	53.09	0.15	0.51	SM1-1	T-2	0.45
	P-2へ									
A-7	U-300 C	7.0	5.45	53.29	52.93	0.15	0.51	SM1-1	T-2	0.45
	U-240	10.0	3.75							
A-8	U-300 C	7.0	13.44	53.25	52.89	0.15	0.51	SM1-1	T-2	0.45
A-9	φ300	3.0	11.10	53.15	52.55	0.15	0.75	SM1-2	T-2	0.45
A-10	φ300	3.0	12.29	53.80	52.50	0.15	1.25	SM2-3	T-2	0.80
A-11	φ300	3.0	6.16	53.80	52.45	0.15	1.30	SM2-3	T-2	0.80
A-12	φ300	3.0	2.46	53.80	51.77	0.15	1.98	M	鋼鉄蓋 0.6×0.9	組立矩形人孔
	A-16へ									
A-13	φ250	3.0	1.50	52.45	51.76	0.15	0.84	SM1-1	T-20	0.45
A-14	φ250	3.0	12.29	52.49	51.75	0.15	0.89	SM1-1	T-20	0.45 既設金所接続追加
A-15	φ250	3.0	6.34	52.49	51.71	0.15	0.93	SM1-1	T-20	0.45
A-16	φ300	3.0	9.07	52.49	51.69	0.15	0.95	SM1-1	T-20	0.45
A-17	φ300	3.0	7.49	52.49	51.68	0.15	0.98	SM1-1	T-20	0.45
A-18	φ200	3.0	2.46	53.80	51.70	0.15	2.05	M	鋼鉄蓋 0.6×0.9	組立矩形人孔
A-19	φ300	5.0	4.34	52.46	51.84	0.15	1.00	SM1-1	T-20	0.45
A-20	φ300	5.0	2.30	52.44	51.82	0.15	1.02	SM1-1	T-20	0.45
A-21	φ300	5.0	11.53	52.46	51.59	0.15	1.05	SM1-2	T-20	0.45
A-22	φ300	5.0	6.40	52.43	51.53	0.15	1.11	SM1-2	T-20	0.45
	O-1へ									
B-1	JIS-250	2.0	14.20	53.83	53.29	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
B-2	JIS-250	2.0	8.53	53.80	53.26	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
B-3	JIS-250	2.0	6.87	53.59	53.25	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
B-4	GU-240	10.0	5.63	53.58	53.24	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45 H=340
B-5	JIS-250	3.0	14.36	53.57	53.23	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
B-6	JIS-250	55.0	7.30	53.52	53.18	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
B-7	JIS-250	3.0	13.00	53.12	52.78	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45 底打勾配調整
B-8	JIS-250	88.0	9.15	53.12	52.78	0.15	0.49	SM1-1	T-14	0.45
	O-1へ									
O-1	-	-	-	52.43	51.50	0.15	1.14	SM1-2	T-14	0.45
	既設管へ									
P-1	U-240	8.0	3.75	53.45	53.21	0.15	0.39	SM1-1	T-2	0.45
P-2	U-300C	7.0	1.85	53.42	53.08	0.15	0.51	SM1-1	T-2	0.45
P-3	U-240	10.0	3.75	53.45	53.21	0.15	0.39	SM1-1	T-2	0.45
P-4	U-300C	7.0	1.85	53.41	53.05	0.15	0.51	SM1-1	T-2	0.45
P-5	U-240	13.0	3.75	53.45	53.21	0.15	0.39	SM1-1	T-2	0.45
P-6	U-300C	7.0	1.85	53.40	53.04	0.15	0.51	SM1-1	T-2	0.45
P-7	U-240	16.0	3.75	53.45	53.21	0.15	0.39	SM1-1	T-2	0.45
P-8	U-300C	7.0	13.25	53.39	53.03	0.15	0.51	SM1-1	T-2	0.45
	取付管									
A-11	φ200	3.0	2.13	53.80	52.95					
A-12	φ200	3.0	3.34	53.80	52.95					
A-18	φ200	3.0	3.34	53.80	52.95					
	雨水第一梯									
R-1	φ200	5.0	5.85	53.45	53.15					
R-2	φ200	5.0	2.70	53.45	53.12					
R-3	φ200	5.0	1.85	53.45	53.15					
R-4	U-240			53.20	53.21					
R-5	φ200	5.0	2.30	52.45	52.15					



<新植：植栽凡例>

記号	名称	形状寸法	数量	単位	備考
高中木	常緑樹				
カク	カクレミノ株立	h3.5 5本立以上	5.0	本	ハッ掛支柱(竹)
シラ	シラカシ株立	h4.0 5本立以上	4.0	本	ハッ掛支柱(竹)
シラ	シラカシ株立	h3.0 5本立以上	9.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ソゴ	ソゴ株立	h1.8 5本立以上	7.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ハイノキ	ハイノキ株立	h1.8 5本立以上	2.0	本	ハッ掛支柱(竹)
落葉樹					
エゴノキ	エゴノキ株立	h4.5 5本立以上	1.0	本	ハッ掛支柱(竹)
シデ	シデコブシ株立	h1.8 5本立以上	2.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ツバ	ツバナ株立	h1.5 5本立以上	4.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ヤマザ	ヤマザクラ株立	h5.5 5本立以上	1.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ヤマザ	ヤマザクラ株立	h3.5 5本立以上	1.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ヤマボウ	ヤマボウシ株立	h3.5 5本立以上	1.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ヤマボウ	ヤマボウシ株立	h1.8 5本立以上	1.0	本	ハッ掛支柱(竹)
イロハ	イロハモミジ株立	h3.5 5本立以上	1.0	本	ハッ掛支柱(竹)
イロハ	イロハモミジ株立	h1.8 5本立以上	5.0	本	ハッ掛支柱(竹)
イタ	イタヤカエデ株立	h1.8 5本立以上	3.0	本	ハッ掛支柱(竹)
コハ	コハナカエデ株立	h1.8 5本立以上	3.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ヤマモミ	ヤマモミジ株立	h2.5 5本立以上	1.0	本	ハッ掛支柱(竹)
ヤマモミ	ヤマモミジ株立	h1.8 5本立以上	5.0	本	ハッ掛支柱(竹)

低木

アベリア	h0.5 w0.3	232.9	m2	4株/m2
サツキツツジ	h0.5 w0.3	82.8	m2	5株/m2

低木混植(a)	※詳細は植栽パターン図参照	25ヶ所
低木混植(b)	※詳細は植栽パターン図参照	24ヶ所
低木混植(c)	※詳細は植栽パターン図参照	25ヶ所

低木混植「a」「b」「c」樹種内訳	
ハギ	h0.8 w1.0
ユキヤナギ	h0.6 3本立
ビヨウヤナギ	h0.5 w0.4
ヤマブキ	h0.6 3本立
ヒュウガミズキ	h0.8 w0.4
ガクアジサイ	h0.8 3本立
アオキ	h0.8 w0.7

地被

地被混植	フッキソウ：ツワブキ 3:1	142.8m2
フッキソウ	10. SVP 3芽立	64p/m2
ツワブキ	10. SVP 3枚葉	64p/m2

景石植栽	フッキソウ：ツワブキ 5:3:1:1	21.0m2
フッキソウ	10. SVP 3芽立	64p/m2
ツワブキ	10. SVP 3枚葉	64p/m2
ギボウシ	10. SVP	25p/m2
クサソテツ	15. OVP	8p/m2

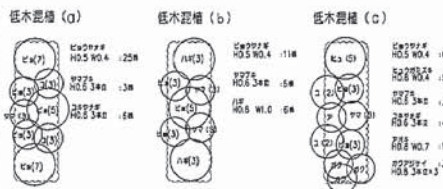
差込地盤(単植)		
ギボウシ	10. SVP	45.0 ポット 3p/1箇所
クサソテツ	15. OVP	23.0 ポット 1p/1箇所

軽量植生パレット	TM-9マット植栽済	190.6 m2
----------	------------	----------

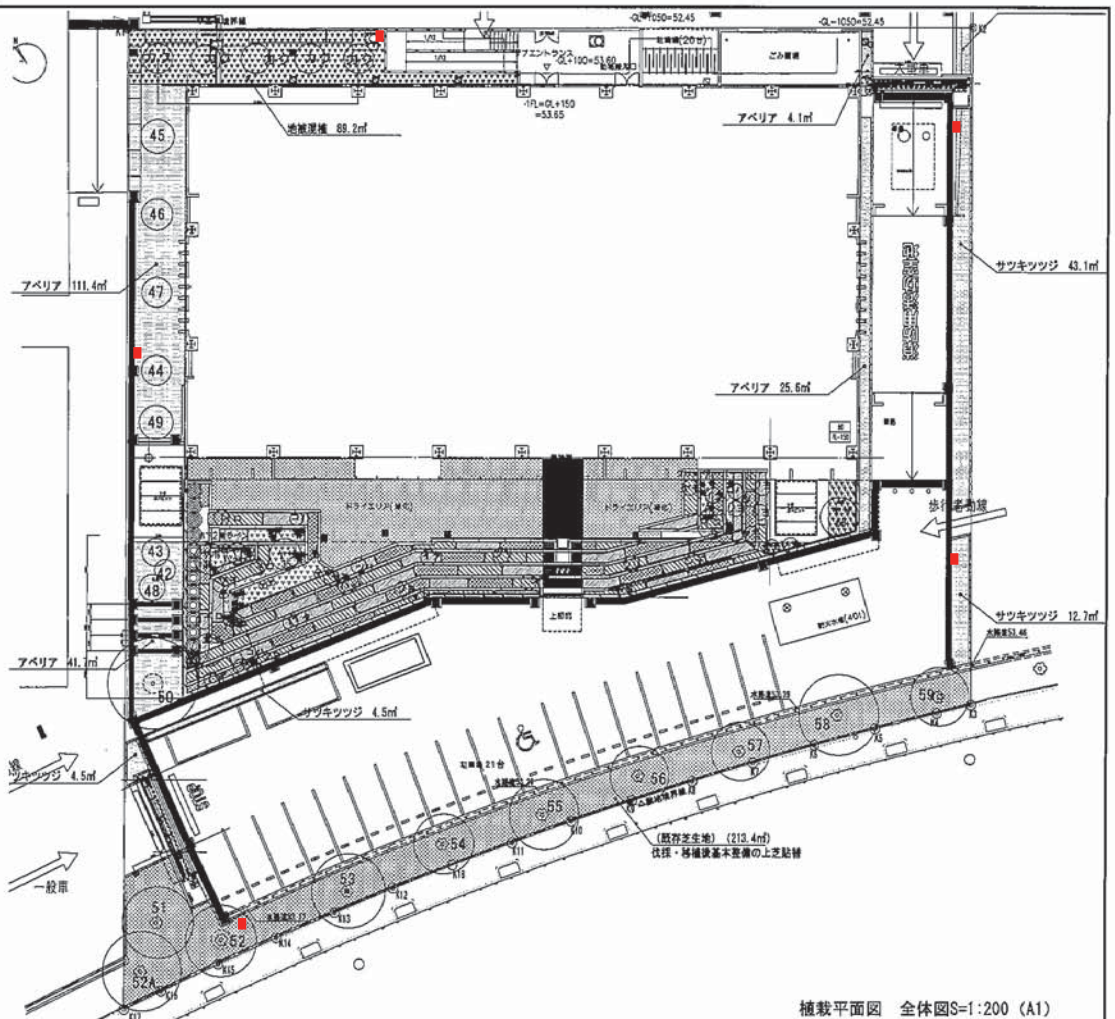
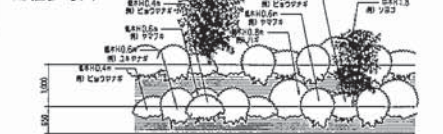
現況木：移植・伐採 凡例

番号	樹種名	C (cm)	H (m)	W (m)	移植の有無	本数	単位	備考
42	アラカシ	12	2.3	1.6	移植	6	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
43	アラカシ	26	3.6	2.1	移植	5	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
44	アラカシ	20	3.0	2.3	移植	3	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
45	アラカシ	20	3.0	2.6	移植	5	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
46	アラカシ	20	3.0	2.4	移植	3	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
47	アラカシ	18	2.4	2.3	移植	3	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
48	アラカシ	21	3.1	2.0	移植	5	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
49	アラカシ	11	2.8	2.6	移植	4	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
50	クスノキ	95	7.5	7.0	移植	1	本	二箇所支柱結合せ
51	クスノキ	75	6.0	5.5	保存	1	本	現状位置に配置
52	クスノキ	87	6.5	5.5	移植	1	本	幹立ち(15cm)ハッ掛支柱(竹)
52A	クスノキ	77	6.0	6.1	保存	1	本	現状位置に配置
53	クスノキ	83	6.1	5.7	保存	1	本	現状位置に配置
54	クスノキ	68	5.5	4.6	保存	1	本	現状位置に配置
55	クスノキ	84	6.3	5.4	保存	1	本	現状位置に配置
56	クスノキ	85	6.1	4.5	保存	1	本	現状位置に配置
57	クスノキ	64	6.4	4.5	保存	1	本	現状位置に配置
58	クスノキ	85	6.4	6.2	保存	1	本	現状位置に配置
59	クスノキ	53	6.6	4.5	保存	1	本	現状位置に配置

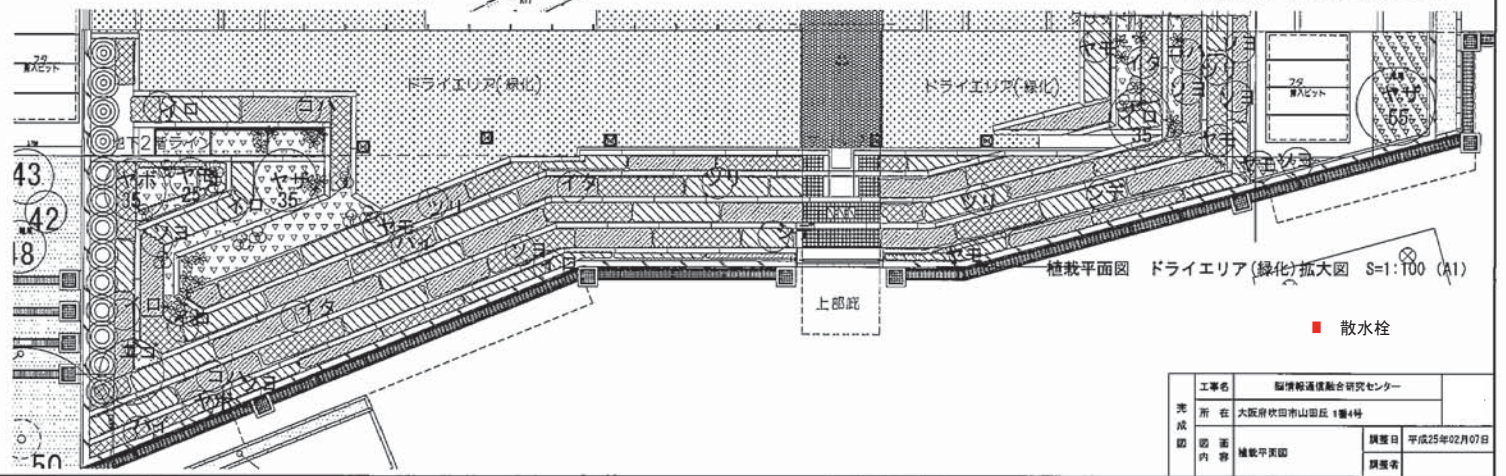
植栽パターン参考図 () 内の数字は低木植物の株数を示す



配植参考図



植栽平面図 全体図S=1:200 (A1)



植栽平面図 ドライエリア(緑化)拡大図 S=1:100 (A1)

■ 散水栓

工事名	脳情報連携融合研究センター
所在地	大阪府吹田市山田丘1番4号
調査日	平成25年02月07日
調査者	植栽計画部

参考：ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン運転時間表

GHP番号	型式	製造番号	設置年月	運転時間
B1F-1	YDZP450J-NB	2AEA0218N	2013年1月	16,670
	YDZP450J-NB	2AEA0215N	2013年1月	16,877
1F-1	YDZP450J-NB	2AEA0216N	2013年1月	10,802
	YDZP450J-NB	2AEA0217N	2013年1月	10,806
1F-2	YDZP560J-NB	2AEB0304N	2013年1月	16,915
	YDZP560J-NB	2AEB0305N	2013年1月	16,913
2F-1	YNZP850L1NB	2ARV0675N	2023年3月	10,402
2F-2	YNZP710L1NB	2ARU0371N	2023年3月	9,170
2F-3	YFZP850K1NB	2ANW0449N	2023年3月	5,829
2F-4	YGZP560J-NB	2ABZ0570N	2013年1月	7,561
3F-1	YFZP850K1NB	2ANW0447N	2023年3月	8,725
3F-2	YFZP850J-NB	2ADU0135N	2013年1月	27,484
3F-3	YFZP850J-NB	2ADU0137N	2013年1月	8,751
3F-4	YFZP850K1NB	2ANW0450N	2023年3月	8,643
3F-5	YGZP850J-NB	2ABU0459N	2013年1月	4,321
4F-5				
4F-1	YFZP560J-NB	2ADT0200N	2013年1月	23,085
4F-2	YFZP560K1NB	2ANV0549N	2023年3月	16,730
4F-3	YFZP850K1NB	2ANW0448N	2023年3月	7,991

* 運転時間は2025年4月30日現在

営繕作業等実績表

実施日	実施内容	項目
2024/4/1	スクラバーSC-4F-1 (a) (b) 給水流量調整	機械
2024/4/9	自動扉外側修理、配線取替	建築
2024/4/11	スクラバーSC-4F-2 薬注タイマー交換	機械
2024/4/11	スクラバー給水用ボールタップ分解洗浄	機械
2024/5/7	ES棟 B3室エアコン室内機動物臭対応、フィルター洗浄	空調
2024/5/10	スクラバー給水用塩ビ製ボールタップ取替	機械
2024/5/23	1 A6室 GHPエアコン室内機膨張弁コイル交換修理	空調
2024/6/7	外灯スケジュール変更	その他
2024/6/7	1階階段扉調整	建築
2024/6/7	1階多目的トイレ便器横洗面排水管水漏れ補修	給排水
2024/6/12	RR-2系統チラー調整作業	空調
2024/6/12	3B3-2室エアコン吹き出し風よけ取付	その他
2024/6/18	大雨後の漏水箇所確認	建築
2024/6/18	AHU-B2F-4-1ポイントトラブル対応	空調
2024/6/20	GHP-3F-2 室外機冷却水漏れ。室外機プレート熱交換器内部リーク対応	空調
2024/7/1	GHP-3F-2室外機プレート熱交換器内部リーク交換修理	空調
2024/7/1	RR-1、RR-2 ヘッダー間バイパス運用に伴う設定変更	空調
2024/7/4	1B8室 エアコン吹き出し風よけ取付	その他
2024/7/10	瞬時電圧降下対応 (E S棟個別エアコン)	電気
2024/7/12	階段4 1階ガラス柵ステンレス縁バリ取り	建築
2024/7/16	雑用水基盤校正	給排水
2024/7/22	OHU-4F-2, 3ポイントトラブル調査	空調
2024/8/4	瞬時電圧低下対応 (OHU-4F-4)	電気
2024/8/8	エレベーター通信不良対応	建築
2024/8/13	B2B2-1操作員室扉鍵分解清掃	建築
2024/8/13	外灯スケジュール変更	その他
2024/8/13	MEG操作室流し台水栓修理	給排水
2024/8/22	ヒートポンプチラーヘッダー間バイパス調査	空調
2024/8/23	台風対策準備 (カラーコーン類収納。ルーフドレン清掃)	その他
2024/8/24	FS-2F-1故障対応	空調
2024/9/2	台風対策復旧	その他
2024/9/4	外灯スケジュール変更	その他
2024/9/9	設備警報発報対応	機械
2024/9/19	OHU-2F-1温湿度センサー異常発報対応	空調
2024/9/24	外灯スケジュール変更	その他
2024/10/1	GHPスカイリモート設定作業	空調
2024/10/2	メイン・サブゲート解錠時刻変更	その他
2024/10/3	R&D 調整室扉フランス落とし不具合調整	建築
2024/10/4	汚水槽排水ポンプ及びばっ気装置フロート調整	給排水
2024/10/16	外灯スケジュール変更	その他

2024/10/17	加湿高架水槽洗浄、水入替え	空調
2024/10/17	GHP-B1F-1 エラー「E0（エンジン起動不良）」対応	空調
2024/10/22	GHP-B1F-1 エラー「E0」対応、スタータ交換修理	空調
2024/10/23	ES棟 C7室 ドアノブ脱落修理	建築
2024/10/23	3B7-4室 GHPエアコン室内機ドレン水位異常対応	空調
2024/11/1	B2階廊下ドアノブ不具合修正	建築
2024/11/7	チラー設定変更（負荷アンバランス対策）、RR-1空気熱交換器洗浄	空調
2024/11/18	外灯スケジュール変更	その他
2024/11/19	雑用水上限警報対応	給排水
2024/11/26	絶縁不良調査 メインエントランス足元灯回路	電気
2024/12/5	4階飼育室エアバランス調整	空調
2024/12/13	自動ドア点検口鍵不具合修正	建築
2024/12/18	ES棟A棟MRI操作室電気温水器不具合対応	機械
2024/12/22	設備警報発報対応。RR-1-4	空調
2024/12/23	チラーRR-1-4 点検。モジュール停止措置	空調
2025/1/7	屋上ガス給湯器エラー対応	機械
2025/1/10	4C3室 排気口異音対応。フィルター洗浄	空調
2025/1/15	地下 2 階動物廊下西扉閉鎖不良対応。扉閉鎖順位調整器交換	建築
2025/1/16	加湿器不良個所確認	空調
2025/1/16	E S 棟C6室 エアコンエラー対応	空調
2025/1/16	設備警報発報対応。RR-1-2高圧異常	空調
2025/1/17	設備警報発報対応。RR-1-2高圧異常	空調
2025/2/3	GHP-2F-1不具合調査	空調
2025/2/3	外灯スケジュール変更	その他
2025/2/3	2A5室扉ビス脱落補修	建築
2025/2/6	GHP-2F-1基盤交換・電源線接続不良手直し	空調
2025/2/10	スクラバーSC-4F-1（a）噴霧ポンプ圧力計交換	機械
2025/2/21	外灯スケジュール変更	その他
2025/3/3	給湯室・ディスカッションルーム浄水器カートリッジ交換	給排水
2025/3/11	ES棟女子トイレ通管作業	給排水
2025/3/11	加湿器不良個所確認	空調
2025/3/14	加圧給水ユニット電源回調査	給排水
2025/3/21	外灯スケジュール変更	その他
2025/3/22	加圧給水ユニットヒューズ交換対応	給排水

期間：2024年4月～2025年3月